

新町団地外壁等改修工事（1工区）

糸田町 建築課
株式会社ごとう計画・設計

新町団地 1 号棟外壁等改修工事

図面番号	図面名称	縮尺	
		A 1 サイズ	A 3 サイズ
A－0 0	表紙・図面リスト	－	－
A－0 1	改修工事特記仕様書（1）	－	－
A－0 2	改修工事特記仕様書（2）	－	－
A－0 3	改修工事特記仕様書（3）	－	－
A－0 4	改修工事特記仕様書（4）	－	－
A－0 5	外壁改修標準仕様書	－	－
A－0 6	付近見取図 配置図兼仮設図 工事概要	1/300	1/600
A－0 7	仕上表	－	－
A－0 8	平面図 屋根伏図	1/100	1/200
A－0 9	南・北立面図	1/50	1/100
A－1 0	東・西立面図	1/50	1/100
A－1 1	矩計図	1/30	1/60
A－1 2	天井伏図	1/100	1/200
A－1 3	建具キープラン 建具表	1/50, 100	1/100, 200
A－1 4	雑詳細図	1/10, 15, 20	1/20, 30, 40
A－1 5	囲障図	1/200	1/400
A－1 6	その他外構 各図	1/30	1/60
A－1 7	南・北立面図 外壁調査図	1/50	1/100
A－1 8	東・西立面図 外壁調査図	1/50	1/100
A－1 9	天井伏図 外壁調査図	1/100	1/200
A－2 0	アスベスト調査図	－	－

4 外壁改修工事

①モルタル塗り仕上げ

工 法

材 料

ひび割れの幅
(mm)

延べ長さ
(m)

※ シール工法

※ バテ状エポキシ樹脂
・ 可とう性エポキシ樹脂

0.2未満

※ 樹脂注入工法

※ 硬質形エポキシ樹脂
・ 軟質形エポキシ樹脂

0.2～0.3未満
0.3～0.5未満
0.5～1.0未満

②リカットシール材充てん工法

※ 可とう性エポキシ樹脂

0.2～0.3未満
0.3～0.5未満
0.5～1.0未満

53.50

・ シーリング材PU-2
・ 可とう性エポキシ樹脂

1.0～1.5未満
1.5～2.0未満

未満

・ タイル張り仕上げ

<4.5.5～8><4.5.16>

工 法

材 料

ひび割れの幅
(mm)

延べ長さ
(m)

※ シール工法

※ バテ状エポキシ樹脂
・ 可とう性エポキシ樹脂

0.2未満

※ 樹脂注入工法

※ 硬質形エポキシ樹脂
・ 軟質形エポキシ樹脂

0.2～0.3未満
0.3～0.5未満
0.5～1.0未満

※ タイル貼り除去後
・ リカットシール材充てん工法
・ 樹脂注入工法の上
タイル張替え工法

※ 可とう性エポキシ樹脂

0.2～0.3未満
0.3～0.5未満
0.5～1.0未満

・ シーリング材PU-2
・ 可とう性エポキシ樹脂

1.0～1.5未満
1.5～2.0未満

未満

・ ポリマーセメント
モルタル
エポキシ樹脂

・ 目地ひび割れ
改修工法

※ 既製調合目地材

・ 樹脂注入工法

<4.3.4(c)>

ひび割れの幅 (mm)

0.2～0.3未満

0.3～0.5未満

0.5～1.0以下

注入孔の間隔 (mm)

200程度

300程度

300程度

注 入 量 (cc/㎡)

コアの抜取り検査

・ 行う

※ 行わない

<4.3.4(f)>

・ コンクリート打直し仕上げ

<4.3.7>

工 法

材 料

平均深さ (mm)

延べ面積 (㎡)

※ 充てん工法

エポキシ樹脂モルタル

20～30未満
30～40未満

ポリマーセメント
モルタル

5～10未満
10～15未満
15～20未満

①モルタル塗り仕上げ

<4.4.8～9>

工 法

材 料

平均深さ (mm)

延べ面積 (㎡)

② 充てん工法

エポキシ樹脂モルタル

20～30未満
30～40未満

ポリマーセメント
モルタル

5～10未満
10～15未満
15～20未満

・ モルタル
塗替え工法

<表4.4.1>による

20程度

ポリマーセメント
モルタル

・ タイル張り仕上げ

<4.5.7～8>

工 法

材 料

平均深さ (mm)

延べ面積 (㎡)

※ タイル部分
張替え工法

エポキシ樹脂モルタル

20～30未満
30～40未満

ポリマーセメント
モルタル

5～10未満
10～15未満
15～20未満

・ タイル
張替え工法

③モルタル塗り仕上げ

<4.4.4><4.4.8～15>

工 法

1箇所の
面積
(㎡)

浮き代
(mm)

アンカーピン
(本/㎡)

注入口
(箇/㎡)

延べ面積
(㎡)

・アンカーピンニング部分
エポキシ樹脂注入工法

0.25
未満

※16
・
※25

一般部
指定部

一般部
指定部

・アンカーピンニング全面
エポキシ樹脂注入工法

0.25
以上

1.0
以下

※13
・
※20

一般部
指定部

一般部
指定部

・アンカーピンニング全面
ポリマーセメント
スラリー注入工法

0.25
以上

1.0を
越える

※13
・
※20

一般部
指定部

一般部
指定部

・注入口付アンカーピン
ニング部分エポキシ
樹脂注入工法

0.25
未満

※ 9
・
※16

一般部
指定部

一般部
指定部

・注入口付アンカーピン
ニング全面エポキシ
樹脂注入工法

0.25
以上

1.0
以下

※ 9
・
※16

一般部
指定部

一般部
指定部

・注入口付アンカーピン
ニング全面ポリマー
セメントスラリー
注入工法

0.25
以上

1.0を
越える

※ 9
・
※16

一般部
指定部

一般部
指定部

・充てん工法

0.25
未満

④モルタル塗替え工法

2.42

4 外壁改修工事

②欠損部改修

③浮き部改修

④モルタル塗り仕上げ

<4.5.4><4.5.7～15>

工 法

1箇所の
面積
(㎡)

浮き代
(mm)

アンカーピン
(本/㎡)

注入口
(箇/㎡)

延べ面積
(㎡)

・アンカーピンニング部分
エポキシ樹脂注入工法

0.25
未満

※16
・
※25

一般部
指定部

一般部
指定部

・アンカーピンニング全面
エポキシ樹脂注入工法

0.25
以上

1.0
以下

※13
・
※20

一般部
指定部

一般部
指定部

・アンカーピンニング全面
ポリマーセメント
スラリー注入工法

0.25
以上

1.0を
越える

※13
・
※20

一般部
指定部

一般部
指定部

・注入口付アンカーピン
ニング部分エポキシ
樹脂注入工法

0.25
未満

※ 9
・
※16

一般部
指定部

一般部
指定部

・注入口付アンカーピン
ニング全面エポキシ
樹脂注入工法

0.25
以上

1.0
以下

※ 9
・
※16

一般部
指定部

一般部
指定部

・注入口付アンカーピン
ニング全面ポリマー
セメントスラリー
注入工法

0.25
以上

1.0を
越える

※ 9
・
※16

一般部
指定部

一般部
指定部

・充てん工法

0.25
未満

⑤モルタル塗替え工法

2.42

4.タイル張り

⑤塗り仕上げ外壁

⑥壁仕上げ既存塗膜等の除去及び下地処理

・ タイル張り仕上げ

<4.5.4><4.5.7～15>

工 法

1箇所の
面積
(㎡)

浮き代
(mm)

アンカーピン
(本/㎡)

注入口
(箇/㎡)

延べ面積
(㎡)

・アンカーピンニング部分
エポキシ樹脂注入工法

0.25
未満

※16
・
※25

一般部
指定部

一般部
指定部

・アンカーピンニング全面
エポキシ樹脂注入工法

0.25
以上

1.0
以下

※13
・
※20

一般部
指定部

一般部
指定部

・アンカーピンニング全面
ポリマーセメント
スラリー注入工法

0.25
以上

1.0を
越える

※13
・
※20

一般部
指定部

一般部
指定部

・注入口付アンカーピン
ニング部分エポキシ
樹脂注入工法

0.25
未満

※ 9
・
※16

一般部
指定部

一般部
指定部

・注入口付アンカーピン
ニング全面エポキシ
樹脂注入工法

0.25
以上

1.0
以下

※ 9
・
※16

一般部
指定部

一般部
指定部

・注入口付アンカーピン
ニング全面ポリマー
セメントスラリー
注入工法

0.25
以上

1.0を
越える

※ 9
・
※16

一般部
指定部

一般部
指定部

・充てん工法

0.25
未満

⑥モルタル塗替え工法

2.42

2.アルミニウム
製建具

3.網戸

4.樹脂製建具

5.鋼製建具

6.鋼製軽量建具

7.ステンレス製
建具

8.木製建具

9.建具用金物

・ タイル張り仕上げ

<4.5.4><4.5.7～15>

工 法

1箇所の
面積
(㎡)

浮き代
(mm)

アンカーピン
(本/㎡)

注入口
(箇/㎡)

延べ面積
(㎡)

・アンカーピンニング部分
エポキシ樹脂注入工法

0.25
未満

※16
・
※25

一般部
指定部

一般部
指定部

・アンカーピンニング全面
エポキシ樹脂注入工法

0.25
以上

1.0
以下

※13
・
※20

一般部
指定部

一般部
指定部

・アンカーピンニング全面
ポリマーセメント
スラリー注入工法

0.25
以上

1.0を
越える

※13
・
※20

一般部
指定部

一般部
指定部

・注入口付アンカーピン
ニング部分エポキシ
樹脂注入工法

0.25
未満

※ 9
・
※16

一般部
指定部

一般部
指定部

・注入口付アンカーピン
ニング全面エポキシ
樹脂注入工法

0.25
以上

1.0
以下

※ 9
・
※16

一般部
指定部

一般部
指定部

・注入口付アンカーピン
ニング全面ポリマー
セメントスラリー
注入工法

0.25
以上

1.0を
越える

※ 9
・
※16

一般部
指定部

一般部
指定部

・充てん工法

0.25
未満

⑥モルタル塗替え工法

2.42

アンカーピンの材質

<4.2.2>

※ <4.2.2(e) (f) >による。

アンカーピン固定用エポキシ樹脂

<4.2.2(e) (f) >

※ JIS A6024のJIS表示認証製品

※硬質 高粘度形

注入用エポキシ樹脂

※ JIS A6024のJIS表示認証製品

⑦タイルの種類

JIS A 5209のJIS表示認証製品

<4.2.2><4.5.8>

施工箇所

形状寸法 (mm)

うわぐすり
施
ゆう

役物
無
ゆう

有

無

標準

注文

再生材
利用
タイル

備 考

※セメントモルタルによるタイル張替え工法

<表4.5.4>により、小口タイル以上二丁掛け以下は密着張りとする。

・ 有機系接着剤によるタイル張替え工法 <表4.5.5>による。

<4.1.5><4.2.2(j)><表4.2.4～5>

規格名称

種類(呼び名)

仕上の形状

工 法

上塗り材

・ 薄付け
仕上塗材

・ 外装薄塗材E

・ 砂壁状

・ 吹付け
ローラー

水性アクリル
シリコン樹脂

・ 厚付け
仕上塗材

・ 外装厚塗材C
・ 外装厚塗材E

・ 吹付け
こて

・ 複層
仕上塗材

・ 複層塗材CE
※ 複層塗材E
・ 複層塗材RS
・ 複層塗材RE
・ 複層塗材Si
・ 防水形
複層塗材E
・ 防水形
複層塗材RS

・ ゆず肌
凸部処理
凸凹模様

・ 吹付け
ローラー

溶剤
⑧ 水系
・ 溶剤系
・ 弱溶剤系
外観
⑨ つやあり
・ メタリック
樹脂
※ アクリル系
・ シリカ系
・ ポリウレタン系
※ アクリル
シリコン系
(可とう形改修用
塗材の場合)
⑩ ツ素系

⑪ 可とう形
改修用
仕上塗材

⑫ 可とう形
改修塗材E
・ 可とう形
改修塗材RE
・ 可とう形
改修塗材CE

※ゆず肌
・ さざ波

※ 吹付け
ローラー

・ 軽量骨材
仕上塗材

・ 吹付け用
軽量塗材

・ 砂壁状

・ 吹付け

・ こて塗用
軽量塗材

・ 平たん状

・ こて塗り

⑬軒天用
仕上塗材

⑭ 外装薄塗材E

⑮ 砂壁状

⑯ ローラー

水性アクリル
シリコン樹脂

仕上塗材の耐候性

※ 耐候形1種 (可とう形改修塗材の場合)
・ 耐候形2種
※ 耐候形3種 (可とう形改修塗材以外の場合)

<4.6.3>

塗膜の劣化部の除去工法

処 理 範 囲

・ サンダー工法

※ 劣化部除去
(加圧力 15MPa程度)

・ 高圧水洗工法

・ 塗膜はく離工法

・ 水洗い工法

・ 図示

改修工法

<5.1.3>

・ かぶせ工法

・ 撤去工法

・ 既存建具調整
新規建具周囲の補修方法及び範囲は図示による。

見本の作成等

<5.1.5>

製 作

※ 行わない

・ 行う (建具表による)

仮 組

※ 行わない

・ 行う (建具表による)

防犯建物部品

※ 使用しない

・ 使用する (建具表による)

<5.1.7>

2.アルミニウム
製建具

3.網戸

4.樹脂製建具

5.鋼製建具

6.鋼製軽量建具

7.ステンレス製
建具

8.木製建具

9.建具用金物

外部に面する建具

<5.2.2><5.2.4><表5.2.1>

種 別

耐風圧性

気密性

水密性

枠の見込み寸法 (mm)

・ A 種

S-4

A-3

W-4

70(引違い、片引き、上げ下げ窓
で複層ガラスを使用する時に性能が
確保できない場合は、100)

・ B 種

S-5

・ C 種

S-6

A-4

W-5

※100

※ 適用箇所は図示による

表面処理

外部に面する建具

※ B-1種

・ B-2種

内 部 建 具

※ C-1種

・ C-2種

B-2種、C-2種の場合

・ ブロンズカラー (※ 標準色 ・ 濃色)
・ ステンカラー

防音ドアセット、防音サッシ

・ 適用する (適用範囲は図示による)
※ 適用しない
・ T-1 ・ T-2 ・ T-3

適用する場合の遮音性の等級

※ 適用しない

断熱ドアセット、断熱サッシ

・ 適用する (適用範囲は図示による)
※ 適用しない
・ H-2 ・ H-3

適用する場合の断熱性の等級

※ 適用しない

耐震ドアセット、耐震サッシ

・ 適用する (適用範囲は図示による)
※ 適用しない
・ D-1 ・ D-2

適用する場合の面内変形
追随性の等級

使用方法による区分

※ 外面納まりの可動式
・ 内部納まりの開き式

<5.2.3>

防虫網(線径0.25mm 網目16-18メッシュ)

・ ガラス繊維入り合成樹脂

・ ス

防鳥網

※ ステンレス (SUS304) 線径1.5mm ピッチ15mm

外部に面する建具性能等級等

<5.3.2><表5.3.1>

種 別

耐風圧性

気密性

水密性

枠の見込み寸法 (mm)

・ A 種

S-4

W-4

・ B 種

S-5

W-5

※建具表による

・ C 種

S-6

※ 適用箇所は図示による

防音ドアセット、防音サッシ

・ 適用する (適用範囲は図示による) ※ 適用しない
適用する場合の遮音性の等級 ・ T-A種 ・ T-B種

断熱ドアセット、断熱サッシ

・ 適用する (適用範囲は図示による) ※ 適用しない
適用する場合の断熱性の等級 ・ H-A種 ・ H-B種

表面色

<5.3.4>

・ 標準色 (白) ・ 特注色 (黒 ・ ブラウン ・ シルバー)

簡易気密型ドアセット

<5.4.2><5.4.4><表5.4.2>

※ 使用する (適用範囲は図示とする)

気密性 ※ A-3
水密性 ※ W-1
・ 使用しない

外部に面する建具の耐風圧性

※ S-4 ・ S-5

鋼 板

<5.4.3>

※ 溶融亜鉛めっき鋼板 (JIS G 3402)
・ 溶融亜鉛-5%アルミニウム合金めっき鋼板 (JIS G 3317)
建具寸法が<5.4.4(a)>を超える又は図示された建具に使用する鋼板類の厚さ

区 分

使用箇所

厚さ (mm)

窓

枠類

枠、方立、無目

<表5.4.2>に同じ

出入口

枠類

一般部分

2.3

出入口

戸

中骨

2.3

上記以外

<表5.4.2>に同じ

標準型鋼製建具

※ 使用する ・ 使用しない

<5.4.6>

簡易気密型ドアセット

<5.5.2～4><表5.5.1>

※ 使用する (適用箇所は図示による)

気密性 ※ A-3
・ 使用しない

戸の鋼板

※ 亜鉛めっき鋼板 ・ ビニル被覆鋼板 ・ ビニル被覆鋼板

標準型鋼製軽量建具

※ 使用する ・ 使用しない

<5.5.6>

標準型鋼製軽量建具の小窓枠、がらり

※ 鋼製 ・ アルミ製

簡易気密型ドアセット

<5.6.2>

※ 使用する (適用範囲は図示とする)

気密性 ※ A-3
水密性 ※ W-1
・ 使用しない

外部に面する建具の耐風圧性

※ S-4 ・ S-5

表面処理

※ HL

<5.6.4>

鋼板の曲げ加工

※ 普通曲げ ・ かど出し曲げ

<5.6.5>

建具材の加工、組立時の含水率

<16.7.2～4>

・ A種 ※ B種 ・ C種

かまちは杉上小節程度 棧、鏡板は杉無節程度

ふすまの上張り ※ 新鳥の子程度又はビニル紙程度

ふすまの種類 ※ 戸ふすま 工法 (在来型 ・ チップ型)

9.建具用金物

<5.7.2><表5.7.1>

金 物 の 種 類

型 式

製 造 所

シリンダー箱錠

本締り付きモノロック

モノロック

シリンダー本締り錠

グレモン錠

ドアクローザー

フロアヒンジ

10.自動ドア
開閉装置

11.重量
シャッター

12.軽量
シャッター

13.オーバー
ヘッドドア

14.ガラス

ヒンジクローザー

ピボット形

ピボットヒンジ

JIS表示認証製品

レバーハンドル

レバー長さ L=130程度

錠前類と同一製造所

戸あたり

あおり止め付き

標準型鋼製建具及び標準型軽量鋼製建具 (準標準型共) のドアクローザー、
シリンダー箱錠は公共工事標準型とする。
握り玉、レバーハンドル、押板類、クレセント取付位置は、建具表による。

マスターキーの作成

・ 要 ・ 不要
・ 不要 (既存マスターキーで施錠解可能とする。)

<5.7.4>

性能

<5.8.2><表5.8.1～2>

センサーの種類

<5.8.3><表5.8.3>

※ センサーの種類によらず補助センサー併用とする

凍結防止装置

・ 要 ※ 不要

全半開装置

※ 設ける (半開幅=)
・ 設けない

<5.10.2><表5.10.1>

種 類

シャッター
ケース

耐風圧
強度

開閉方式

保護装置

・ 一般シャッター

※ 設ける
・ 設けない

※ 上部電動式
(手動併用)
・ 上部手動式

障害物感知装置
(自動閉鎖型)
※ 設ける
・ 設けない

・ 防火シャッター
・ 外壁用
・ 屋内用

※ 設ける
・

建具表
及び
図示
による

※ 上部電動式
(手動併用)

障害物感知装置
(自動閉鎖型)を
設ける。

・ 防煙シャッター

スラット及びシャッターケース用鋼板

<5.10.3>

※ 溶融亜鉛めっき鋼板 (JIS G 3302)
・ 塗装溶融亜鉛めっき鋼板 (JIS G 3312)

<5.11.2～4><表5.11.1>

種 類

シャッター
ケース

耐風圧
強度

スラットの形状

保護装置

※ 手動式

※ 設ける

※ スチールパイプ
(めっき仕上)

障害物感知装置
(自動閉鎖型)
※ 設ける
・ 設けない

・ 電動式
(手動併用)

・ 設けない

建具表
及び
図示
による

・ ステンレス
パイプ

・ 設けない

スラットの材質

<5.11.3>

・ 塗装溶融亜鉛めっき鋼板 (JIS G 3312)
・ 塗装溶融5%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 (JIS G 3322)

<5.12.2～3>

材 質

開閉方式

収納形式

耐風圧性能

ガイドレール

※ スチール
タイプ

※ バランス式
・ チューン式

※ スタン
ダード形
・ ロー
ヘッド形
・ ハイ
リフト形
・ パーチ
カル形

・ 50
・ 75
・ 100
・ 125
(JIS A4715
による強さ
の区分)

※ 溶融亜鉛
メッキ鋼板
・ ステンレス
鋼板

・ アルミニウム
タイプ

・ 電動式

・ ロー
ヘッド形
・ ハイ
リフト形
・ パーチ
カル形

・ 100
・ 125
・ 150
(JIS A4715
による強さ
の区分)

・ ステンレス
鋼板

・ ファイバー
グラスタイプ

保護装置

障害物感知装置

※ 設ける ・ 設けない

<5.13.2><5.13.3><表5.13.1>

※ 外部の建具に使用するガラスは、建築基準法に基づく耐風圧性能を有すること。
※ ガラスの材料、厚さ、それぞれの種類等は建具表及び図示による。
合わせガラスの特性
・ I 類 ・ II-1類 ・ II-2類 ・ III類

強化ガラスの特性

・ I 類 ・ III類

熱線吸収ガラス

性能

1類 ・ 2類

色調

ブルー ・ グレー ・ ブロンズ

複層ガラス

性能

1種 ・ 2種
・ 3種 (U3-1 ・ U3-2)
・ 4種 ・ 5種

封止の加速耐久性による区分

※ III類

熱線反射ガラス

日射遮へい性

1種 ・ 2種 ・ 3種

耐久性

A類 ・ B類

色調

ブルー ・ グレー ・ ブロンズ
・ シルバー

反射皮膜

・ 内側 ・ 外側

映像調整

・ 行わない

ガラスの留め材

※ シーリング ・ ガスケット (可動アルミ製建具に限る)

防火戸のガラスの留め材は建築基準法の認定を受けたシーリング材とする。
ガラスの溝幅については、<表5.13.1>による。ただし強化ガラス、合わせガラス及び
倍強度ガラスの溝幅は図示による。
複層ガラスの保証期間は引き渡し日から10年間とし、メーカー保証書を提出する。

10.自動ドア
開閉装置

11.重量
シャッター

12.軽量
シャッター

13.オーバー
ヘッドドア

14.ガラス

新町団地 1 号棟外壁等改修工事

改修

製作年月日

工事名称

新町団地 1 号棟外壁等改修工事

工事種別

改修

担当者

図面内容

改修特記仕様書 (2)

図面 No.

A-02

1 級建築士事務所 福岡県知事登録 第 1-61427 号
1 級建築士登録 第 349069 号 後藤 友哉

〒807-0851
福岡県北九州市八幡西区永大丸5-9-6
ぎやらくく永大丸ビル 2 F
TEL・FAX (093)-287-4657
E-mail: t-goto@g-sekkei.net

製作年月日

工事名称

新町団地 1 号棟外壁等改修工事

工事種別

改修

1 級建築士事務所 福岡県知事登録 第 1-61427 号
1 級建築士登録 第 349069 号 後藤 友哉

〒807-0851
福岡県北九州市八幡西区永大丸5-9-6
ぎやらくく永大丸ビル 2 F
TEL・FAX (093)-287-4657
E-mail: t-goto@g-sekkei.net

製作年月日

工事名称

新町団地 1 号棟外壁等改修工事

工事種別

改修

1 級建築士事務所 福岡県知事登録 第 1-61427 号
1 級建築士登録 第 349069 号 後藤 友哉

〒807-0851
福岡県北九州市八幡西区永大丸5-9-6
ぎやらくく永大丸ビル 2 F
TEL・FAX (093)-287-4657
E-mail: t-goto@g-sekkei.net

製作年月日

工事名称

新町団地 1 号棟外壁等改修工事

工事種別

改修

1 級建築士事務所 福岡県知事登録 第 1-61427 号
1 級建築士登録 第 349069 号 後藤 友哉

〒807-0851
福岡県北九州市八幡西区永大丸5-9-6
ぎやらくく永大丸ビル 2 F
TEL・FAX (093)-287-4657
E-mail: t-goto@g-sekkei.net

製作年月日

工事名称

新町団地 1 号棟外壁等改修工事

工事種別

改修

1 級建築士事務所 福岡県知事登録 第 1-61427 号
1 級建築士登録 第 349069 号 後藤 友哉

〒807-0851
福岡県北九州市八幡西区永大丸5-9-6
ぎやらくく永大丸ビル 2 F
TEL・FAX (093)-287-4657
E-mail: t-goto@g-sekkei.net

製作年月日

工事名称

新町団地 1 号棟外壁等改修工事

工事種別

改修

1 級建築士事務所 福岡県知事登録 第 1-61427 号
1 級建築士登録 第 349069 号 後藤 友哉

〒807-0851
福岡県北九州市八幡西区永大丸5-9-6
ぎやらくく永大丸ビル 2 F
TEL・FAX (093)-287-4657
E-mail: t-goto@g-sekkei.net

製作年月日

工事名称

新町団地 1 号棟外壁等改修工事

工事種別

改修

1 級建築士事務所 福岡県知事登録 第 1-61427 号
1 級建築士登録 第 349069 号 後藤 友哉

〒807-0851
福岡県北九州市八幡西区永大丸5-9-6
ぎやらくく永大丸ビル 2 F
TEL・FAX (093)-287-4657
E-mail: t-goto@g-sekkei.net

製作年月日

工事名称

新町団地 1 号棟外壁等改修工事

工事種別

改修

1 級建築士事務所 福岡県

5. 建築改修工事

15. ガラス
ブロック
(中空)

<5.13.5>

表面形状 (JIS A5212)	モジュール呼び寸法 による区分(長さ×高さ)			厚さによる区分
正方形	125×125	160×160	320×320	80
長方形	200×200	320×320	320×160	95
品質等	250×125	320×160	125	

ガラスの種類	柄	目地色	金 属 枠	耐火性能
一般ガラス	無	白	アルミニウム製	規定しない
乳白ガラス	有	グレー	(表面処理)	有
カラーガラス			ステンレス製	(分間)
熱線反射ガラス			(表面仕上)	

1. 改修範囲

既存壁の撤去に伴う当該壁の取合う天井、壁、床の改修範囲
※ 壁厚程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う。
・ 図示の範囲
天井内の既存壁の撤去に伴う当該壁の取合う天井の改修範囲
※ 壁面より両側600mm程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う。
・ 図示の範囲
天井の撤去に伴う取合部の壁面の改修
※ 既存のまま
・ 図示の範囲

<6.1.3>

2. 既存床の撤去
・ 下地補修

<6.2.2(a)>

3. 改修後の
床の清掃範囲

<6.2.2(c)>

4. 既存壁の撤去
・ 下地補修

<6.3.2(a)>

5. 木 材

表面仕上げる程度 ・ A種 ※ B種 ・ C種
含水率 下地材 ※ A種 ※ B種
造作材 ※ A種 ・ B種
造作材の材面の品質 ※ A種 ・ B種
代用樹種を使用しない箇所
※ なし ・ あり()
造作用集成材は<6.5.2(c)(ii)>による
見 付 け 材 面 JASによる集成材
等 級 ※ 1等 ・ 2等 ※ JAS集成材1等同等
単材の樹種
単材の厚さ(mm) 10～15 10～15

<6.5.1(c)>
<6.5.2(a)>
<6.5.2(b)>
<6.5.4>
<6.5.2>

7. 床張り用合板

床下貼り用合板 (12.2.1)
※ JASの構造用合板 特種 2等以上 C-D以上
()

8. 防腐・防蟻
・ 防虫処理

薬剤の加圧注入による防腐・防蟻処理
適用部位() 保存処理性能区分 ・ K2 ・ K3 ・ K4
薬剤の加圧注入処理を行ったのち、現場における加工、切断、孔あけ等を行った
箇所は、現場にて薬剤の塗布等による防腐・防蟻処理を行う。
防虫処理
ラフン材 保存処理性能区分 ※ K1
野縁などの種類
屋内 ※ 19型 ・ 25型(室名:)
屋外 ・ 19型 ※ 25型
インサート
・ 既存インサートを使用する ・ あと施工アンカーを設ける
あと施工アンカーの引抜き試験
※ 行う ※ 行わない
耐震性を考慮した補強
※ 行わない ・ 行う(補強方法及補強箇所は図示による)
耐風圧性を考慮した補強(ピロティ、屋外野天井等)
※ 行わない ・ 行う(補強方法及補強箇所は図示による)

<6.5.5>
<6.6.2><表6.6.1>
<6.6.4(a)>
<6.6.4(a)>
<6.6.4(j)>
<6.6.4(k)>
<6.7.3><表6.7.1>

10. 軽量鉄骨
壁下地材

※ JIS A 6519のJIS表示認証製品

11. 体育館の
鋼製床下地

JIS A5705のJIS表示認証製品

12. ビニル床
シート張り

JIS A5705のJIS表示認証製品
種 類 記号 色 柄 厚さ(mm) 特殊機能 工法
※ 発泡層のないもの ※ FS ※ 無地 ※ 2.0 ・ 帯電防止
・ TS ※ マーブル ※ 2.5 ・ 耐動荷重
・ 発泡層のあるもの ※ HS ・ ・ ・
・ KS ・ ・ ・

13. ビニル床
タイル張り

JIS A5705のJIS表示認証製品
種 類 記 号 寸 法 厚さ(mm) 特殊機能
※ コンポジション ビニル床タイル ※ KT ・ ※ 300×300 ・ 帯電防止
・ ホモジニアス ビニル床タイル ・ FT ・ 300×300 ・ 2.0 ・ 耐動荷重
・ 450×450 ・ ・

14. ビニル床
タイル
床シートの
特殊機能

帯電防止
・ 帯電防止性能評価(JIS A 1455)1.2～3.1程度
又は耐電圧(JIS L 1023)3kV以下
・ 帯電防止性能評価(JIS A 1455)3.2～5.1程度
又は漏えい抵抗値(JIS A 1454) 1×10?
・ 帯電防止性能評価(JIS A 1455)5.2以上
又は漏えい抵抗値(JIS A 1454) 1×10?

<6.8.2><6.8.3>
<6.8.2><6.8.3>
<6.8.2>

6. 建築改修工事

23. 壁紙張り

24. タイル張り

25. セルフレベ
リング材塗り

1. 防火材料

② 錆止め
塗料塗り

3. 合成樹脂調合
ペイント塗り
(SOP)

4. 合成樹脂
エマルション
ペイント塗り
(EP)

1. 鉄筋の種類

2. 溶接金網

3. 鉄筋の継手

4. 柱の帯筋

5. 圧接完了後の
抜取試験

1. 設計基準強度

2. レディー
ミクスト
コンクリート

3. 打放し
仕上げるの別

4. セメントの種類

5. 骨 材

<6.14.2>

施 工 箇 所	品 質	防 火 種 別
		・不燃 ・準不燃 ・その他

<6.16.3>

施工箇所	形状寸法(mm)	うわぐすり 施 用	役 物	色	再 生 材 利 用	備 考
		施 用	有	無	標準	注文
		・	・	・	・	・
		・	・	・	・	・
		・	・	・	・	・

<6.16.3~4>

内装タイルの工法
・ 改良積上げ張り 施工箇所()
・ 接着剤張り 施工箇所()

<6.17.2~3>

種類	・ 石こう系	・ セメント系
塗厚	※ 10mm	・
場所	※ 図示	・

<7.1.3>

※ 屋内の壁及び天井の仕上げは、建築基準法に基づく
基材同等の認定表示のあるものとする。
・ 次の箇所を除き防火材料とする。
()
<7.3.2~3><表7.2.2~3><表7.3.1~4>

下 地 種 別	下 地 調 整	塗 装 種 別	塗料種別
鉄鋼面	新 規 ※RA種 ※RB種 ・RC種 塗替え ・RA種 ※RB種 ・RC種	※A種(見え掛かり) ※B種(見え隠れ) ※C種	※A種 ※B種 <9節の場合>
亜鉛めっき 鋼面	新規建具 ・RA種 ・RB種 ・RC種 新 規 ※RA種 ・RB種 ・RC種 塗替え ・RA種 ※RB種 ・RC種	※A種 ・B種 ・C種 ※A種 ・B種 ・C種 ※A種 ・B種 ・C種	※A種 ・B種 ※C種 <9節の場合>

<7.2.2~4><7.4.2~5><表7.2.1~3><表7.4.1~3>

下 地 種 別	下 地 調 整	塗 装 種 別	塗料種別
木部	新 規 ・RA種 ※RB種 ・RC種 塗替え ・RA種 ※RB種 ・RC種	※A種(外部) ※B種(内部) ・C種	※1種 ・2種
鉄鋼面	新 規 ※RA種 ※RB種 ・RC種 塗替え ・RA種 ※RB種 ・RC種	※A種 ※B種 ・C種 ※A種 ※B種 ・C種	※1種 ・2種
亜鉛めっき 鋼面	建具塗替 ・RA種 ※RB種 ・RC種 新 規 ※RA種 ・RB種 ・RC種 塗替え ・RA種 ※RB種 ・RC種	※A種 ・B種 ・C種 ※A種 ・B種 ・C種 ※A種 ※B種 ・C種	※1種 ・2種

<7.2.5~7><7.10.2><表7.2.4~7><表7.10.1>

下 地 種 別	下 地 調 整	塗 装 種 別	塗料種別
コンクリート 面	新 規 ※RA種 ※RB種 ・RC種 塗替え ・RA種 ※RB種 ・RC種	※A種 ・B種 ・C種 ※A種 ※B種 ・C種	※1種
ALCパネル 面			
押出成形 セメント板面			
モルタル面 プラスター面	新 規 ・RA種 ※RB種 ・RC種 塗替え ・RA種 ※RB種 ・RC種	※A種 ・B種 ・C種 ※A種 ※B種 ・C種	※1種
石こうボード その他の ボード等の面	新 規 ※RA種(継目処理工法) 塗替え ※RB種(その他) ・RC種	※A種 ・B種 ・C種 ※A種 ※B種 ・C種	※1種

6. 建築改修工事

6. 建築改修工事

7. 建築改修工事

8. 建築改修工事

9. 建築改修工事

10. 建築改修工事

11. 建築改修工事

12. 建築改修工事

13. 建築改修工事

14. 建築改修工事

15. 建築改修工事

16. 建築改修工事

17. 建築改修工事

18. 建築改修工事

19. 建築改修工事

20. 建築改修工事

21. 建築改修工事

22. 建築改修工事

23. 建築改修工事

24. 建築改修工事

25. 建築改修工事

26. 建築改修工事

27. 建築改修工事

28. 建築改修工事

29. 建築改修工事

30. 建築改修工事

31. 建築改修工事

32. 建築改修工事

33. 建築改修工事

34. 建築改修工事

35. 建築改修工事

36. 建築改修工事

37. 建築改修工事

38. 建築改修工事

39. 建築改修工事

40. 建築改修工事

41. 建築改修工事

42. 建築改修工事

43. 建築改修工事

44. 建築改修工事

45. 建築改修工事

46. 建築改修工事

47. 建築改修工事

48. 建築改修工事

49. 建築改修工事

50. 建築改修工事

51. 建築改修工事

52. 建築改修工事

53. 建築改修工事

54. 建築改修工事

55. 建築改修工事

56. 建築改修工事

57. 建築改修工事

58. 建築改修工事

59. 建築改修工事

60. 建築改修工事

61. 建築改修工事

62. 建築改修工事

63. 建築改修工事

64. 建築改修工事

65. 建築改修工事

66. 建築改修工事

67. 建築改修工事

68. 建築改修工事

69. 建築改修工事

70. 建築改修工事

71. 建築改修工事

72. 建築改修工事

73. 建築改修工事

74. 建築改修工事

75. 建築改修工事

76. 建築改修工事

77. 建築改修工事

78. 建築改修工事

79. 建築改修工事

80. 建築改修工事

81. 建築改修工事

82. 建築改修工事

83. 建築改修工事

84. 建築改修工事

85. 建築改修工事

86. 建築改修工事

87. 建築改修工事

88. 建築改修工事

89. 建築改修工事

90. 建築改修工事

91. 建築改修工事

92. 建築改修工事

93. 建築改修工事

94. 建築改修工事

95. 建築改修工事

96. 建築改修工事

97. 建築改修工事

98. 建築改修工事

99. 建築改修工事

100. 建築改修工事

6. 建築改修工事

6. 建築改修工事

7. 建築改修工事

8. 建築改修工事

9. 建築改修工事

10. 建築改修工事

11. 建築改修工事

12. 建築改修工事

13. 建築改修工事

14. 建築改修工事

15. 建築改修工事

16. 建築改修工事

17. 建築改修工事

18. 建築改修工事

19. 建築改修工事

20. 建築改修工事

21. 建築改修工事

22. 建築改修工事

23. 建築改修工事

24. 建築改修工事

25. 建築改修工事

26. 建築改修工事

27. 建築改修工事

28. 建築改修工事

29. 建築改修工事

30. 建築改修工事

31. 建築改修工事

32. 建築改修工事

33. 建築改修工事

34. 建築改修工事

35. 建築改修工事

36. 建築改修工事

37. 建築改修工事

38. 建築改修工事

39. 建築改修工事

40. 建築改修工事

41. 建築改修工事

42. 建築改修工事

43. 建築改修工事

44. 建築改修工事

45. 建築改修工事

46. 建築改修工事

47. 建築改修工事

48. 建築改修工事

49. 建築改修工事

50. 建築改修工事

51. 建築改修工事

52. 建築改修工事

53. 建築改修工事

54. 建築改修工事

55. 建築改修工事

56. 建築改修工事

57. 建築改修工事

58. 建築改修工事

59. 建築改修工事

60. 建築改修工事

61. 建築改修工事

62. 建築改修工事

63. 建築改修工事

64. 建築改修工事

65. 建築改修工事

66. 建築改修工事

67. 建築改修工事

68. 建築改修工事

69. 建築改修工事

70. 建築改修工事

71. 建築改修工事

72. 建築改修工事

73. 建築改修工事

74. 建築改修工事

75. 建築改修工事

76. 建築改修工事

77. 建築改修工事

78. 建築改修工事

79. 建築改修工事

80. 建築改修工事

81. 建築改修工事

82. 建築改修工事

83. 建築改修工事

84. 建築改修工事

85. 建築改修工事

86. 建築改修工事

87. 建築改修工事

88. 建築改修工事

89. 建築改修工事

90. 建築改修工事

91. 建築改修工事

92. 建築改修工事

93. 建築改修工事

94. 建築改修工事

95. 建築改修工事

96. 建築改修工事

97. 建築改修工事

98. 建築改修工事

99. 建築改修工事

100. 建築改修工事

6. 建築改修工事

6. 建築改修工事

7. 建築改修工事

8. 建築改修工事

9. 建築改修工事

10. 建築改修工事

11. 建築改修工事

12. 建築改修工事

13. 建築改修工事

14. 建築改修工事

15. 建築改修工事

16. 建築改修工事

17. 建築改修工事

18. 建築改修工事

19. 建築改修工事

20. 建築改修工事

21. 建築改修工事

22. 建築改修工事

23. 建築改修工事

24. 建築改修工事

25. 建築改修工事

26. 建築改修工事

27. 建築改修工事

28. 建築改修工事

29. 建築改修工事

30. 建築改修工事

31. 建築改修工事

32. 建築改修工事

33. 建築改修工事

34. 建築改修工事

35. 建築改修工事

36. 建築改修工事

37. 建築改修工事

38. 建築改修工事

39. 建築改修工事

40. 建築改修工事

41. 建築改修工事

42. 建築改修工事

43. 建築改修工事

44. 建築改修工事

45. 建築改修工事

46. 建築改修工事

47. 建築改修工事

48. 建築改修工事

49. 建築改修工事

50. 建築改修工事

51. 建築改修工事

52. 建築改修工事

53. 建築改修工事

54. 建築改修工事

55. 建築改修工事

56. 建築改修工事

57. 建築改修工事

58. 建築改修工事

59. 建築改修工事

60. 建築改修工事

61. 建築改修工事

62. 建築改修工事

63. 建築改修工事

64. 建築改修工事

65. 建築改修工事

66. 建築改修工事

67. 建築改修工事

68. 建築改修工事

69. 建築改修工事

70. 建築改修工事

71. 建築改修工事

72. 建築改修工事

73. 建築改修工事

74. 建築改修工事

75. 建築改修工事

76. 建築改修工事

77. 建築改修工事

78. 建築改修工事

79. 建築改修工事

80. 建築改修工事

81. 建築改修工事

82. 建築改修工事

83. 建築改修工事

84. 建築改修工事

85. 建築改修工事

86. 建築改修工事

87. 建築改修工事

88. 建築改修工事

89. 建築改修工事

90. 建築改修工事

91. 建築改修工事

92. 建築改修工事

93. 建築改修工事

94. 建築改修工事

95. 建築改修工事

96. 建築改修工事

97. 建築改修工事

98. 建築改修工事

99. 建築改修工事

100. 建築改修工事

6. 建築改修工事

6. 建築改修工事

7. 建築改修工事

8. 建築改修工事

9. 建築改修工事

10. 建築改修工事

11. 建築改修工事

12. 建築改修工事

13. 建築改修工事

14. 建築改修工事

15. 建築改修工事

16. 建築改修工事

17. 建築改修工事

18. 建築改修工事

19. 建築改修工事

20. 建築改修工事

21. 建築改修工事

22. 建築改修工事

23. 建築改修工事

24. 建築改修工事

25. 建築改修工事

26. 建築改修工事

27. 建築改修工事

28. 建築改修工事

29. 建築改修工事

30. 建築改修工事

31. 建築改修工事

32. 建築改修工事

33. 建築改修工事

34. 建築改修工事

35. 建築改修工事

36. 建築改修工事

37. 建築改修工事

38. 建築改修工事

39. 建築改修工事

40. 建築改修工事

41. 建築改修工事

42. 建築改修工事

43. 建築改修工事

44. 建築改修工事

45. 建築改修工事

46. 建築改修工事

47. 建築改修工事

48. 建築改修工事

49. 建築改修工事

50. 建築改修工事

51. 建築改修工事

52. 建築改修工事

53. 建築改修工事

54. 建築改修工事

55. 建築改修工事

56. 建築改修工事

57. 建築改修工事

58. 建築改修工事

59. 建築改修工事

60. 建築改修工事

61. 建築改修工事

62. 建築改修工事

63. 建築改修工事

64. 建築改修工事

65. 建築改修工事

66. 建築改修工事

67. 建築改修工事

68. 建築改修工事

69. 建築改修工事

70. 建築改修工事

71. 建築改修工事

72. 建築改修工事

73. 建築改修工事

74. 建築改修工事

75. 建築改修工事

76. 建築改修工事

77. 建築改修工事

78. 建築改修工事

79. 建築改修工事

80. 建築改修工事

81. 建築改修工事

82. 建築改修工事

83. 建築改修工事

84. 建築改修工事

85. 建築改修工事

86. 建築改修工事

87. 建築改修工事

88. 建築改修工事

89. 建築改修工事

90. 建築改修工事

91. 建築改修工事

92. 建築改修工事

93. 建築改修工事

94. 建築改修工事

95. 建築改修工事

96. 建築改修工事

97. 建築改修工事

98. 建築改修工事

99. 建築改修工事

100. 建築改修工事

6. 建築改修工事

6. 建築改修工事

7. 建築改修工事

8. 建築改修工事

9. 建築改修工事

10. 建築改修工事

11. 建築改修工事

12. 建築改修工事

13. 建築改修工事

14. 建築改修工事

15. 建築改修工事

16. 建築改修工事

17. 建築改修工事

18. 建築改修工事

19. 建築改修工事

20. 建築改修工事

21. 建築改修工事

22. 建築改修工事

23. 建築改修工事

24. 建築改修工事

25. 建築改修工事

26. 建築改修工事

27. 建築改修工事

28. 建築改修工事

29. 建築改修工事

30. 建築改修工事

31. 建築改修工事

32. 建築改修工事

33. 建築改修工事

34. 建築改修工事

35. 建築改修工事

36. 建築改修工事

37. 建築改修工事

38. 建築改修工事

39. 建築改修工事

40. 建築改修工事

41. 建築改修工事

42. 建築改修工事

43. 建築改修工事

44. 建築改修工事

45. 建築改修工事

46. 建築改修工事

47. 建築改修工事

48. 建築改修工事

49. 建築改修工事

50. 建築改修工事

51. 建築改修工事

52. 建築改修工事

53. 建築改修工事

54. 建築改修工事

55. 建築改修工事

56. 建築改修工事

57. 建築改修工事

58. 建築改修工事

59. 建築改修工事

60. 建築改修工事

61. 建築改修工事

62. 建築改修工事

63. 建築改修工事

64. 建築改修工事

65. 建築改修工事

66. 建築改修工事

67. 建築改修工事

68. 建築改修工事

69. 建築改修工事

70. 建築改修工事

71. 建築改修工事

72. 建築改修工事

73. 建築改修工事

74. 建築改修工事

75. 建築改修工事

76. 建築改修工事

77. 建築改修工事

78. 建築改修工事

79. 建築改修工事

80. 建築改修工事

81. 建築改修工事

82. 建築改修工事

83. 建築改修工事

84. 建築改修工事

85. 建築改修工事

86. 建築改修工事

87. 建築改修工事

88. 建築改修工事

89. 建築改修工事

90. 建築改修工事

91. 建築改修工事

92. 建築改修工事

93. 建築改修工事

94. 建築改修工事

95. 建築改修工事

96. 建築改修工事

97. 建築改修工事

98. 建築改修工事

99. 建築改修工事

100. 建築改修工事

6. 建築改修工事

6. 建築改修工事

7. 建築改修工事

8. 建築改修工事

9. 建築改修工事

10. 建築改修工事

11. 建築改修工事

12. 建築改修工事

13. 建築改修工事

14. 建築改修工事

15. 建築改修工事

16. 建築改修工事

17. 建築改修工事

18. 建築改修工事

19. 建築改修工事

20. 建築改修工事

21. 建築改修工事

22. 建築改修工事

23. 建築改修工事

24. 建築改修工事

25. 建築改修工事

26. 建築改修工事

27. 建築改修工事

28. 建築改修工事

29. 建築改修工事

30. 建築改修工事

31. 建築改修工事

32. 建築改修工事

33. 建築改修工事

34. 建築改修工事

35. 建築改修工事

36. 建築改修工事

37. 建築改修工事

38. 建築改修工事

39. 建築改修工事

40. 建築改修工事

41. 建築改修工事

42. 建築改修工事

43. 建築改修工事

44. 建築改修工事

45. 建築改修工事

46. 建築改修工事

47. 建築改修工事

48. 建築改修工事

49. 建築改修工事

50. 建築改修工事

51. 建築改修工事

52. 建築改修工事

53. 建築改修工事

54. 建築改修工事

55. 建築改修工事

56. 建築改修工事

57. 建築改修工事

58. 建築改修工事

59. 建築改修工事

60. 建築改修工事

61. 建築改修工事

62. 建築改修工事

63. 建築改修工事

64. 建築改修工事

65. 建築改修工事

66. 建築改修工事

67. 建築改修工事

68. 建築改修工事

69. 建築改修工事

70. 建築改修工事

71. 建築改修工事

72. 建築改修工事

73. 建築改修工事

74. 建築改修工事

75. 建築改修工事

76. 建築改修工事

77. 建築改修工事

78. 建築改修工事

79. 建築改修工事

80. 建築改修工事

81. 建築改修工事

82. 建築改修工事

83. 建築改修工事

84. 建築改修工事

85. 建築改修工事

86. 建築改修工事

87. 建築改修工事

88. 建築改修工事

89. 建築改修工事

90. 建築改修工事

91. 建築改修工事

92. 建築改修工事

93. 建築改修工事

94. 建築改修工事

95. 建築改修工事

96. 建築改修工事

97. 建築改修工事

98. 建築改修工事

99. 建築改修工事

100. 建築改修工事

6. 建築改修工事

6. 建築改修工事

7. 建築改修工事

8. 建築改修工事

9. 建築改修工事

10. 建築改修工事

11. 建築改修工事

12. 建築改修工事

13. 建築改修工事

14. 建築改修工事

15. 建築改修工事

16. 建築改修工事

17. 建築改修工事

18. 建築改修工事

19. 建築改修工事

20. 建築改修工事

21. 建築改修工事

22. 建築改修工事

23. 建築改修工事

24. 建築改修工事

25. 建築改修工事

26. 建築改修工事

27. 建築改修工事

28. 建築改修工事

29. 建築改修工事

30. 建築改修工事

31. 建築改修工事

32. 建築改修工事

33. 建築改修工事

34. 建築改修工事

35. 建築改修工事

36. 建築改修工事

37. 建築改修工事

38. 建築改修工事

39. 建築改修工事

40. 建築改修工事

41. 建築改修工事

42. 建築改修工事

43. 建築改修工事

44. 建築改修工事

45. 建築改修工事

46. 建築改修工事

47. 建築改修工事

48. 建築改修工事

49. 建築改修工事

50. 建築改修工事

51. 建築改修工事

52. 建築改修工事

53. 建築改修工事

54. 建築改修工事

55. 建築改修工事

56. 建築改修工事

57. 建築改修工事

58. 建築改修工事

59. 建築改修工事

60. 建築改修工事

61. 建築改修工事

62. 建築改修工事

63. 建築改修工事

64. 建築改修工事

65. 建築改修工事

66. 建築改修工事

67. 建築改修工事

68. 建築改修工事

69. 建築改修工事

70. 建築改修工事

71. 建築改修工事

72. 建築改修工事

73. 建築改修工事

74. 建築改修工事

75. 建築改修工事

76. 建築改修工事

77. 建築改修工事

78. 建築改修工事

79. 建築改修工事

80. 建築改修工事

81. 建築改修工事

82. 建築改修工事

83. 建築改修工事

84. 建築改

1. 一般事項

石綿等の取扱については、大気汚染防止法（昭和43年6月10日法律第97号）（以下、「大防法」という。）及び石綿障害予防規則（平成17年2月24日厚生労働省令第21号）（以下、「石綿則」という。）を遵守すること。

施工調査
・ 行わない
※ 行う（大防法第18条の17により、同法の特定工事に該当するか事前調査を行うこと、調査結果は、図面等に記録し、書面により発注者に説明の上、提出すること。
特定工事に該当する場合、受注者は大防法第18条の15による届出書の案を作成し、監督職員に提出すること。
調査の結果、設計図面と異なる場合は監督職員と協議する。）

調査事項
※ アスベスト含有建材等の使用部位
※ アスベスト含有建材等の種類、厚さ、面積
※ 施工範囲と工事範囲区分
※ 排出作業の方法
・

調査結果を公衆に見やすいよう掲示すること。
※ 事業場の名称
※ 調査結果
※ 建築物等の種類
※ 調査者及び所属
※ 調査方法
※ 調査終了年月日
※ 発注者からの通知
・

アスベスト含有分析
・ 行わない
・ 行う（分析結果は監督職員に提出する。）
調査箇所 ※ 図示
分析方法 ※ JIS A 1481「建材製品中のアスベスト含有測定法」による。

材 料 名	定性分析	定量分析
	・（試料数：）	・（試料数：）
	・（試料数：）	・（試料数：）

アスベスト粉じん濃度測定
・ 行わない
※ 行う（測定する時期・場所等は下表による）
「JIS K 8850-1 空気中の繊維状粒子測定方法-第1部-
：光学顕微鏡法及び定査電子顕微鏡法」による位相差、分散顕微鏡法適用による

測定名称	測定時期	測定場所	測定点 (各施工箇所ごと)	室 名 等
・ 測定1	処理作業前	処理作業室内 (注1)	※2点 ・ 点 ※2点 ・ 点	
・ 測定2		施工区画周辺 又は敷地境界	※2点 ・ 点 ※2点 ・ 点	
・ 測定3	処理作業中	処理作業室内 (注1)	※2点 ・ 点 ※2点 ・ 点	
・ 測定4		セキュリティ ゾーン入口 (空気の流れを 確認)	※1点 ・ 点 ※1点 ・ 点 ※1点 ・ 点	
・ 測定5		負圧・粉じん装 置の排気吹出口 (除じん装置の 性能確認)	※1点 ・ 点 ※1点 ・ 点 ※1点 ・ 点	
・ 測定6		施工区画周辺 又は敷地境界	※2点 ・ 点 ※2点 ・ 点	
・ 測定7	処理作業後 シート	処理作業室内	※2点 ・ 点 ※2点 ・ 点	
・ 測定8	撤去前	施工区画周辺 又は敷地境界	※2点 ・ 点 ※2点 ・ 点	
・ 測定9	処理作業後 シート 撤去後	処理作業室内	※2点 ・ 点 ※2点 ・ 点	

測定点 総 計 点

注1：周囲状況により上記によりがたい場合は、監督職員と協議する。
(例) アスベスト粉じん濃度測定方法

	測定点3	測定点1, 2, 4, 6, 7, 8	測定点5
数計機器	位相差・分散顕微鏡		
メンブレン フィルタの直径	25mm		
試料の吸引流量	1L/min	5L/min	47mm
試料の吸引時間	5min	120min	10L/min
試料の透明化	アセトン固定-有機物灰化-屈折率浸漬法		
計数条件	総合倍率400倍、アスベスト繊維総数、通常50視野		
計数アスベスト	幅3μm未満、長さ5μm以上、アスペクト比(長さ/幅)3以上		
定量限界	50本/Ｌ	0.47本/Ｌ	0.3本/Ｌ

記録する項目
ア. 測定結果
イ. 測定時間
ウ. 測定位置（測定高さとともに図面上に記載する。）
エ. サンプルング条件
（メンブレンフィルタ直径、吸引時間、吸引空気量）
オ. マウンティング法
カ. 顕微鏡視野面積、計数視野数
キ. 測定時（各測定場所ごと）の
天候、温度、湿度、外気の風速及び風量

測定機関
都道府県労働局に登録されている作業環境測定機関

施工記録報告書の提出
1. 施工計画書
2. 工事記録及び工事写真
3. 産業廃棄物処理記録（廃石綿）
4. 施工調査等記録（条規施行調査、含有分析、粉じん濃度測定等）
5. 作業者の作業記録、各種健康診断記録、安全衛生教育記録
6. その他必要事項
提出部数3部作成

2. 除去工事
共通事項

アスベスト含有建材の除去を直接行う専門業者については、工事に
相応した技術を有することを証明する書類を監督員に提出する。

作業主任者の選出
石綿作業主任技能講習又は平成18年3月以前の特定化学物質等作業主任者
技能講習を終了したものの中から、「石綿作業主任者」を選任しなければ
ならない。

除去作業者の教育
作業者は、就業時に石綿則第27条に基づく教育を受けた者とする。
また、一般健康診断、石綿健康診断及びじん肺健康診断を受診した者と
し、肺機能に異常のない者とする。

特別管理産業廃棄物管理責任者の選出
排出業者は、特別管理産業廃棄物管理責任者の資格を有するものを
選任し管理しなければならない。
ただし、アスベスト含有成形板の処理工事を除く。

表示及び掲示
更衣室など見やすい箇所に次の表示及び掲示を行う。
※ アスベスト作業主任者名と職務内容
※ 関係者以外立入禁止
※ 喫煙・飲水の禁止
※ 「アスベスト除去作業中」の表示
※ アスベストの有害性
※ 取り扱い上の注意事項
※ 使用すべき保護具

周辺住民の見やすい箇所に以下の表示を行う。
※ 「建築物等の解体等の作業に関するお知らせ（労働基準監督署への
届出内容、粉じん飛散抑制装置、臨露防止措置等）」

保護具、保護衣
作業内容に応じた、呼吸用保護具、保護めがねを使用すること。

除去したアスベスト含有物の保管、運搬等
※ 他のもみ入れ、廃棄物等と分別保管
※ 保管場所での飛散防止を施す。また、アスベスト成形板を運搬する
場合は、運搬車両の荷台全体をシート等で覆い、飛散防止に努める。
※ アスベスト等の保管場所である旨の表示を行う。

アスベスト含有吹き付け材の除去工事
・ 行う（適用範囲・図示）

・ 行わない
作業場等の隔離等
・ 作業場は以下によるものとし負圧除じん機にて負圧状態により
飛散防止をすること。
隔離シートの性能

・ 床面 ※ 0.15mm以上のプラスチックシート等で二重
・ 壁面 ※ 0.08mm以上のプラスチックシート等

ただし、（一財）日本建築センターの「建設技術審査証明事業」に
よる「吹き付けアスベスト粉じん飛散防止処理技術（除去）」の審査
証明書（以下、「審査証明書」という。）を取得している工法と同等
の飛散防止処理技術を有する工法とすることができる。その際には
監督員の承諾を得ること。

セキュリティゾーンの設置
・ 下表による

適用	室名	状態
・	更衣室	・ 更衣ロッカー※ 新品の保護具 ・ 呼吸用保護具保管箱※ 洗顔、うがい設備
・	洗浄室	・ 負圧 ・ エアシャワー（温水シャワー）
・	前室	・ 負圧 ・ 高性能真空掃除機 ・ 使用済み保護衣保管かご

ただし、（一財）日本建築センターの「建設技術審査証明事業」に
よる「吹き付けアスベスト粉じん飛散防止処理技術（除去）」の審査
証明書（以下、「審査証明書」という。）を取得している工法と同等
の飛散防止処理技術を有する工法とすることができる。その際には
監督員の承諾を得ること。

除去物及び汚染等
処理方法
・ 密封処理（二重袋梱包）
・ 隔離養生に用いたシート、使用した使い捨て保護衣、高性能真空
掃除機フィルタ、除じん機フィルタについても密封処理を行う。
・ セメント固化

アスベスト含有保温材の除去工事
・ 行う（適用範囲・図示）
・ 行わない

養生等
※ 養生シート等を用いて区画し、場外への飛散防止を行う。
掻き落とし、破壊、切断による除去方法
※ 行わない
・ 行う（<9.1.3>「アスベスト含有吹き付け材の除去」による）

除去工法
※ 粉じん飛散抑制剤などにより湿潤化したあとに、手ばらしによること。
※ 除去物については<9.1.3(b)>により、密封処理とする。

アスベスト含有成形板の除去工事
・ 行う（適用範囲・図示）
・ 行わない

養生
※ 作業場は、養生シート等を用いて区画する。

除去工法
※ 作業場は、散水等により湿潤化し、手ばらしによること。
※ やむを得ず破壊しなければならない場合には、十分に湿潤化した
状態で行うこと。
※ 除去物については、粉じんの飛散防止に努め、特に破壊された
アスベスト含有成形板については、湿潤化の上、丈夫なプラスチック袋
に入れる等の飛散防止措置を講ずること。

1. 断 熱 材

断熱材の打込み及び現場発泡工法
<9.5.2~3>

種 類	箇 所	厚さ(mm)	備 考
※ ポリスチレン フォーム (発泡プラス チック保温材)	・ A種 ビーズ法 ※A種押出法 2種b ・ ※A種押出法 3種b (スキ層付き)	下記以外 ※ 25 ・	JIS A 9511の JIS表示認証製品
・ 硬質ウレタン フォーム保温材	・	・	・
・ フェノール フォーム保温材	・	・	JIS A 9511の JIS表示認証製品
・ 吹付け硬質 ウレタン フォーム保温材	・ A種1	・	※ 20 JIS A 9526 による難燃性 ・2級 ※3級
・	・	・	・

※ 施工範囲は建築工事標準詳細図（図7-01-1）による。
上記以外に用いる断熱材

種 類	箇 所	厚さ(mm)	備 考
・ JISA発泡 プラスチック 保温材	・ A種 ビーズ法 ※A種押出法 2種b ・ ※A種押出法 3種b (スキ層付き)	下記以外 ※ 25 ・	JIS表示認証製品
・ グラスウール 保温材	・	※ 100 ・	※ 24K品 ・

※ グラスウール使用部分の室内側防湿シート
※ 被覆品 ・防湿層ポリエチレンフィルム(t0.15)張り（重ね100）

1. 一般事項

試料採取および測定は、厚生労働省の「
測定方法」
て行う。

測定対象化学物質
測定対象化学物質は、下記4 1）、2）の区分に従い、表の①から⑭の14物
質及びTVOC又は表の①から⑨の9物質及びTVOCとする。

1) クロマトグラム上で「n-ヘキサン」から「n-ヘキサデカン」までの部分
に検出される物質のピーク値を「トルエン」に換算した値をTVOC濃
度とする。
2) トルエン換算で 2.0μg/m3 未満のピークは測定の対象としない。
3) 上位10ピークについて物質を特定して濃度の測定を行う。

表 測定対象化学物質及び室内濃度指針値

化学物質名	室内濃度指針値		
①ホルムアルデヒド	100	μg/m3	0.08 ppm
②トルエン	260	μg/m3	0.07 ppm
③キシレン	870	μg/m3	0.20 ppm
④エチルベンゼン	3,800	μg/m3	0.88 ppm
⑤スチレン	220	μg/m3	0.05 ppm
⑥パラジクロロベンゼン	240	μg/m3	0.04 ppm
⑦テトラデカン	330	μg/m3	0.04 ppm
⑧アセトアルデヒド	48	μg/m3	0.03 ppm
⑨ノナール	(暫定)41	μg/m3	0.007 ppm
⑩フタル酸ジ-n-ブチル	220	μg/m3	0.02 ppm
⑪フタル酸ジ-2-エチルヘキシル	120	μg/m3	0.0076 ppm
⑫クロロピリホス	1	μg/m3	0.00007 ppm
⑬ダイアジノン	0.29	μg/m3	0.00002 ppm
⑭フェノフルアルブ	33	μg/m3	0.0038 ppm

⑬総揮発性有機化合物 (TVOC)

400 μg/m3 (暫定目標値)

1) 14物質及びTVOC濃度を測定する室等
・ 室名：
2) 9物質及びTVOC濃度を測定する室
・ 室名：
・ 屋外（周囲の建物から離れた場所1か所）

次の事項を記載した報告書を2部提出する。
1) 測定結果（アセトアルデヒドについては、試料採取時の気温が20℃
に満たない場合には、「厚労省の測定方法」に定める計算式で20℃、
湿度50%に、ホルムアルデヒドについては25℃、湿度50%に換正し
た濃度を報告すること。）
2) 試料採取時の状況（気温・湿度（屋外、室内）、天候、風の状況、日
射進入状況、採取年月日・時間、窓の開閉状況、機械換気量、工事
完成から試料採取までの日数）
3) 試料採取方法、測定方法、使用した測定機器
4) TVOC濃度の算出に使用したクロマトグラムの写し

表の化学物質①から⑭のうちのいずれかの物質の濃度が室内濃度指針値を
超える場合は、工事目的物の引渡しを受けない。
TVOCの測定の結果、暫定目標値を超える場合は、発生原因の究明及び
汚染物質の発生を低減するための対策について協議を行うこと。

1. フリーアクセス
フロア

（20.2.2）

施工場所	工 法	仕上り高 (mm)	適用地震時 水平力 (Ks)	耐荷重性能 (N)	表面仕上げ
	・溝工法 (置敷工法)		・ 1.0G ※ 0.6G	・ 3,000 ・ 5,000	・帯電防止 床タイル ・タイル カーペット
	・支柱一体型 パネル工法 (置敷工法)				
	・支柱分離型 パネル工法 (独立支柱工法)				

ボーダー部 ※ 一般部分の仕様準ずる 図示による
床表面仕上げ材の品質は標準仕様書19章による。
配線取出し用切り欠きパネルは1枚/㎡以上とする。
空調用吹き出し（吸い込み）パネル
※ なし ・ 有り（ ※ 固定式 ・ 可変式 ）
施工箇所は図示

（20.2.3）

構造形式による種類
構成材の種類
パネル表面材
遮音性
防火性能

（20.2.4）

パネルの操作方法による種類
パネル表面材の材質及び仕上

（20.2.5）

表面材 メラミン化粧板（特注色）
幅 木 ステンレス製 H=60
フレーム アルミ製
※ 一般ブース：アイカ工業（株）メラフロント（セーフティ・笠木仕様）同等品以上
小児用ブース：アイカ工業（株）ピュアコア（セーフティ・ローパネル仕様）同等品以上

（20.2.6）

材 種 ステンレス（SUS304）
ビニルタイヤ入り（幅約35mm）

（20.2.7）

取り付け方法 ※ 接着工法 ・ 埋込み工法

（20.2.9）

7. 鏡

（20.2.10）

⑧表 示
・誘導標識 市販品
⑨名塗装 SOP再塗装（住戸番号塗装標記）
適用箇所 各住戸玄関扉

施工箇所	材 種	寸 法	形 式
天 井	※ アルミニウム製	※ 450×450 ・ 600×600	※ 目地タイプ ・ 額縁タイプ
床	※ アルミニウム製	・ 450×450 ※ 600×600	※ 一般型貼付用 ・ 一般型充填用

（20.2.11）

11. アンテナポール
垂鉛メッキ 125φ H=1000

〒807-0851
福岡県北九州市八幡西区永大丸5-9-6
ぎやらくく永大丸ビル2F
TEL・FAX (093)-287-4657
E-mail: t-goto@g-sekkei.net

1級建築士事務所 福岡県知事登録 第1-61427号
1級建築士登録 第349069号 後藤 友哉

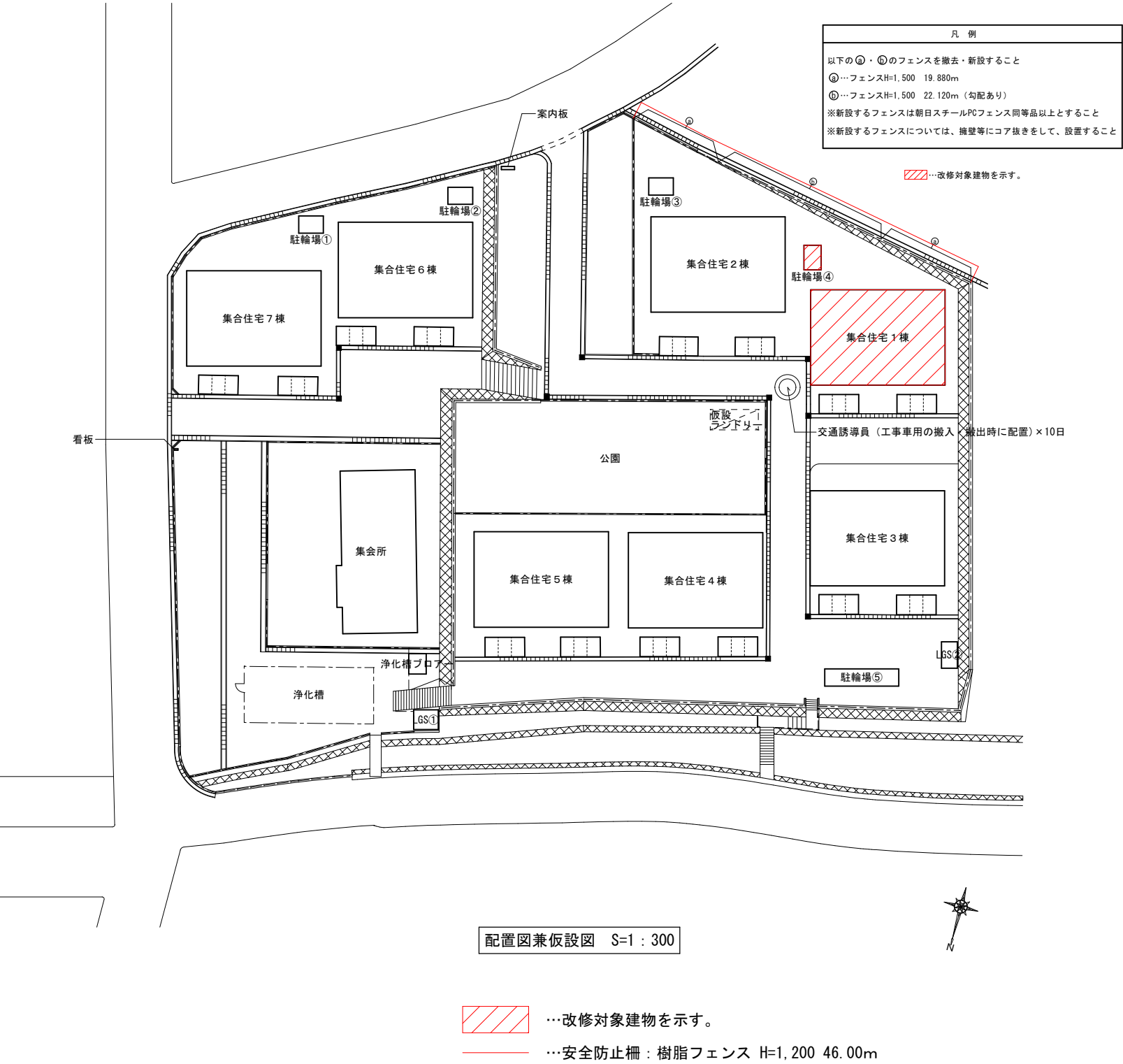
製作年月日
工事名称
新町団地1号棟外壁等改修工事
担当者
図面内容
改修特記仕様書（4）
S C A L E
—
図面No.
A-O4

工事種別
改修

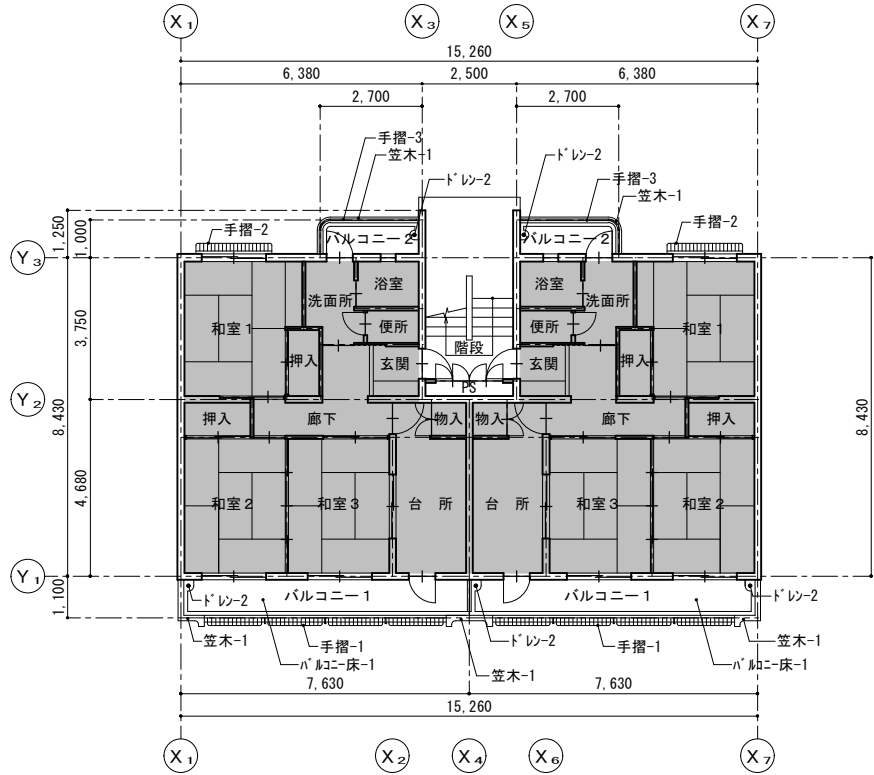
建物概要	
工事名称	新町団地 1 号棟外壁等改修工事
工事場所	福岡県田川郡糸田町真岡
主要用途	公営住宅
工事種別	改修工事
建物規模	鉄筋コンクリート造 3 階建て
建築面積	275.24㎡ ※既存図面等による
延床面積	782.35㎡ ※既存図面等による
工事概要	
1. 屋根防水改修工事	
2. 外壁改修工事	
3. 塗装改修工事	
4. 外構改修工事	
※集合住宅の居住者が、居住しながらの工事になるため、 工事中は安全を確保し、なるべく日常生活の支障にならないように配慮すること 又、仮設計画等は監督員と協議し対応すること	



附近見取図

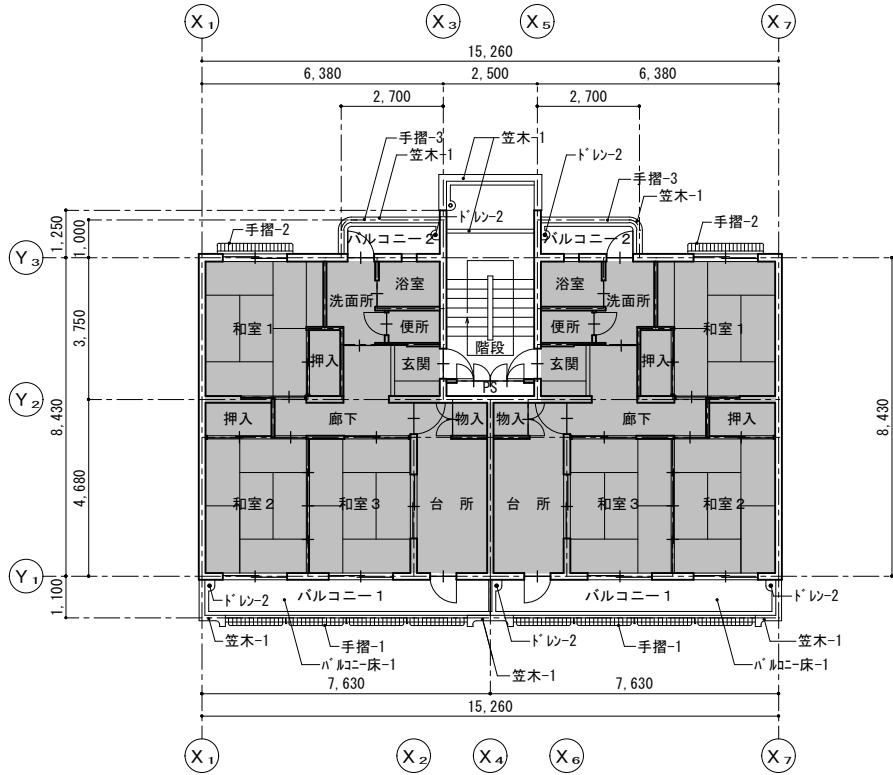


	 株式会社 ごとう計画・設計	〒807-0851 福岡県北九州市八幡西区永犬丸5-9-6 ぎやらつく永犬丸ビル2F TEL・FAX (093)-287-4657 E-mail: t-goto@g-sekkei.net	製作年月日	工事名称 新町団地 1 号棟外壁等改修工事	工事種別 改修			
1 級建築士事務所 福岡県知事登録 第 1 - 6 1 4 2 7 号		1 級建築士登録 第 3 4 9 0 6 9 号 後藤 友哉		図面内容 付近見取図 配置図兼仮設図 工事概要				
		SCALE A1:1:300 A3:1:600		図面 No. A - 0 6				



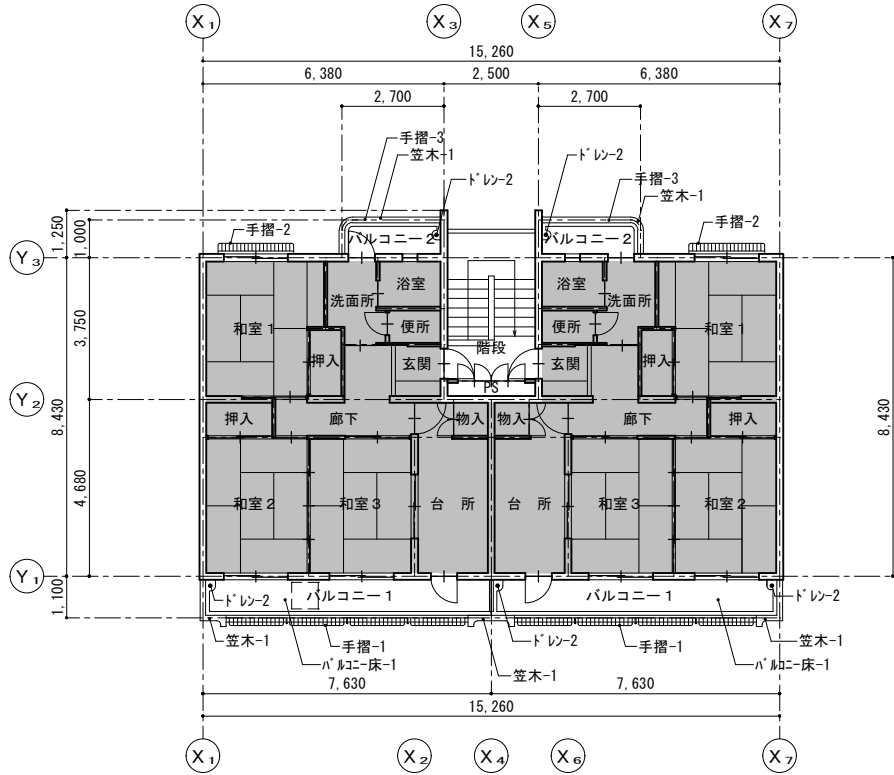
1階平面図 S=1/100

…改修対象外



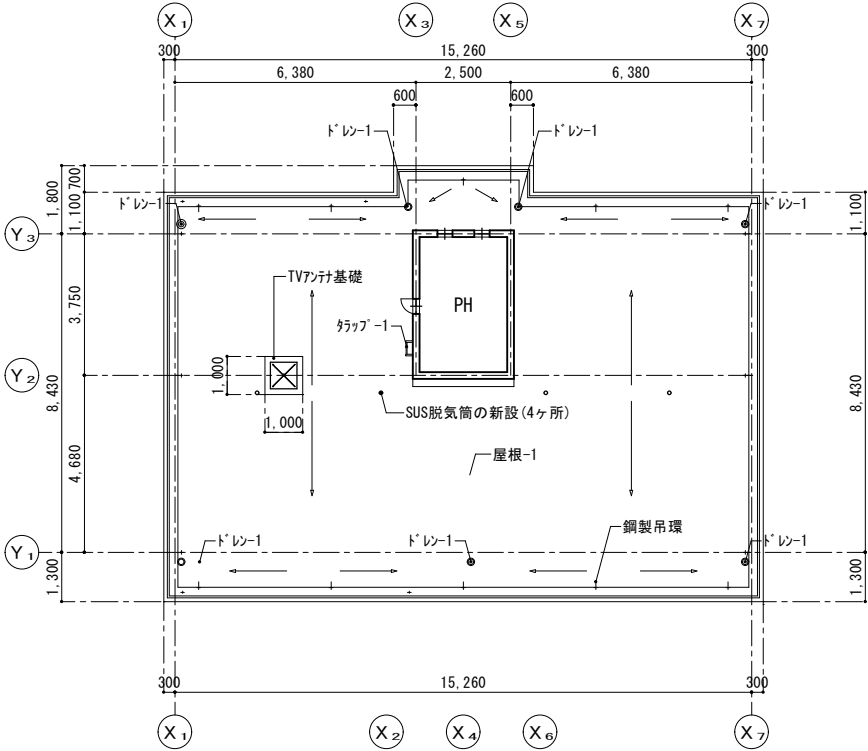
2階平面図 S=1/100

…改修対象外

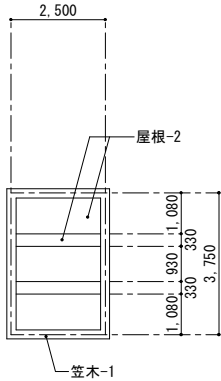


3階平面図 S=1/100

…改修対象外

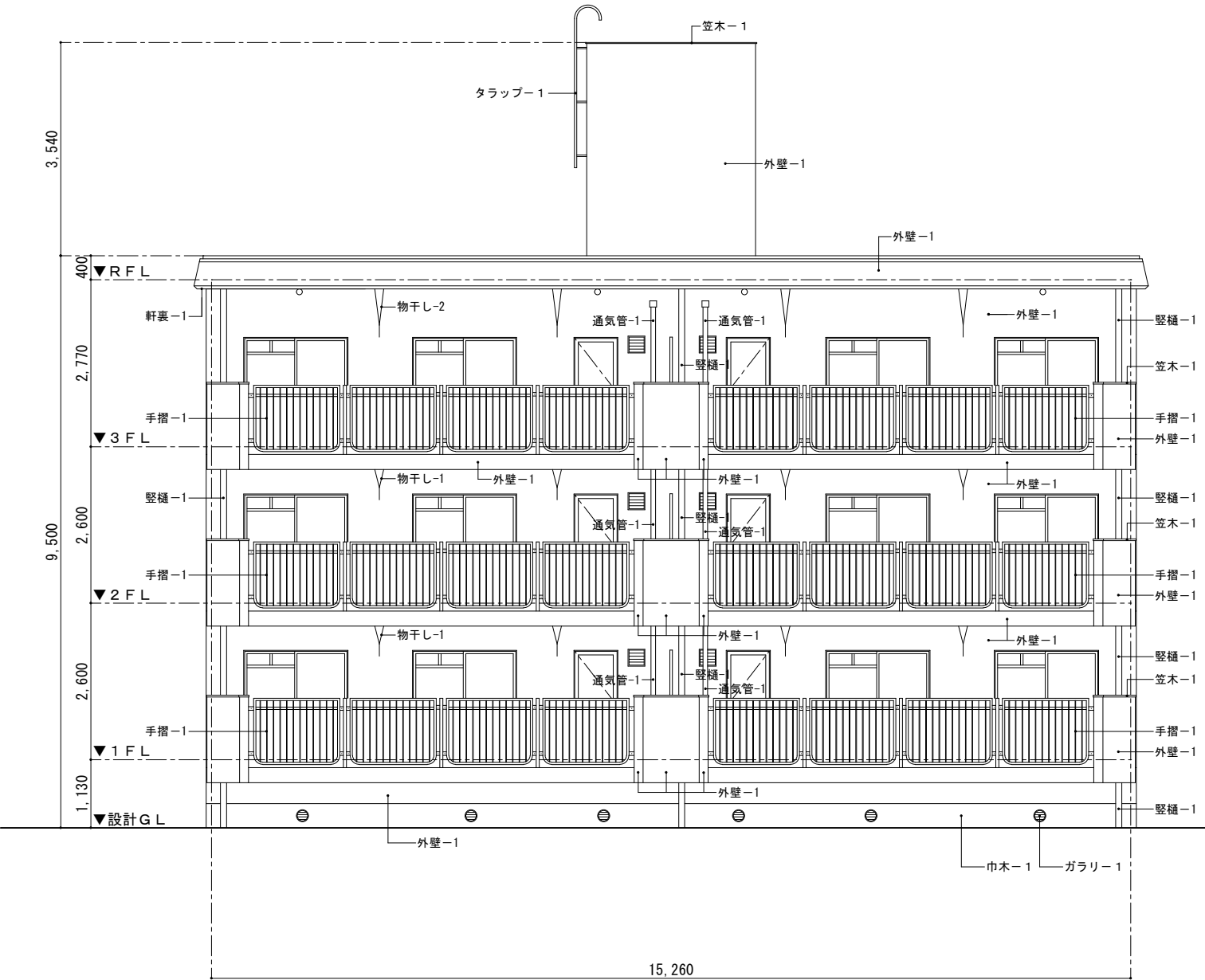


屋根伏図 S=1/100



PH 屋根伏図 S=1/100

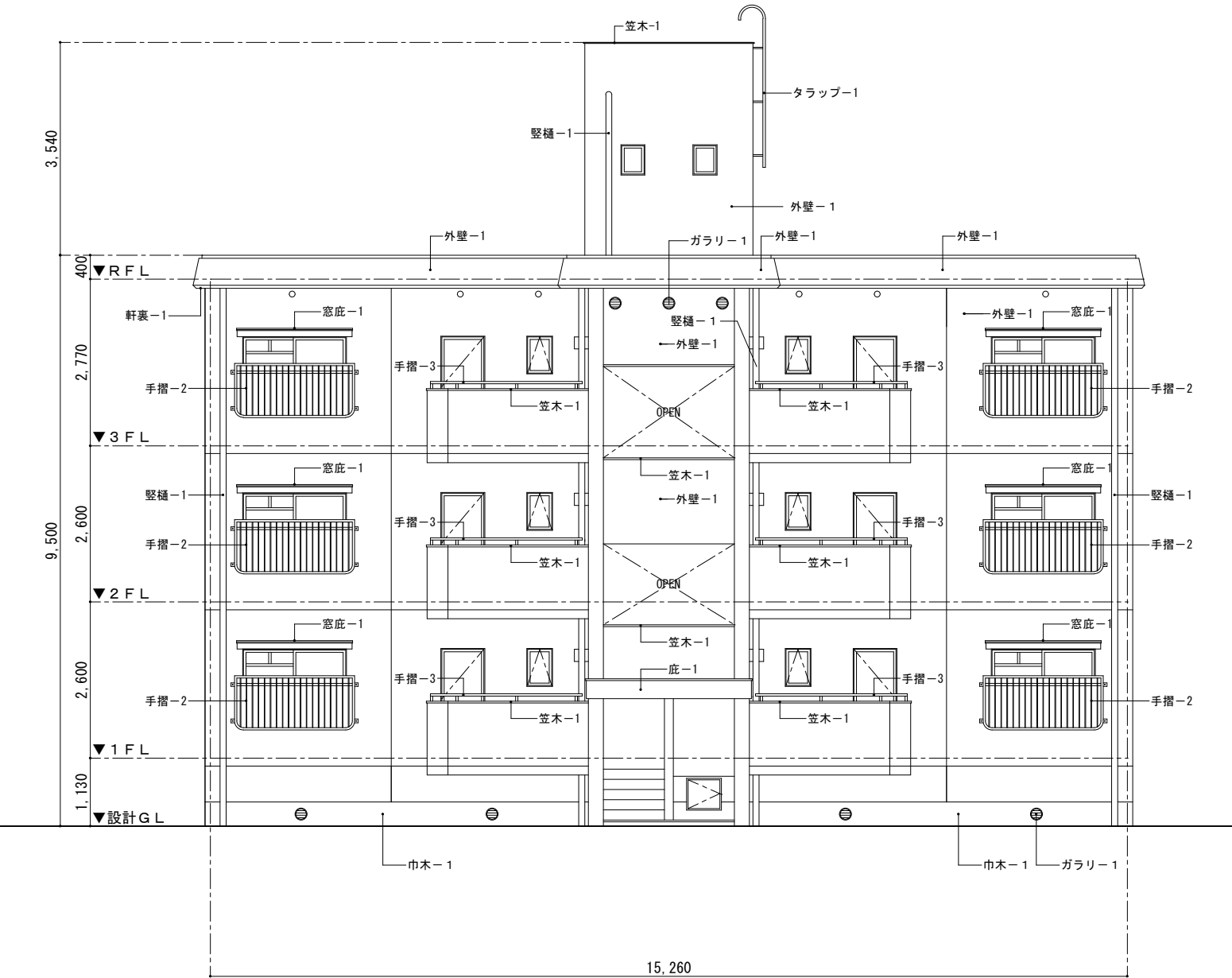
<div><div></div><div>株式会社</div><div>ごとう計画・設計</div></div> <div>1級建築士事務所 福岡県知事登録 第1-61427号 1級建築士登録 第349069号 後藤 友哉</div>			〒807-0851 福岡県北九州市八幡西区永犬丸5-9-6 ぎやらつく永犬丸ビル2F TEL・FAX(093)-287-4657 E-mail:t-goto@g-sekkei.net	製作年月日	工事名称	新町団地1号棟外壁等改修工事	工事種別	改修
担当者			図面内容	SCALE	A1:1:100 A3:1:200	図面No.	A-08	
平面図 屋根伏図								



南側立面図 S=1/50

<特記事項>

- ・水切、建具廻りシーリングは撤去・新設 (MS-2 10×10) すること。

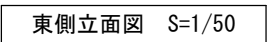


北側立面図 S=1/50

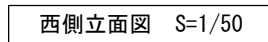
<特記事項>

- ・水切、建具廻りシーリングは撤去・新設 (MS-2 10×10) すること。

	<div><div></div><div>株式会社</div></div> <div>ごとう計画・設計</div> <div>1級建築士事務所 福岡県知事登録 第1-61427号 1級建築士登録 第349069号 後藤 友哉</div>	〒807-0851 福岡県北九州市八幡西区永犬丸5-9-6 ぎやらつく永犬丸ビル2F TEL・FAX (093)-287-4657 E-mail: t-goto@g-sekkei.net	製作年月日	工事名称	工事種別
				新町団地 1号棟外壁等改修工事	改修
			担当者	図面内容	図面No.
				南・北側立面図	A-09
			SCALE		
A1:1/50 A3:1/100					

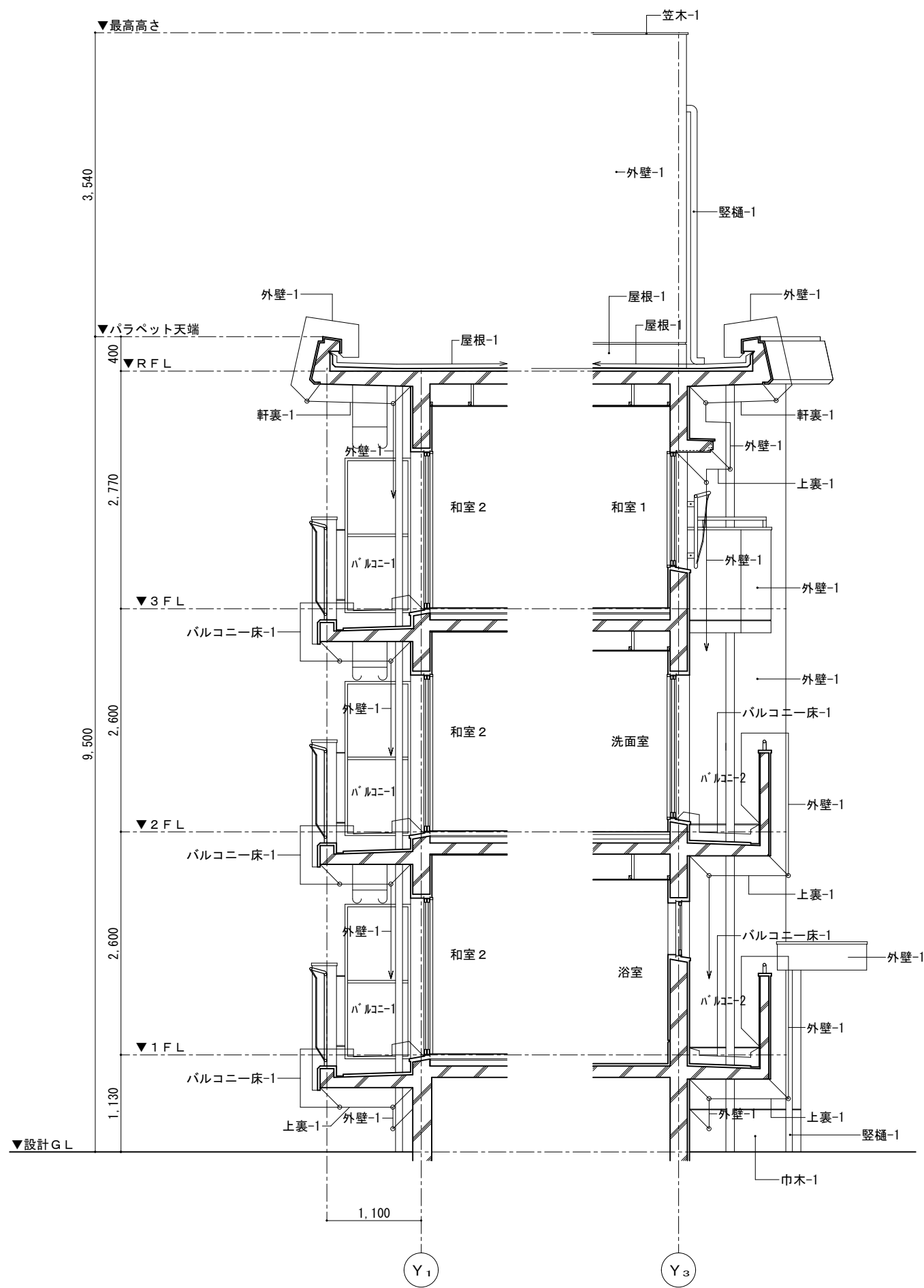


- ・水切、建具廻りシーリングは撤去・新設(MS-2 10×10)すること。

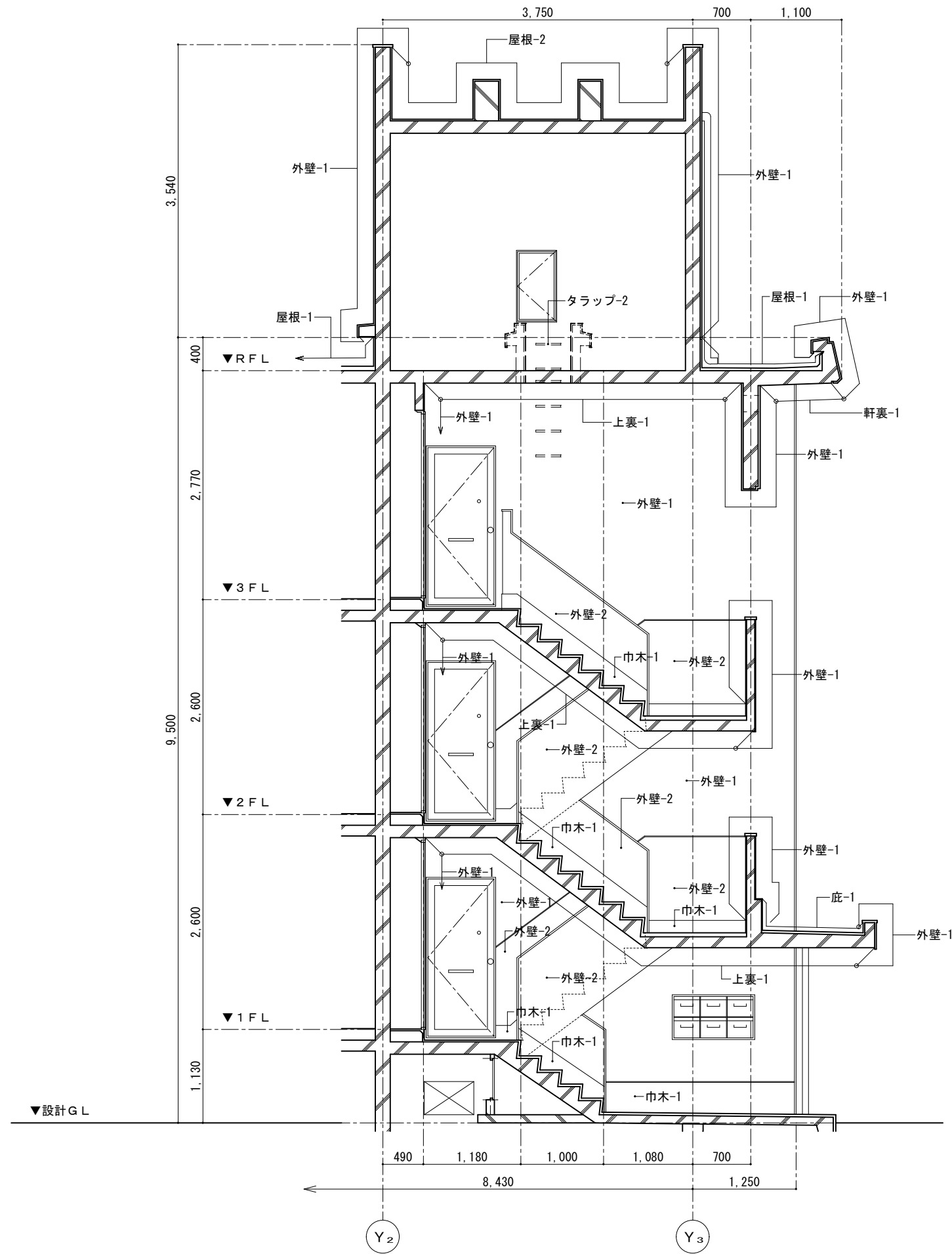


- ・水切、建具廻りシーリングは撤去・新設(MS-2 10×10)すること。

[illegible]



矩計図 S=1/30



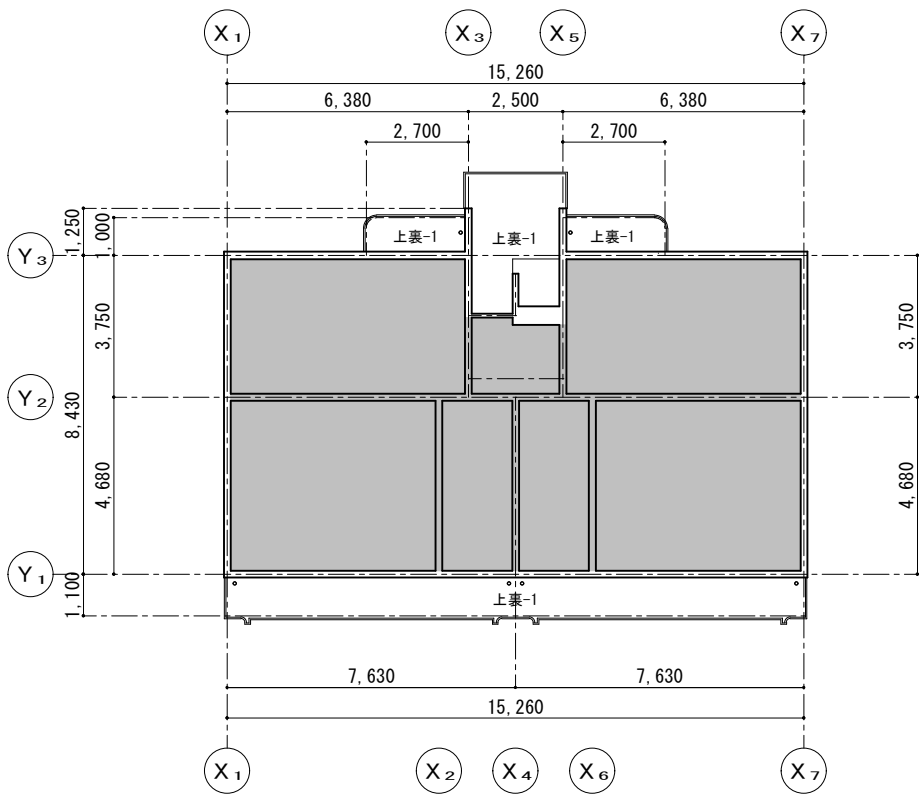
矩計図 S=1/30

			製作年月日		工事名称		工事種別	
			担当者		図面内容		改修	
					矩計図		A-11	
					新町団地 1 号棟外壁等改修工事		図面 No.	
					SCALE		A1:1/30	
							A3:1/60	

株式会社 ごとう計画・設計

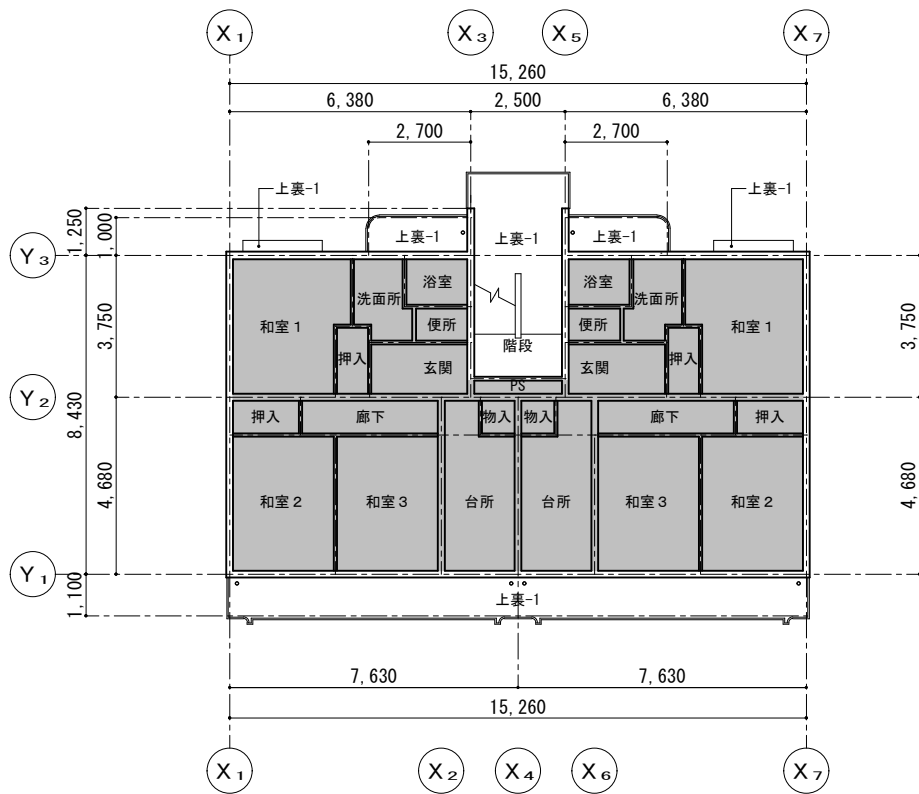
1級建築士事務所 福岡県知事登録 第1-61427号
1級建築士登録 第349069号 後藤 友哉

〒807-0851
福岡県北九州市八幡西区永犬丸5-9-6
ぎやらくく永犬丸ビル2F
TEL・FAX(093)-287-4657
E-mail: t-goto@g-sekkei.net



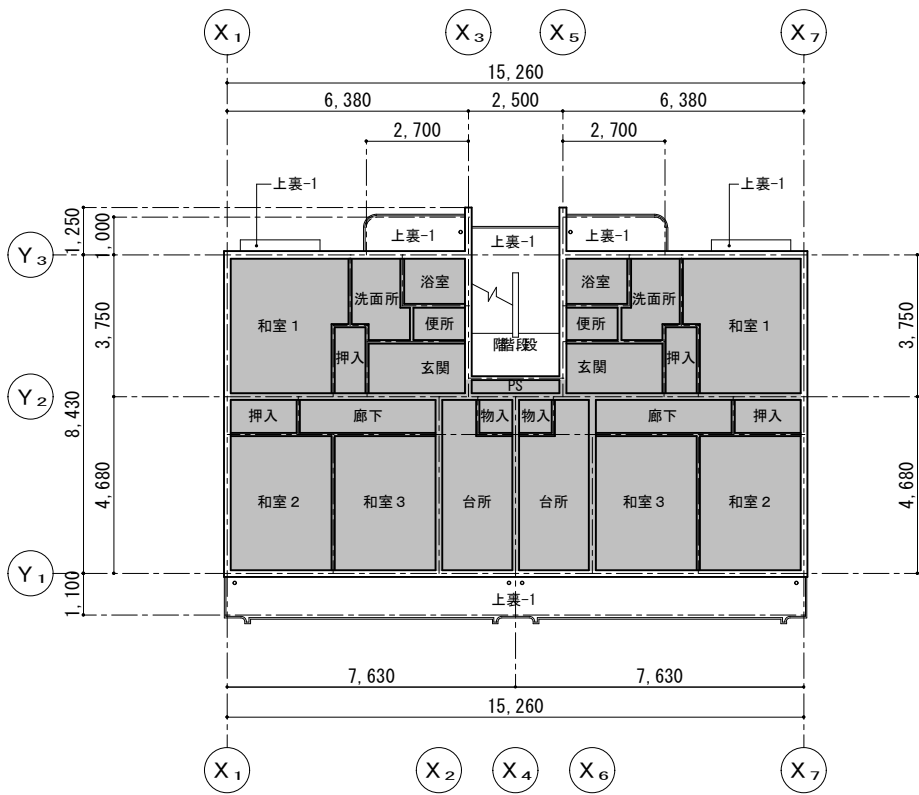
天井伏図(設計GL+800) S=1/100

…改修対象外を示す



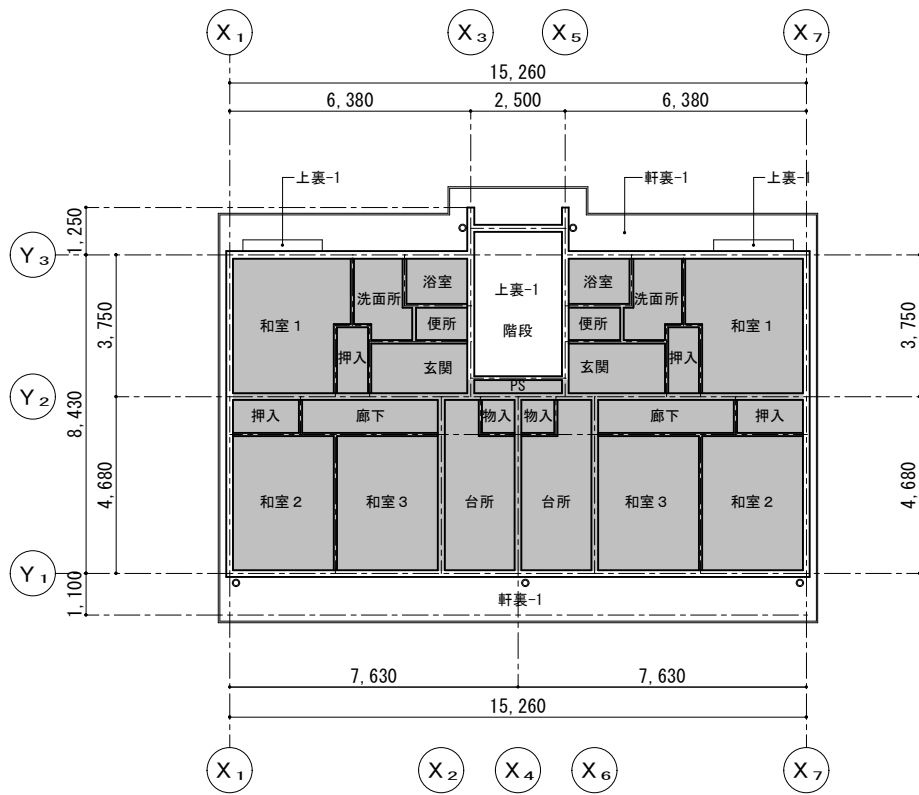
1階天井伏図 S=1/100

…改修対象外を示す



2階天井伏図 S=1/100

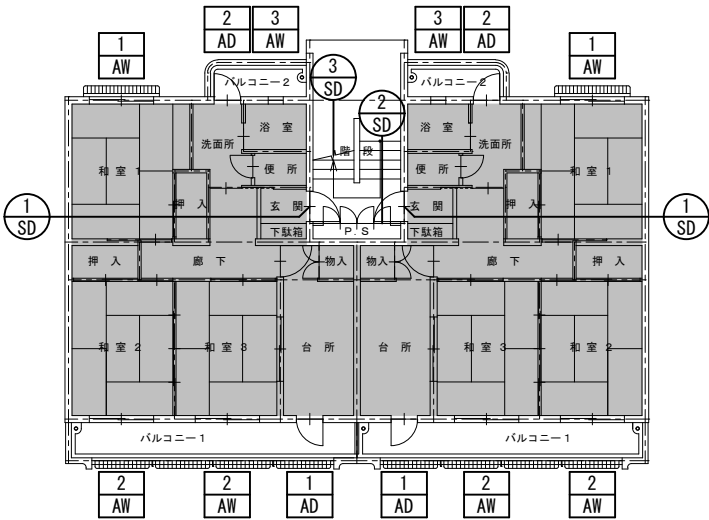
…改修対象外を示す



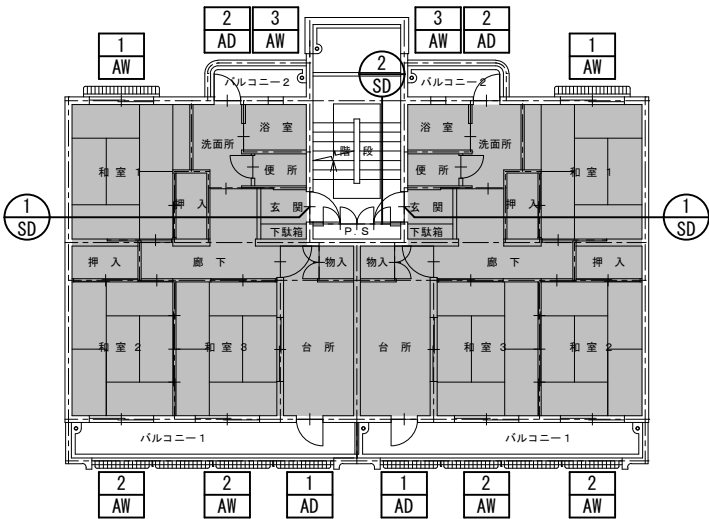
3階天井伏図 S=1/100

…改修対象外を示す

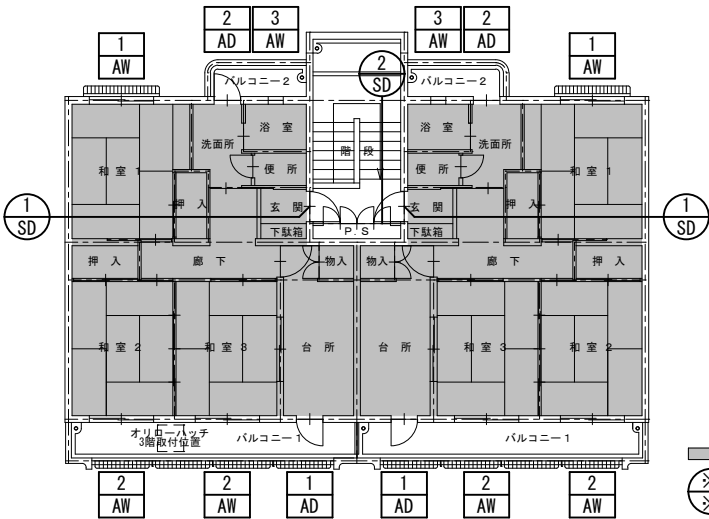
符号・室名・数量	1	既存引違い窓	6	2	既存引違い窓	12	3	既存滑り出し窓	6	4	既存FIX窓	2
	AW	和室1		AW	和室2・3		AW	浴室		AW	屋上	
窓図 ▽ F L												
扉	見込		仕上 アルミ		見込		仕上 アルミ		見込		仕上 アルミ	
枠	見込 60		仕上 アルミ		見込 60		仕上 アルミ		見込 60		仕上 アルミ	
額縁・窓台												
ガラリ・ガラス	FW6.8		FW6.8		FW6.8		FW6.8		FW6.8			
付属金物	網戸、既製金物一式		網戸、既製金物一式		既製金物一式		既製金物一式		既製金物一式			
備考												
符号・室名・数量	1	既存片開き戸	6	2	既存片開き戸	6	3	既存片開き戸	1			
	AD	バルコニー1		AD	バルコニー2		AD	屋上				
窓図 ▽ F L												
扉	見込		仕上 アルミ		見込		仕上 アルミ					
枠	見込 60		仕上 アルミ		見込 60		仕上 アルミ					
額縁・窓台												
ガラリ・ガラス	FW6.8		FW6.8		アルミエンボス板5							
付属金物	既製金物一式		既製金物一式		既製金物一式							
備考												
符号・室名・数量	1	既存片開き戸(再塗装)	6	2	既存両袖固定パネル+両開き戸(再塗装)	3	3	片開き戸(再塗装)	1			
	SD	玄関		SD	PS		SD	階段下点検口				
窓図 ▽ F L												
扉	見込		仕上 再塗装(DP塗り1級)		見込		仕上 再塗装(DP塗り1級)					
枠	見込 80		仕上 再塗装(DP塗り1級)		見込 50		仕上 再塗装(DP塗り1級)		見込 20		仕上 再塗装(DP塗り1級)	
額縁・窓台												
ガラリ・ガラス												
付属金物	既製附属金物一式、牛乳受け箱、郵便受け、防犯メガネ		既製附属金物一式		既製金物一式							
備考	室番号：DP塗り 1級(フッ素樹脂塗料) 塗装は外面のみとする		塗装は外面のみとする		塗装は外面のみとする							



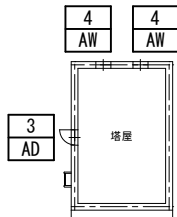
1階建具キープラン S=1/100



2階建具キープラン S=1/100



3階建具キープラン S=1/100



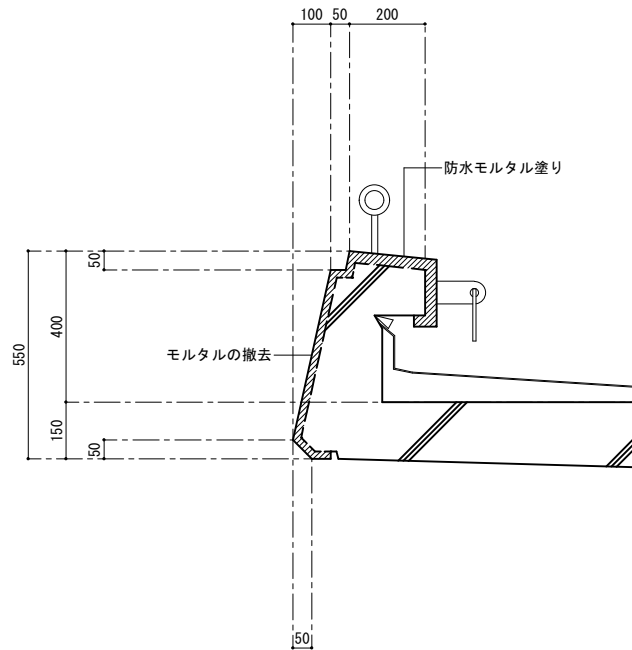
塔屋 S=1/100

- 改修対象外
- ※ --- 改修又は新設の建具を示す
- ※ --- 既存のまま又は撤去する建具を示す

パラペット詳細図

$$S=1/10$$

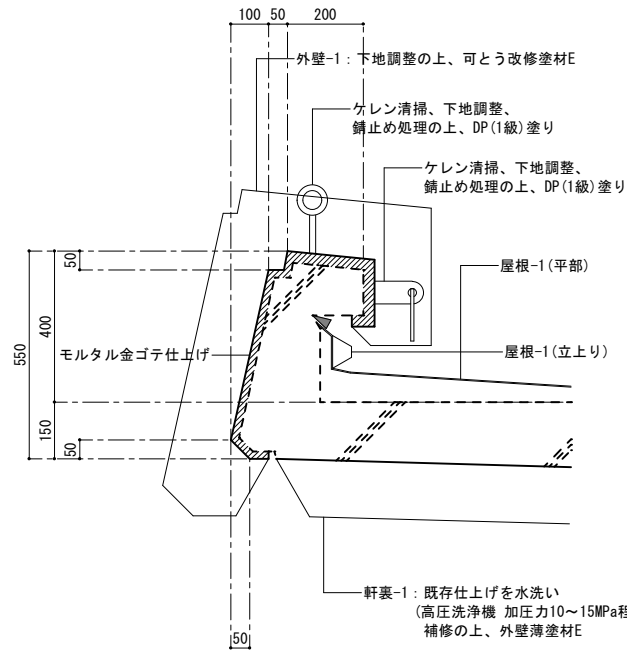
【改修前】



屋根-1：ウレタン露出防水シルバー仕上げ(非歩行用)

▽：防水押えシーリングの撤去

【改修後】



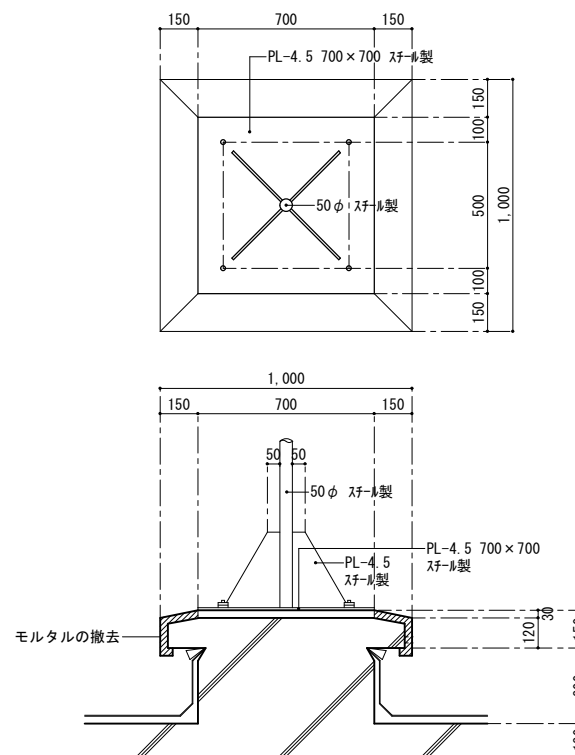
屋根-1：既存仕上けを水洗い(高压洗浄機、加圧力10～15MPa程度)、
下地調整(樹脂ペースト)の上、ウレタンゴム系塗膜防水 X-1(絶縁工法)
※立上りは、ウレタンゴム系塗膜防水 X-2(密着工法)

▼ : 防水押えシーリング : MS-2 10×10

TVアンテナ基礎詳細図

 $\beta = 1/15$

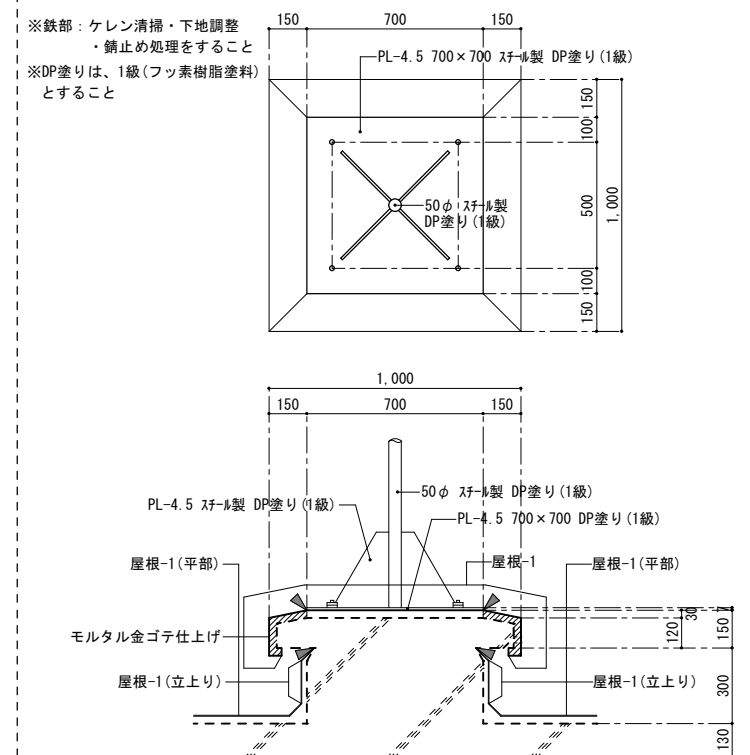
【改修前】



屋根-1：ウレタン露出防水シルバー仕上げ(非歩行用)

▽：防水押えシーリングの撤去

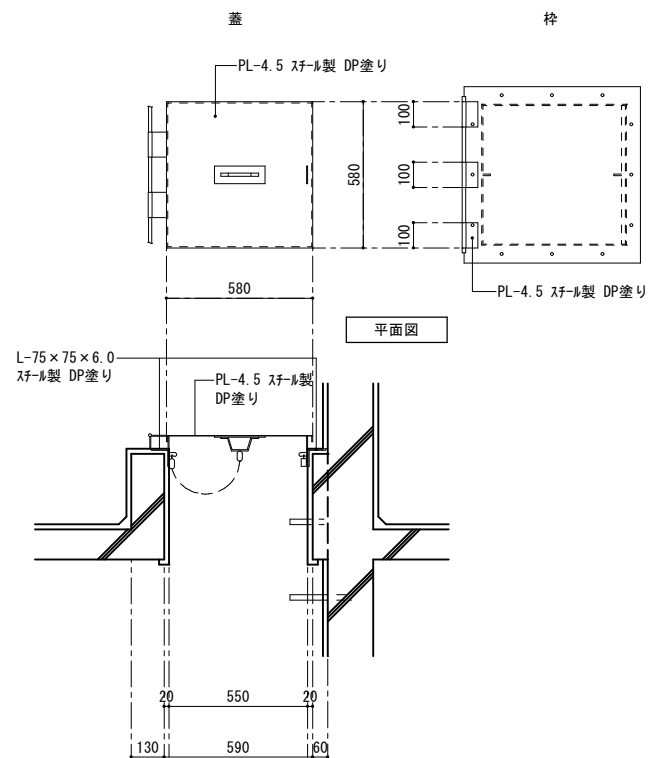
【改修後】



屋根-1：既存仕上けを水洗い(高压洗浄機、加圧力10～15MPa程度)、
下地調整(樹脂ペースト)の上、ウレタンゴム系塗膜防水 X-1(絶縁工法)
※立上りは、ウレタンゴム系塗膜防水 X-2(密着工法)

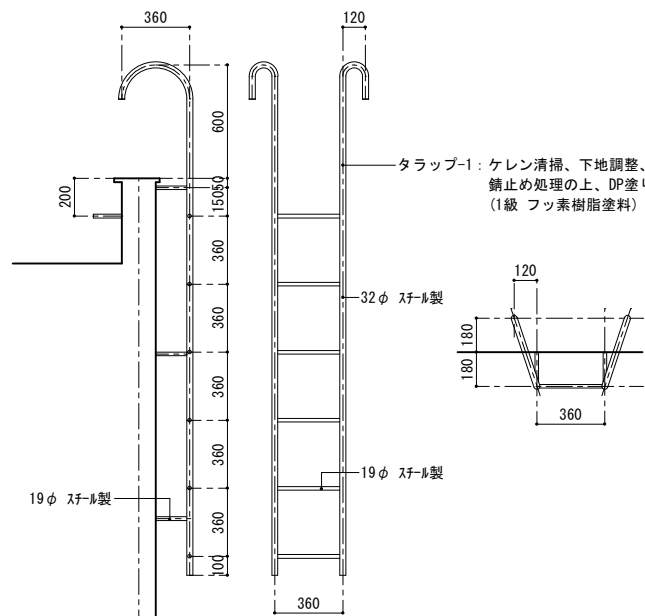
▽：防水押えシーリング：MS-2 10×10（※鉄部との取合いは、防水処理すること）

点検口詳細図

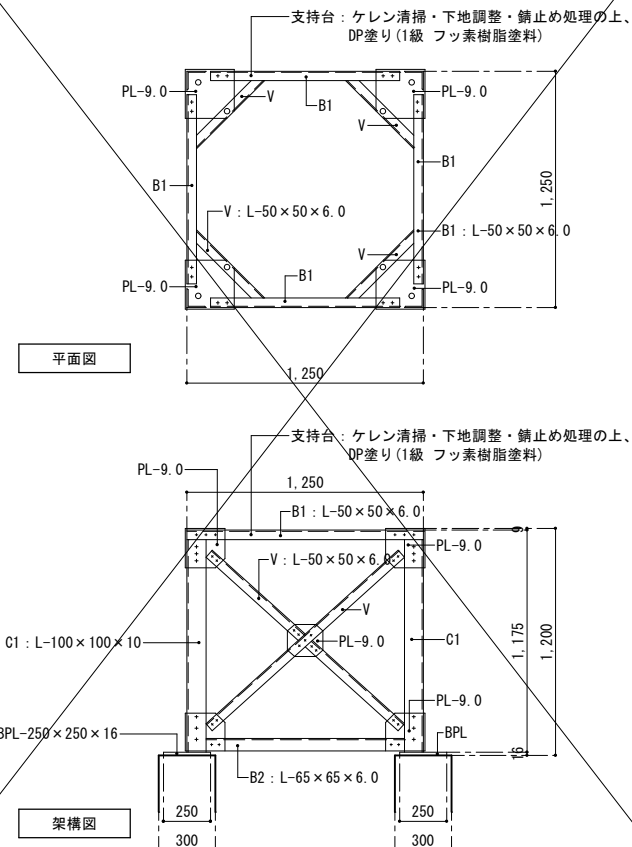
$$S=1/15$$


※点検口の鉄部：ケレン清掃・下地調整・錆止め処理の上、DP塗り(1級 フッ素樹脂塗料)

タラップー 1 詳細図

$$S=1/20$$


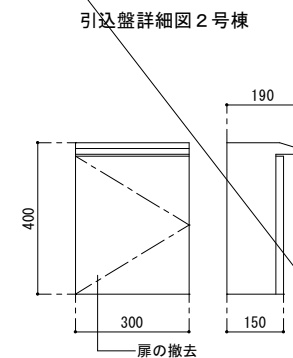
支持台詳細図

$$S=1/20$$


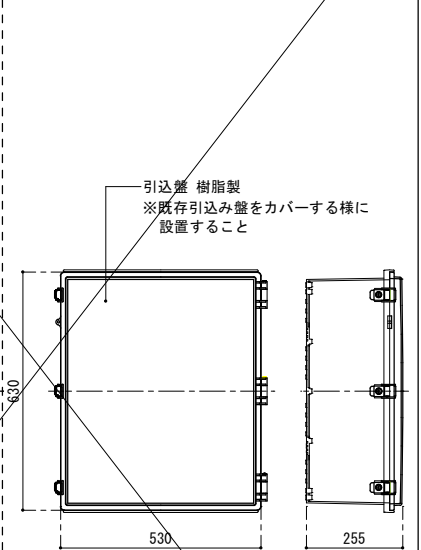
引込盤詳細図

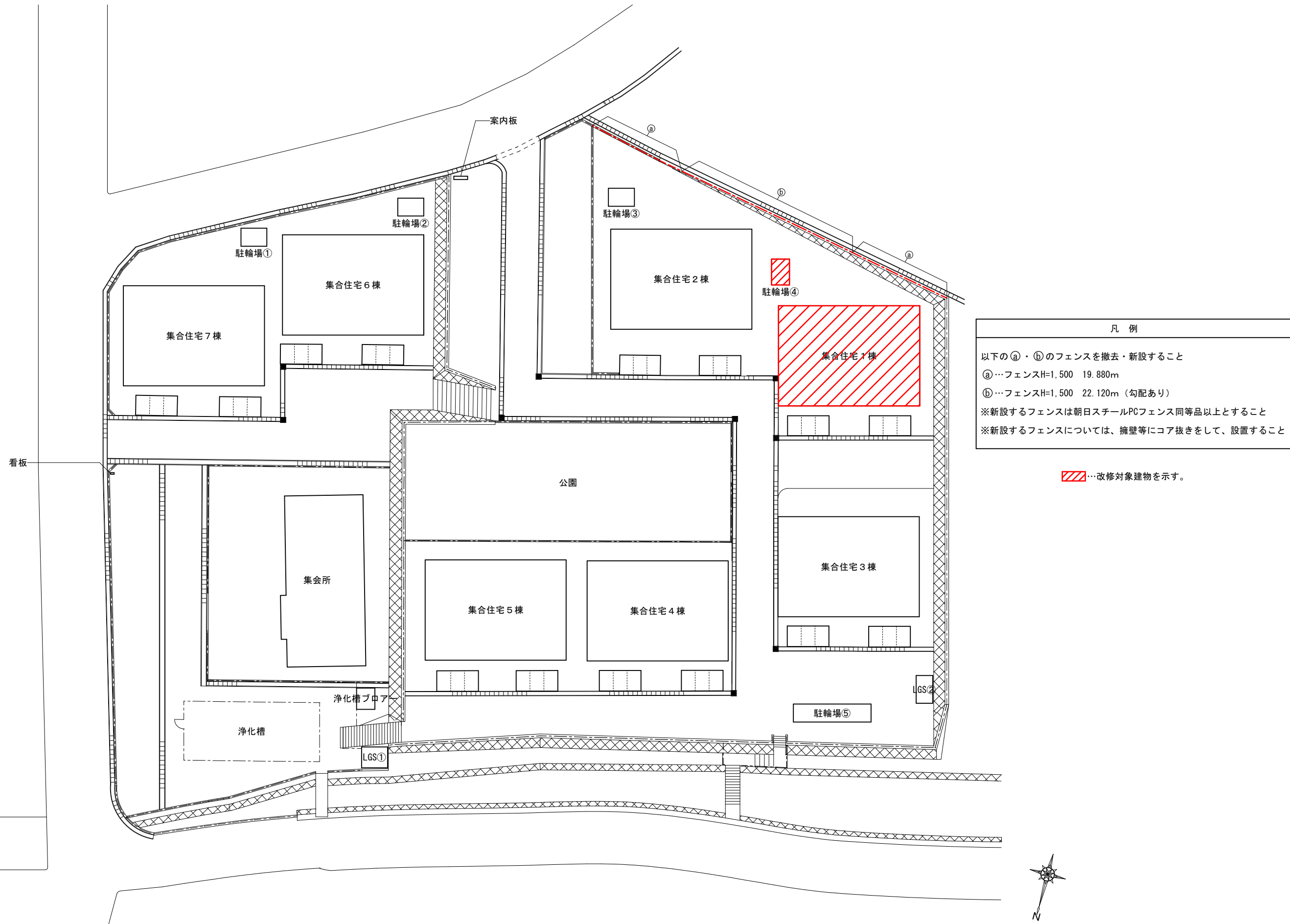
 ~~$\epsilon = 1/10$~~

【改修前】



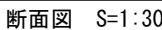
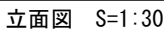
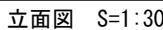
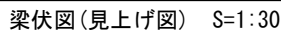
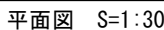
【改修後】





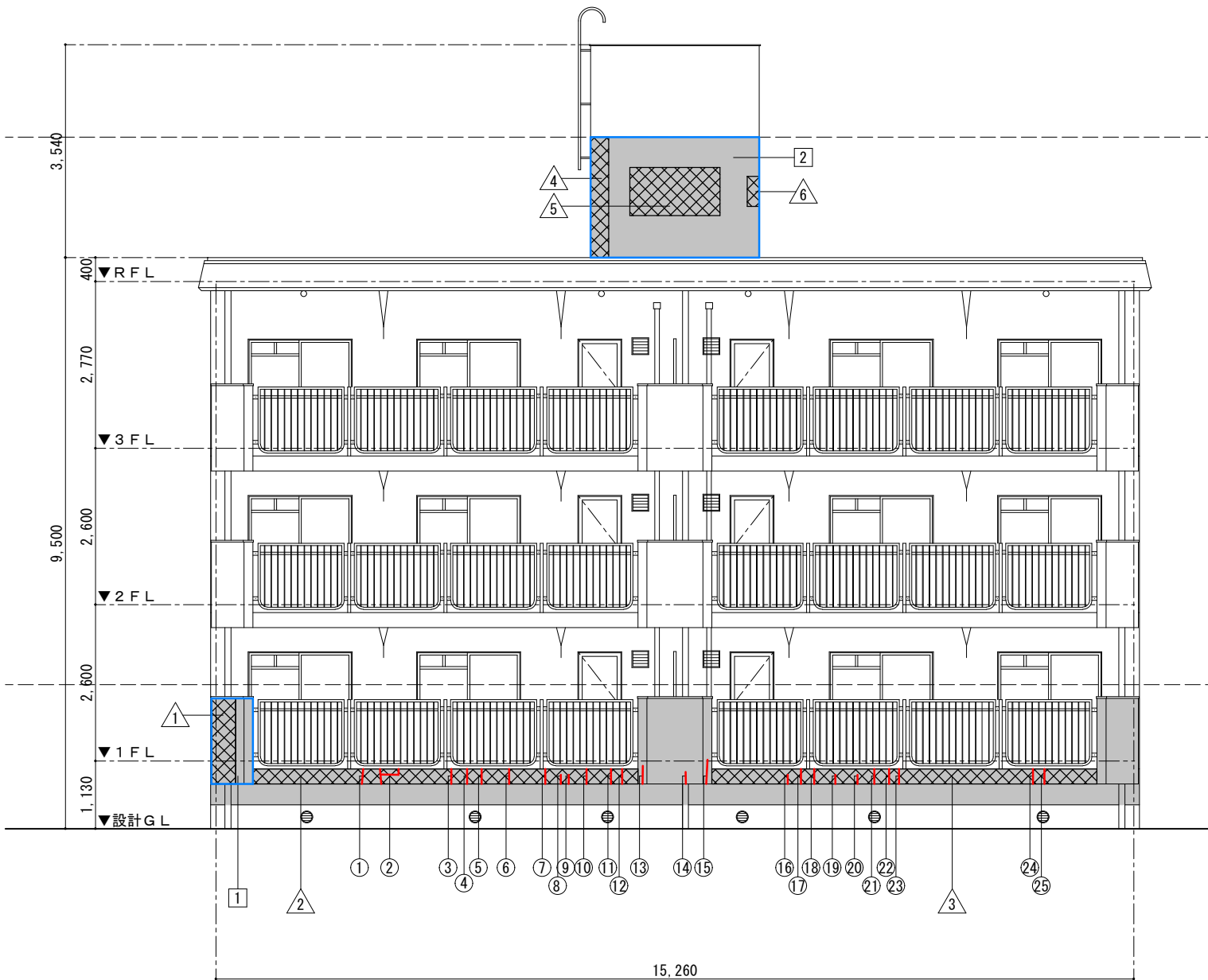
困障図 S=1/200

<div><div></div><div>株式会社</div><div>ごとう計画・設計</div></div> <div>1級建築士事務所 福岡県知事登録 第1-61427号 1級建築士登録 第349069号 後藤 友哉</div>			〒807-0851 福岡県北九州市八幡西区永大丸5-9-6 ぎやらつく永大丸ビル2F TEL・FAX(093)-287-4657 E-mail:t-goto@g-sekkei.net	製作年月日 担当者	工事名称 新町団地1号棟外壁等改修工事 図面内容 困障図	SCALE A1:1:200 A3:1:400	工事種別 改修 図面No. A-15
---	--	--	---	------------------	---	-------------------------------	---------------------------------

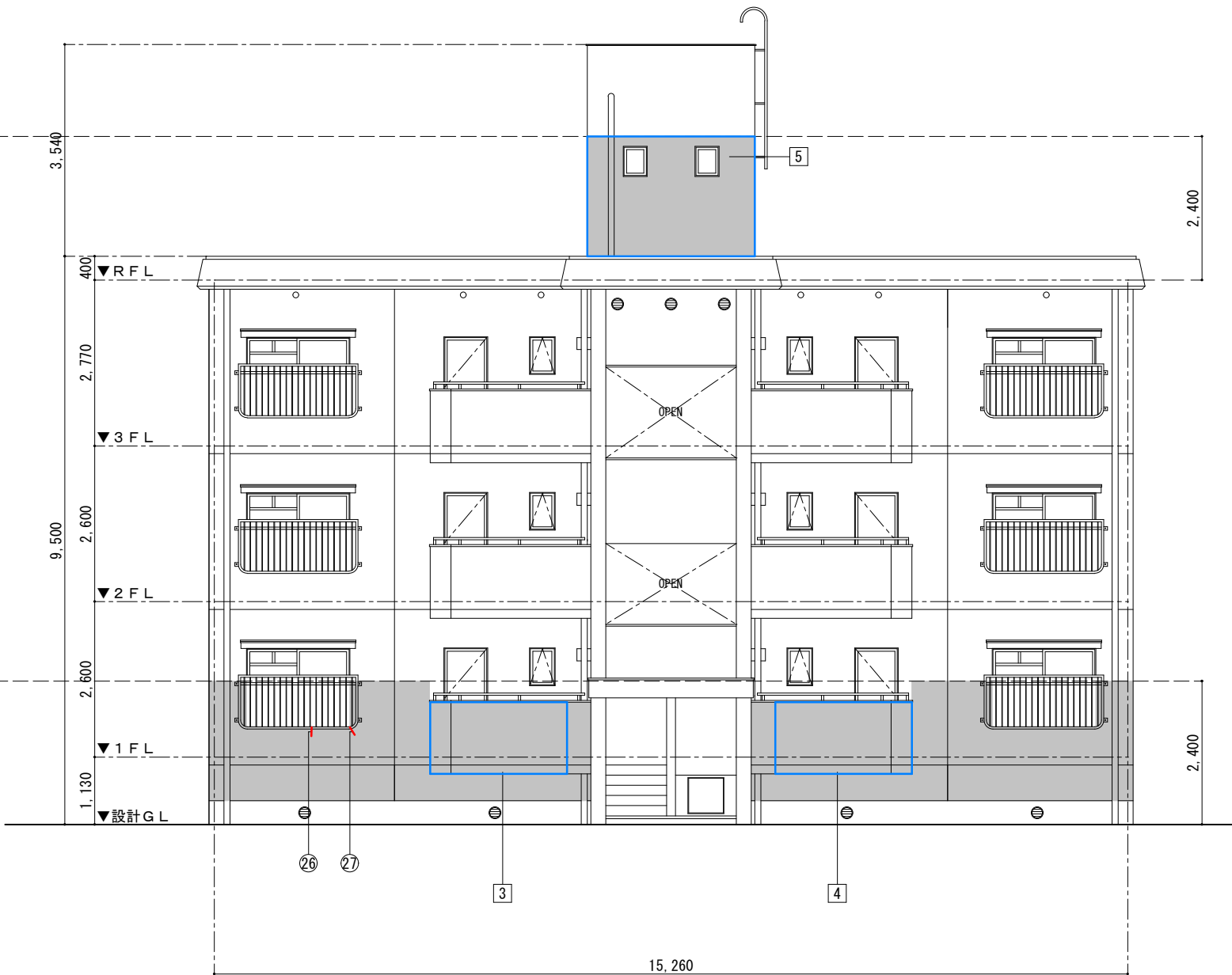


- ・原則、鉄部はケレン清掃・錆止め処理をすること。
- ・DP塗りは、1級(フッ素樹脂塗料)を使用すること。

[illegible]

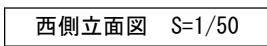
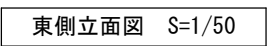


南側立面図 S=1/50

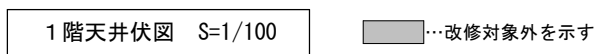
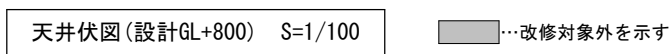
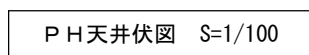
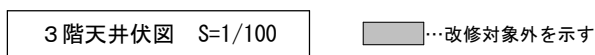
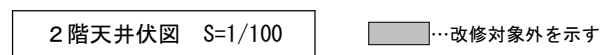


北側立面図 S=1/50

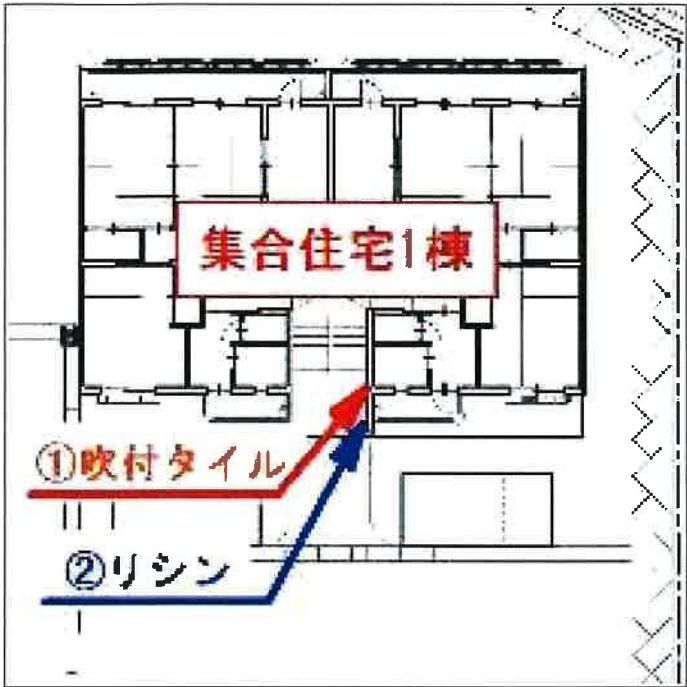
凡 例	数 量 表							
① …外壁クラックを示す	① 0.25m	⑬ 0.30m	⑮ 0.25m	① 0.57㎡	① 0.98㎡			
① …外壁モルタルの浮きを示す	② 0.65m	⑭ 0.20m	⑯ 0.15m	② 1.60㎡	② 5.60㎡			
① …外壁クラック (亀の甲状) を示す	③ 0.25m	⑮ 0.40m	⑰ 0.15m	③ 1.60㎡	③ 2.74㎡			
① …爆裂を示す	④ 0.25m	⑯ 0.15m		④ 0.60㎡	④ 2.74㎡			
① …欠損を示す	⑤ 0.25m	⑰ 0.25m		⑤ 1.20㎡	⑤ 5.20㎡			
■ 調査範囲を示す (44.13㎡)	⑥ 0.25m	⑱ 0.25m						
	⑦ 0.25m	⑲ 0.15m						
	⑧ 0.15m	⑳ 0.15m						
	⑨ 0.15m	㉑ 0.25m						
	⑩ 0.25m	㉒ 0.25m						
	⑪ 0.25m	㉓ 0.25m						
	⑫ 0.25m	㉔ 0.25m						



 経 ごと う 計 画 ・ 設 計		〒807-0851 福岡県北九州市八幡西区永犬丸5-9-6 ぎやらつく永犬丸ビル2F TEL・FAX(093)-287-4657 E-mail:t-goto@g-sekkei.net	製作年月日 担当者	工事名称 新町団地1号棟外壁等改修工事 図面内容 東・西側立面図 外壁調査図	工事種別 改修 図面No. A-18
1級建築士事務所 福岡県知事登録 第1-61427号 1級建築士登録 第349069号 後藤 友哉		SCALE A1:1/50 A3:1/100			

[illegible]

調査数量 全体集計	
全体調査	44. 13+55. 62=99. 75㎡
外壁クラックの実数量	6. 60m
外壁モルタルの浮きの実数量	14. 07㎡
外壁クラック(亀の甲状)の実数量	71. 40㎡
爆裂の実数量 ※目視による全数調査	0. 28㎡
欠損の実数量 ※目視による全数調査	－
外壁クラックの数量(想定)	6. 60m/99. 75㎡×785㎡(外壁面積)×1. 3(補正)＝ 67. 52m
外壁モルタルの浮きの数量(想定)	14. 07㎡/99. 75㎡×785㎡(外壁面積)×1. 3(補正)＝143. 94㎡
外壁クラック(亀の甲状)の数量(想定)	71. 40㎡/99. 75㎡×785㎡(外壁面積)×1. 3(補正)＝730. 46㎡



試験成績書

№ A01660-A1-001
発行日 2023年7月7日

事業名: アルフレッド株式会社
住所: 〒432-8003 静岡県浜松市中区堀山3-1-7
試験インベンスメント: 7307
試験責任者: 三井 伸郎
購買顧問: (公社)日本付着物調査協会
合格認定: 石綿分析事業 2208-0007

試験受付: 2023年7月6日
試験期間: 2023年7月6日 ~ 2023年7月7日
採取区分: 持ち込み
試料採取者: 三宅 智大

件名: 新町団地外壁等改修工事実施設計業務

ご依頼を受けました検査の結果を下記の通り報告致します。			
試料名称	1号機 ① 吹付タイル+下地材		
採取場所	外壁		
採取年月日	2023年7月6日		
試験方法	定性分析 JIS A 1481-1:2016		
試験結果			
定性分析			検出の有無
アスベスト推定含有率			
層	割合	外観色	
1	10 %	乳白色	
2	70 %	白色	
3	20 %	ライトグレー色	
4	-	-	
5	-	-	
偏光顕微鏡写真			
アスベストの種類		写真1	写真2
不検出			
(備考) -			
・外観色等異なるいくつかの箇所が混入している場合は、最も多い割合を占める建材について分析しています。 ・外観色、厚割合は目視にて判断しております。			

・外観色が異なるいくつかの箇所が混入している場合は、最も多い割合を占める箇所について分析しています。
・外観色、層別化は目視にて判断しております。

試験成績書

№ A01660-A1-002
発行日 2023年7月7日

事業名: アルフレッド株式会社
住所: 〒432-8003 静岡県浜松市中区堀山3-1-7
試験インベンスメント: 7307
試験責任者: 三井 伸郎
購買顧問: (公社)日本付着物調査協会
合格認定: 石綿分析事業 2208-0007

試験受付: 2023年7月6日
試験期間: 2023年7月6日 ~ 2023年7月7日
採取区分: 持ち込み
試料採取者: 三宅 智大

件名: 新町団地外壁等改修工事実施設計業務

ご依頼を受けました検査の結果を下記の通り報告致します。				
試験名称		1号機 ② リシン+下地材		
採取場所		外壁		
採取年月日		2023年7月6日		
試験方法		定性分析 JIS A 1481-1:2016		
試験結果				
定性分析				検出の有無
アスベスト推定含有率				
層	割合	外観色		
1	10 %	乳白色	-	
2	70 %	乳白色	-	
3	20 %	ライトグレー色	-	
4	-	-	-	
5	-	-	-	
偏光顕微鏡写真				
アスベストの種類		写真1	写真2	
不検出				
(備考) -				
・外観色等異なるいくつかの箇所が混入している場合は、割合多い割合を占める箇所について分析しています。				
・外観色、層割合は目視にて判断しております。				

・外観色が異なるいくつかの箇所が混入している場合は、最も多い割合を占める箇所について分析しています。
・外観色、層別化は目視にて判断しております。

新町団地 2 号棟外壁等改修工事

図面番号	図面名称	縮尺	
		A 1 サイズ	A 3 サイズ
B- 0 0	表紙・図面リスト	—	—
B- 0 1	改修工事特記仕様書(1) 1号棟共通	—	—
B- 0 2	改修工事特記仕様書(2) 1号棟共通	—	—
B- 0 3	改修工事特記仕様書(3) 1号棟共通	—	—
B- 0 4	改修工事特記仕様書(4) 1号棟共通	—	—
B- 0 5	外壁改修標準仕様書	—	—
B- 0 6	付近見取図 配置図兼仮設図 工事概要	1/300	1/600
B- 0 7	仕上表	—	—
B- 0 8	平面図 屋根伏図	1/100	1/200
B- 0 9	南・北立面図	1/50	1/100
B- 1 0	東・西立面図	1/50	1/100
B- 1 1	矩計図	1/30	1/60
B- 1 2	天井伏図	1/100	1/200
B- 1 3	建具キープラン 建具表	1/50, 100	1/100, 200
B- 1 4	雑詳細図	1/10, 15, 20	1/20, 30, 40
B- 1 5	団障図	1/200	1/400
B- 1 6	その他外構 各図	1/30	1/60
B- 1 7	南・北立面図 外壁調査図	1/50	1/100
B- 1 8	東・西立面図 外壁調査図	1/50	1/100
B- 1 9	天井伏図 外壁調査図	1/100	1/200
B- 2 0	アスベスト調査図	—	—

○モルタル塗り仕上げ

<4.5.7~>

工 法	材 料	ひび割れの幅 (mm)	延べ長さ (m)
※ シール工法	※ バテ状エポキシ樹脂	0.2未満	
※ 樹脂注入工法	※ 硬質型エポキシ樹脂 ※ 軟質型エポキシ樹脂	0.2~0.3未満 0.3~0.5未満 0.5~1.0未満	
◎ ③カットシール 材完成工法	※ 可とう性エポキシ樹脂	0.2~0.3未満 0.3~0.5未満 0.5~1.0未満	53.50
	・ シーリング材PU-2 ・ 可とう性エポキシ樹脂	1.0~1.5未満 1.5~2.0未満	
		～	未満

・ タイル張り仕上げ

<4.5.8~><4.5.16>

工 法	材 料	ひび割れの幅 (mm)	延べ長さ (m)
※ シール工法	※ バテ状エポキシ樹脂	0.2未満	
※ 樹脂注入工法	※ 硬質型エポキシ樹脂 ※ 軟質型エポキシ樹脂	0.2~0.3未満 0.3~0.5未満 0.5~1.0未満	
※ タイル貼付 除去後	※ 可とう性エポキシ樹脂	0.2~0.3未満 0.3~0.5未満 0.5~1.0未満	
・ ひかっつシール 材完成工法	・ シーリング材PU-2	1.0~1.5未満	
・ 樹脂注入工法の上タイル 張替え工法	・ ポリマーセメント モルタル	1.5~2.0未満	
・ タイル部分 張替工法	・ エポキシ樹脂		
・ 目地ひび割れ 改修工法	※ 既製鋼合目地材		
・ 樹脂注入工法			
ひび割れの幅 (mm)	0.2~0.3未満	0.3~0.5未満	0.5~1.0以下
注入孔の間隔 (mm)	200程度	300程度	300程度
注 入 量 (cc/m ²)			

コアの抜取り検査 ・ 行う ※ 行わない <4.3.4(f)>

・ コンクリート打放し仕上げ <4.3.7>

工 法	材 料	平均深さ (mm)	延べ面積 (m ²)
※ 充てん工法	エポキシ樹脂モルタル	20~30未満 30~40未満	
	ポリマーセメント	5~10未満	
	モルタル	10~15未満	
	モルタル	15~20未満	

○モルタル塗り仕上げ

<4.4.8~9>

工 法	材 料	平均深さ (mm)	延べ面積 (m ²)
◎ 充てん工法	エポキシ樹脂モルタル	20~30未満 30~40未満	
	ポリマーセメント	5~10未満	
	モルタル	10~15未満	
	モルタル	15~20未満	
・ モルタル 塗替工法	<表4.4.1>による	20程度	
	ポリマーセメント モルタル		

・ タイル張り仕上げ

<4.5.7~8>

工 法	材 料	平均深さ (mm)	延べ面積 (m ²)
※ タイル部分 張替工法	エポキシ樹脂モルタル	20~30未満 30~40未満	
	ポリマーセメント	5~10未満	
	モルタル	10~15未満	
	モルタル	15~20未満	

・ タイル 張替工法

○モルタル塗り仕上げ

<4.4.4><4.4.8~15>

工 法	1箇所 の面積 (m ²)	浮き丈 (mm)	アンカーピン (本/m ²)	注入口 (箇所/m ²)	延べ面積 (m ²)
・アンカーピンニング部分 エポキシ樹脂注入工法	0.25 未満		一般部 ※16	一般部 ※25	一般部 指定部 ※12
・アンカーピンニング全面 エポキシ樹脂注入工法	0.25 以上	1.0 以下	※13	※20	※12
・アンカーピンニング全面 ポリマーセメント スラリー注入工法	0.25 以上	1.0を 超える	※13	※20	※12
・注入口付アンカーピン ニング部分エポキシ 樹脂注入工法	0.25 未満		※9	※16	※9
・注入口付アンカーピン ニング全面ポリマー セメントスラリー 注入工法	0.25 以上	1.0を 超える	※9	※16	※9

・ 充てん工法

○モルタル塗替工法

<4.4.8~9>

工 法	材 料	平均深さ (mm)	延べ面積 (m ²)
※ シール工法	※ バテ状エポキシ樹脂	0.2未満	
※ 樹脂注入工法	※ 硬質型エポキシ樹脂 ※ 軟質型エポキシ樹脂	0.2~0.3未満 0.3~0.5未満 0.5~1.0未満	
※ タイル貼付 除去後	※ 可とう性エポキシ樹脂	0.2~0.3未満 0.3~0.5未満 0.5~1.0未満	
・ ひかっつシール 材完成工法	・ シーリング材PU-2	1.0~1.5未満	
・ 樹脂注入工法の上タイル 張替え工法	・ ポリマーセメント モルタル	1.5~2.0未満	
・ タイル部分 張替工法	・ エポキシ樹脂		
・ 目地ひび割れ 改修工法	※ 既製鋼合目地材		
・ 樹脂注入工法			
ひび割れの幅 (mm)	0.2~0.3未満	0.3~0.5未満	0.5~1.0以下
注入孔の間隔 (mm)	200程度	300程度	300程度
注 入 量 (cc/m ²)			

コアの抜取り検査 ・ 行う ※ 行わない <4.3.4(f)>

・ コンクリート打放し仕上げ <4.3.7>

工 法	材 料	平均深さ (mm)	延べ面積 (m ²)
※ 充てん工法	エポキシ樹脂モルタル	20~30未満 30~40未満	
	ポリマーセメント	5~10未満	
	モルタル	10~15未満	
	モルタル	15~20未満	

○モルタル塗り仕上げ

<4.4.8~9>

工 法	材 料	平均深さ (mm)	延べ面積 (m ²)
◎ 充てん工法	エポキシ樹脂モルタル	20~30未満 30~40未満	
	ポリマーセメント	5~10未満	
	モルタル	10~15未満	
	モルタル	15~20未満	
・ モルタル 塗替工法	<表4.4.1>による	20程度	
	ポリマーセメント モルタル		

・ タイル張り仕上げ

<4.5.7~8>

工 法	材 料	平均深さ (mm)	延べ面積 (m ²)
※ タイル部分 張替工法	エポキシ樹脂モルタル	20~30未満 30~40未満	
	ポリマーセメント	5~10未満	
	モルタル	10~15未満	
	モルタル	15~20未満	

・ タイル 張替工法

○モルタル塗り仕上げ

<4.4.4><4.4.8~15>

工 法	1箇所 の面積 (m ²)	浮き丈 (mm)	アンカーピン (本/m ²)	注入口 (箇所/m ²)	延べ面積 (m ²)
・アンカーピンニング部分 エポキシ樹脂注入工法	0.25 未満		一般部 ※16	一般部 ※25	一般部 指定部 ※12
・アンカーピンニング全面 エポキシ樹脂注入工法	0.25 以上	1.0 以下	※13	※20	※12
・アンカーピンニング全面 ポリマーセメント スラリー注入工法	0.25 以上	1.0を 超える	※13	※20	※12
・注入口付アンカーピン ニング部分エポキシ 樹脂注入工法	0.25 未満		※9	※16	※9
・注入口付アンカーピン ニング全面ポリマー セメントスラリー 注入工法	0.25 以上	1.0を 超える	※9	※16	※9

・ 充てん工法

○モルタル塗替工法

<4.4.8~9>

工 法	材 料	平均深さ (mm)	延べ面積 (m ²)
※ シール工法	※ バテ状エポキシ樹脂	0.2未満	
※ 樹脂注入工法	※ 硬質型エポキシ樹脂 ※ 軟質型エポキシ樹脂	0.2~0.3未満 0.3~0.5未満 0.5~1.0未満	
※ タイル貼付 除去後	※ 可とう性エポキシ樹脂	0.2~0.3未満 0.3~0.5未満 0.5~1.0未満	
・ ひかっつシール 材完成工法	・ シーリング材PU-2	1.0~1.5未満	
・ 樹脂注入工法の上タイル 張替え工法	・ ポリマーセメント モルタル	1.5~2.0未満	
・ タイル部分 張替工法	・ エポキシ樹脂		
・ 目地ひび割れ 改修工法	※ 既製鋼合目地材		
・ 樹脂注入工法			
ひび割れの幅 (mm)	0.2~0.3未満	0.3~0.5未満	0.5~1.0以下
注入孔の間隔 (mm)	200程度	300程度	300程度
注 入 量 (cc/m ²)			

コアの抜取り検査 ・ 行う ※ 行わない <4.3.4(f)>

・ コンクリート打放し仕上げ <4.3.7>

工 法	材 料	平均深さ (mm)	延べ面積 (m ²)
※ 充てん工法	エポキシ樹脂モルタル	20~30未満 30~40未満	
	ポリマーセメント	5~10未満	
	モルタル	10~15未満	
	モルタル	15~20未満	

○モルタル塗り仕上げ

<4.4.8~9>

工 法	材 料	平均深さ (mm)	延べ面積 (m ²)
◎ 充てん工法	エポキシ樹脂モルタル	20~30未満 30~40未満	
	ポリマーセメント	5~10未満	
	モルタル	10~15未満	
	モルタル	15~20未満	
・ モルタル 塗替工法	<表4.4.1>による	20程度	
	ポリマーセメント モルタル		

・ タイル張り仕上げ

<4.5.7~8>

工 法	材 料	平均深さ (mm)	延べ面積 (m ²)
※ タイル部分 張替工法	エポキシ樹脂モルタル	20~30未満 30~40未満	
	ポリマーセメント	5~10未満	
	モルタル	10~15未満	
	モルタル	15~20未満	

・ タイル 張替工法

○モルタル塗り仕上げ

<4.4.4><4.4.8~15>

工 法	1箇所 の面積 (m ²)	浮き丈 (mm)	アンカーピン (本/m ²)	注入口 (箇所/m ²)	延べ面積 (m ²)
・アンカーピンニング部分 エポキシ樹脂注入工法	0.25 未満		一般部 ※16	一般部 ※25	一般部 指定部 ※12
・アンカーピンニング全面 エポキシ樹脂注入工法	0.25 以上	1.0 以下	※13	※20	※12
・アンカーピンニング全面 ポリマーセメント スラリー注入工法	0.25 以上	1.0を 超える	※13	※20	※12
・注入口付アンカーピン ニング部分エポキシ 樹脂注入工法	0.25 未満		※9	※16	※9
・注入口付アンカーピン ニング全面ポリマー セメントスラリー 注入工法	0.25 以上	1.0を 超える	※9	※16	※9

・ 充てん工法

○モルタル塗替工法

<4.4.8~9>

工 法	材 料	平均深さ (mm)	延べ面積 (m ²)
※ シール工法	※ バテ状エポキシ樹脂	0.2未満	
※ 樹脂注入工法	※ 硬質型エポキシ樹脂 ※ 軟質型エポキシ樹脂	0.2~0.3未満 0.3~0.5未満 0.5~1.0未満	
※ タイル貼付 除去後	※ 可とう性エポキシ樹脂	0.2~0.3未満 0.3~0.5未満 0.5~1.0未満	
・ ひかっつシール 材完成工法	・ シーリング材PU-2	1.0~1.5未満	
・ 樹脂注入工法の上タイル 張替え工法	・ ポリマーセメント モルタル	1.5~2.0未満	
・ タイル部分 張替工法	・ エポキシ樹脂		
・ 目地ひび割れ 改修工法	※ 既製鋼合目地材		
・ 樹脂注入工法			
ひび割れの幅 (mm)	0.2~0.3未満	0.3~0.5未満	0.5~1.0以下
注入孔の間隔 (mm)	200程度	300程度	300程度
注 入 量 (cc/m ²)			

コアの抜取り検査 ・ 行う ※ 行わない <4.3.4(f)>

・ コンクリート打放し仕上げ <4.3.7>

工 法	材 料	平均深さ (mm)	延べ面積 (m ²)
※ 充てん工法	エポキシ樹脂モルタル	20~30未満 30~40未満	
	ポリマーセメント	5~10未満	
	モルタル	10~15未満	
	モルタル	15~20未満	

○モルタル塗り仕上げ

<4.4.8~9>

工 法	材 料	平均深さ (mm)	延べ面積 (m ²)
◎ 充てん工法	エポキシ樹脂モルタル	20~30未満 30~40未満	
	ポリマーセメント	5~10未満	
	モルタル	10~15未満	
	モルタル	15~20未満	
・ モルタル 塗替工法	<表4.4.1>による	20程度	
	ポリマーセメント モルタル		

・ タイル張り仕上げ

<4.5.7~8>

工 法	材 料	平均深さ (mm)	延べ面積 (m ²)
※ タイル部分 張替工法	エポキシ樹脂モルタル	20~30未満 30~40未満	
	ポリマーセメント	5~10未満	
	モルタル	10~15未満	
	モルタル	15~20未満	

・ タイル 張替工法

○モルタル塗り仕上げ

<4.4.4><4.4.8~15>

工 法	1箇所 の面積 (m ²)	浮き丈 (mm)	アンカーピン (本/m ²)	注入口 (箇所/m ²)	延べ面積 (m ²)
・アンカーピンニング部分 エポキシ樹脂注入工法	0.25 未満		一般部 ※16	一般部 ※25	一般部 指定部 ※12
・アンカーピンニング全面 エポキシ樹脂注入工法	0.25 以上	1.0 以下	※13	※20	※12
・アンカーピンニング全面 ポリマーセメント スラリー注入工法	0.25 以上	1.0を 超える	※13	※20	※12
・注入口付アンカーピン ニング部分エポキシ 樹脂注入工法	0.25 未満		※9	※16	※9
・注入口付アンカーピン ニング全面ポリマー セメントスラリー 注入工法	0.25 以上	1.0を 超える	※9	※16	※9

・ 充てん工法

○モルタル塗替工法

<4.4.8~9>

工 法	材 料	平均深さ (mm)	延べ面積 (m ²)
※ シール工法	※ バテ状エポキシ樹脂	0.2未満	
※ 樹脂注入工法	※ 硬質型エポキシ樹脂 ※ 軟質型エポキシ樹脂	0.2~0.3未満 0.3~0.5未満 0.5~1.0未満	
※ タイル貼付 除去後	※ 可とう性エポキシ樹脂	0.2~0.3未満 0.3~0.5未満 0.5~1.0未満	
・ ひかっつシール 材完成工法	・ シーリング材PU-2	1.0~1.5未満	
・ 樹脂注入工法の上タイル 張替え工法	・ ポリマーセメント モルタル	1.5~2.0未満	
・ タイル部分 張替工法	・ エポキシ樹脂		
・ 目地ひび割れ 改修工法	※ 既製鋼合目地材		
・ 樹脂注入工法			
ひび割れの幅 (mm)	0.2~0.3未満	0.3~0.5未満	0.5~1.0以下
注入孔の間隔 (mm)	200程度	300程度	300程度
注 入 量 (cc/m ²)			

コアの抜取り検査 ・ 行う ※ 行わない <4.3.4(f)>

・ コンクリート打放し仕上げ <4.3.7>

工 法	材 料	平均深さ (mm)	延べ面積 (m ²)
※ 充てん工法	エポキシ樹脂モルタル	20~30未満 30~40未満	
	ポリマーセメント	5~10未満	
	モルタル	10~15未満	
	モルタル	15~20未満	

○モルタル塗り仕上げ

<4.4.8~9>

工 法	材 料	平均深さ (mm)	延べ面積 (m ²)
◎ 充てん工法	エポキシ樹脂モルタル	20~30未満 30~40未満	
	ポリマーセメント	5~10未満	
	モルタル	10~15未満	
	モルタル	15~20未満	
・ モルタル 塗替工法	<表4.4.1>による	20程度	
	ポリマーセメント モルタル		

・ タイル張り仕上げ

<4.5.7~8>

工 法	材 料	平均深さ (mm)	延べ面積 (m ²)
※ タイル部分 張替工法	エポキシ樹脂モルタル	20~30未満 30~40未満	
	ポリマーセメント	5~10未満	
	モルタル	10~15未満	
	モルタル	15~20未満	

・ タイル 張替工法

○モルタル塗り仕上げ

<4.4.4><4.4.8~15>

工 法	1箇所 の面積 (m ²)	浮き丈 (mm)	アンカーピン (本/m ²)	注入口 (箇所/m ²)	延べ面積 (m ²)
・アンカーピンニング部分 エポキシ樹脂注入工法	0.25 未満		一般部 ※16	一般部 ※25	一般部 指定部 ※12
・アンカーピンニング全面 エポキシ樹脂注入工法	0.25 以上	1.0 以下	※13	※20	※12
・アンカーピンニング全面 ポリマーセメント スラリー注入工法	0.25 以上	1.0を 超える	※13	※20	※12
・注入口付アンカーピン ニング部分エポキシ 樹脂注入工法	0.25 未満		※9	※16	※9
・注入口付アンカーピン ニング全面ポリマー セメントスラリー 注入工法	0.25 以上	1.0を 超える	※9	※16	※9

・ 充てん工法

○モルタル塗替工法

<4.4.8~9>

工 法	材 料	平均深さ (mm)	延べ面積 (m ²)
※ シール工法	※ バテ状エポキシ樹脂	0.2未満	
※ 樹脂注入工法	※ 硬質型エポキシ樹脂 ※ 軟質型エポキシ樹脂	0.2~0.3未満 0.3~0.5未満 0.5~1.0未満	
※ タイル貼付 除去後	※ 可とう性エポキシ樹脂	0.2~0.3未満 0.3~0.5未満 0.5~1.0未満	
・ ひかっつシール 材完成工法	・ シーリング材PU-2	1.0~1.5未満	
・ 樹脂注入工法の上タイル 張替え工法	・ ポリマーセメント モルタル	1.5~2.0未満	
・ タイル部分 張替工法	・ エポキシ樹脂		
・ 目地ひび割れ 改修工法	※ 既製鋼合目地材		
・ 樹脂注入工法			
ひび割れの幅 (mm)	0.2~0.3未満	0.3~0.5未満	0.5~1.0以下
注入孔の間隔 (mm)	200程度	300程度	300程度
注 入 量 (cc/m ²)			

コアの抜取り検査 ・ 行う ※ 行わない <4.3.4(f)>

・ コンクリート打放し仕上げ <4.3.7>

工 法	材 料	平均深さ (mm)	延べ面積 (m ²)
※ 充てん工法	エポキシ樹脂モルタル	20~30未満 30~40未満	
	ポリマーセメント	5~10未満	
	モルタル	10~15未満	
	モルタル	15~20未満	

○モルタル塗り仕上げ

<4.4.8~9>

工 法	材 料	平均深さ (mm)	延べ面積 (m ²)
◎ 充てん工法	エポキシ樹脂モルタル	20~30未満 30~40未満	
	ポリマーセメント	5~10未満	
	モルタル	10~15未満	
	モルタル	15~20未満	
・ モルタル 塗替工法	<表4.4.1>による	20程度	
	ポリマーセメント モルタル		

・ タイル張り仕上げ

<4.5.7~8>

工 法	材 料	平均深さ (mm)	延べ面積 (m ²)
※ タイル部分 張替工法	エポキシ樹脂モルタル	20~30未満 30~40未満	
	ポリマーセメント	5~10未満	
	モルタル	10~15未満	
	モルタル	15~20未満	

・ タイル 張替工法

○モルタル塗り仕上げ

<4.4.4><4.4.8~15>

工 法	1箇所 の面積 (m ²)	浮き丈 (mm)	アンカーピン (本/m ²)	注入口 (箇所/m ²)	延べ面積 (m ²)
・アンカーピンニング部分 エポキシ樹脂注入工法	0.25 未満		一般部 ※16	一般部 ※25	一般部 指定部 ※12
・アンカーピンニング全面 エポキシ樹脂注入工法	0.25 以上	1.0 以下	※13	※20	※12
・アンカーピンニング全面 ポリマーセメント スラリー注入工法	0.25 以上	1.0を 超える	※13	※20	※12
・注入口付アンカーピン ニング部分エポキシ 樹脂注入工法	0.25 未満		※9	※16	※9
・注入口付アンカーピン ニング全面ポリマー セメントスラリー 注入工法	0.25 以上	1.0を 超える	※9	※16	※9

・ 充てん工法

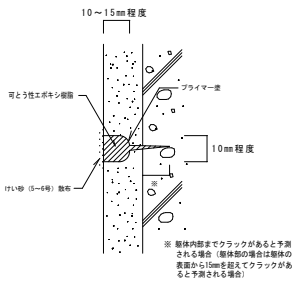
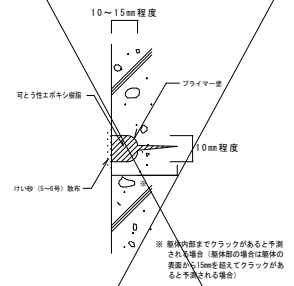
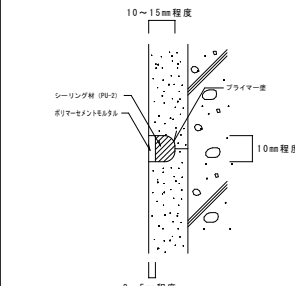
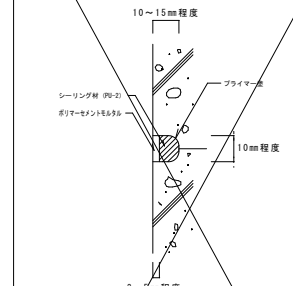
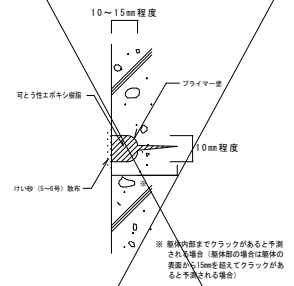
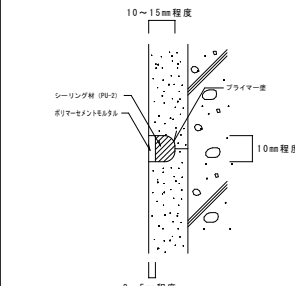
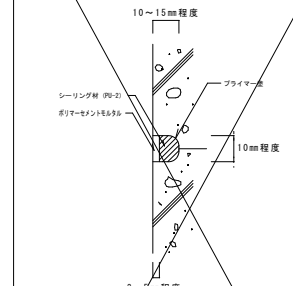
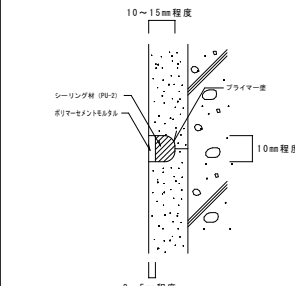
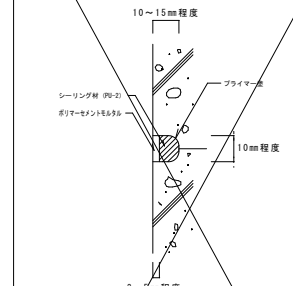
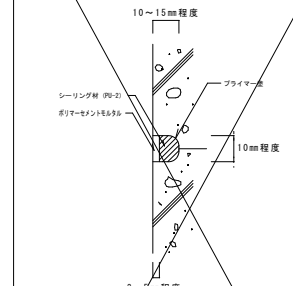
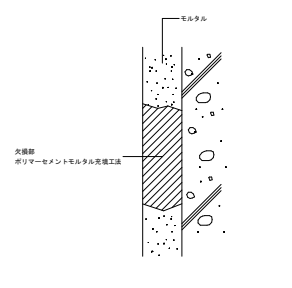
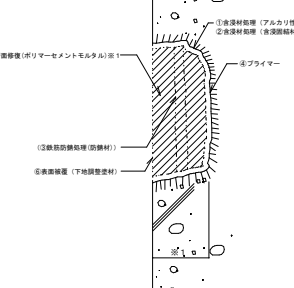
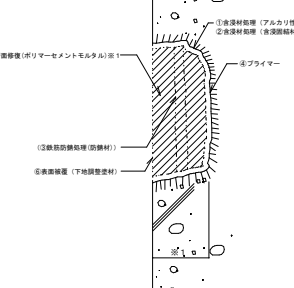
○モルタル塗替工法

<4.4.8~9>

工 法	材 料	平均深さ (mm)	延べ面積 (m ²)
※ シール工法	※ バテ状エポキシ樹脂	0.2未満	
※ 樹脂注入工法	※ 硬質型エポキシ樹脂 ※ 軟質型エポキシ樹脂	0.2~0.3未満 0.3~0.5未満 0.5~1.0未満	
※ タイル貼付 除去後	※ 可とう性エポキシ樹脂	0.2~0.3未満 0.3~0.5未満 0.5~1.0未満	
・ ひかっつシール 材完成工法	・ シーリング材PU-2	1.0~1.5未満	
・ 樹脂注入工法の上タイル 張替え工法	・ ポリマーセメント モルタル	1.5~2.0未満	
・ タイル部分 張替工法	・ エポキシ樹脂		
・ 目地ひび割れ 改修工法	※ 既製鋼合目地材		
・ 樹脂注入工法			
ひび割れの幅 (mm)	0.2~0.3未満	0.3~0.5未満	0.5~1.0以下
注入孔の間隔 (mm)	200程度	300程度	300程度
注 入 量 (cc/m ²)			

15. ガラス (中空)	<5.13.5>				15. 視覚障害者用 床タイル	<6.8.2>				23. 壁紙張り	<6.14.2>				6. 混和材料 コンクリート	混和剤 ※ AE剤又はAE減水剤標準形1種				<8.2.5>				
	表面形状 (JIS A5212)	モジュール呼び寸法 による区分(長さ×高さ)	厚さによる区分			材 質	寸 法(mm)	防 火 種 別	種 別		適 用 箇 所	気密単位容積質量(t/m ³)												
1. 改修範囲	正方形	・ 125×125	・ 160×160	・ 80	16. ビニル幅木	<6.8.2>				24. タイル張り	タイルの種類 JIS A 5209のJIS表示認証製品				8. 無筋 コンクリート	適用箇所は(6.14.1)によるほか、下記による。				(6.14.1)				
	長方形	・ 200×200	・ 320×320	・ 95		高 さ(mm)	※ 60	・ 75	・ 100		形状寸法(mm)	施 工 箇 所	種 別	適 用 箇 所										
2. 既存壁の除去 ・ 下地修繕	品質等	ガラスの種類	柄	目地色	金 属 枠	耐火性能	<6.9.3-4><表6.9.2>				25. セルフレ リング材張り	内装タイルの工法				10. 柱芯等の 均しモルタル	無収縮モルタル材 ※ 使用する				<8.2.11>			
	・ 一般ガラス	・ 無	・ 白	・ アルミニウム製	・ 規定しない	・ 有	17. カーペット敷き	<6.9.3-4><表6.9.2>				・ 改良種上げ張り	・ 接着剤張り	・ 施工箇所()	・ 施工箇所()		・ 使用しない	・ 使用しない	<8.2.11>					
3. 改修後の 床の清掃範囲	・ カラ-ガラス	・ 有	・ グレー	・ (表面処理)	・ (有)	・ (有)	18. 合成樹脂壁床	<6.9.3(b)>による				・ 全面接着工法	・ グリッパー工法	・ 施工箇所()	・ 施工箇所()		・ 使用しない	・ 使用しない	<8.2.7>					
	・ 熱反射ガラス	・ 有	・ ステンレス製	・ (表面仕上げ)	・ (有)	・ (有)	19. フローリング 張り	<6.9.3-4><表6.9.2>				3. 合成樹脂樹 合板貼付 (SOP)	<7.1.3>				1. 撤去 アンカー	※ 接着系アンカー				<8.2.4>		
4. 既存壁の除去 ・ 下地修繕	天井内の既存壁の撤去に伴う当該壁の取合う天井の改修範囲	<6.1.3>			20. 畳敷き	<6.10.2>				・ 改良種上げ張り	・ 接着剤張り		・ 施工箇所()	・ 施工箇所()	・ 使用しない	・ 使用しない		<8.2.4>						
	※ 壁厚程度とし、既存仕上りに準じた仕上りを行う。	・ 図示の範囲			21. 石こうボード その他ボード 張り	<6.10.3>				・ 全面接着工法	・ グリッパー工法		・ 施工箇所()	・ 施工箇所()	・ 使用しない	・ 使用しない		<8.11.5>						
5. 木 材	天井の撤去に伴う取合部の壁面の改修	※ 既存のまま			22. 遮音シール材	<6.10.3>				・ 全面接着工法	・ グリッパー工法		・ 施工箇所()	・ 施工箇所()	・ 使用しない	・ 使用しない		<8.11.5>						
	※ 図示の範囲	・ 図示の範囲			20. 畳敷き	<6.10.3>				・ 全面接着工法	・ グリッパー工法		・ 施工箇所()	・ 施工箇所()	・ 使用しない	・ 使用しない		<8.11.5>						
6. 集塵材	天井の撤去に伴う取合部の壁面の改修	※ 既存のまま				23. 遮音シール材		<6.10.3>					・ 全面接着工法	・ グリッパー工法	・ 施工箇所()	・ 施工箇所()		・ 使用しない	・ 使用しない	<8.11.5>				
	※ 図示の範囲	・ 図示の範囲				24. 遮音シール材		<6.10.3>					・ 全面接着工法	・ グリッパー工法	・ 施工箇所()	・ 施工箇所()		・ 使用しない	・ 使用しない	<8.11.5>				
7. 床張り用合板	面仕切壁の撤去に伴う他の構造物の修繕方法	※ <4.4.9>による				25. 遮音シール材		<6.10.3>					・ 全面接着工法	・ グリッパー工法	・ 施工箇所()	・ 施工箇所()		・ 使用しない	・ 使用しない	<8.11.5>				
	※ <4.4.9>による	・ ()				26. 遮音シール材		<6.10.3>					・ 全面接着工法	・ グリッパー工法	・ 施工箇所()	・ 施工箇所()		・ 使用しない	・ 使用しない	<8.11.5>				
8. 防湿・防蟻 ・ 防虫処理	表面仕上げの程度	・ A種	※ B種	・ C種		27. 遮音シール材		<6.10.3>					・ 全面接着工法	・ グリッパー工法	・ 施工箇所()	・ 施工箇所()		・ 使用しない	・ 使用しない	<8.11.5>				
	含水率	下地材	※ A種	・ B種		28. 遮音シール材		<6.10.3>					・ 全面接着工法	・ グリッパー工法	・ 施工箇所()	・ 施工箇所()		・ 使用しない	・ 使用しない	<8.11.5>				
9. 重量鉄骨 下地材	造作材	※ A種	・ B種	・ C種		29. 遮音シール材		<6.10.3>					・ 全面接着工法	・ グリッパー工法	・ 施工箇所()	・ 施工箇所()		・ 使用しない	・ 使用しない	<8.11.5>				
	造作材の材質の品質	※ A種	・ B種	・ C種		30. 遮音シール材		<6.10.3>					・ 全面接着工法	・ グリッパー工法	・ 施工箇所()	・ 施工箇所()		・ 使用しない	・ 使用しない	<8.11.5>				
10. 重量鉄骨 壁下地材	代用壁種を使用しない箇所	※ なし				31. 遮音シール材		<6.10.3>					・ 全面接着工法	・ グリッパー工法	・ 施工箇所()	・ 施工箇所()		・ 使用しない	・ 使用しない	<8.11.5>				
	※ なし	・ あり()				32. 遮音シール材		<6.10.3>					・ 全面接着工法	・ グリッパー工法	・ 施工箇所()	・ 施工箇所()		・ 使用しない	・ 使用しない	<8.11.5>				
11. 体育館の 鋼製床下地	造作用集塵材は<6.5.2(a)(i)>による	<6.5.2>				33. 遮音シール材		<6.10.3>					・ 全面接着工法	・ グリッパー工法	・ 施工箇所()	・ 施工箇所()		・ 使用しない	・ 使用しない	<8.11.5>				
	見 付 材 種	JASによる集塵材	※ 1等	・ 2等		34. 遮音シール材		<6.10.3>					・ 全面接着工法	・ グリッパー工法	・ 施工箇所()	・ 施工箇所()		・ 使用しない	・ 使用しない	<8.11.5>				
12. ビニル床 シート張り	集塵材の増補	※ 1等	・ 2等	※ JAS集塵材1等同等		35. 遮音シール材		<6.10.3>					・ 全面接着工法	・ グリッパー工法	・ 施工箇所()	・ 施工箇所()		・ 使用しない	・ 使用しない	<8.11.5>				
	集塵材の厚さ(mm)	10~15	10~15	10~15		36. 遮音シール材		<6.10.3>					・ 全面接着工法	・ グリッパー工法	・ 施工箇所()	・ 施工箇所()		・ 使用しない	・ 使用しない	<8.11.5>				
13. ビニル床 タイル張り	床下張り用合板	床下張り用合板 特種 2等以上 C-D以上				37. 遮音シール材		<6.10.3>					・ 全面接着工法	・ グリッパー工法	・ 施工箇所()	・ 施工箇所()		・ 使用しない	・ 使用しない	<8.11.5>				
	※ JASの構造用合板 特種 2等以上 C-D以上	(12.2.1)				38. 遮音シール材		<6.10.3>					・ 全面接着工法	・ グリッパー工法	・ 施工箇所()	・ 施工箇所()		・ 使用しない	・ 使用しない	<8.11.5>				
14. ビニル床 タイル張り	薬剤の加圧注入による防蟻・防蟻処理	<6.5.5>				39. 遮音シール材		<6.10.3>					・ 全面接着工法	・ グリッパー工法	・ 施工箇所()	・ 施工箇所()		・ 使用しない	・ 使用しない	<8.11.5>				
	薬剤の加圧注入による防蟻・防蟻処理	<6.5.5>				40. 遮音シール材		<6.10.3>					・ 全面接着工法	・ グリッパー工法	・ 施工箇所()	・ 施工箇所()		・ 使用しない	・ 使用しない	<8.11.5>				
15. ガラス (中空)	薬剤の加圧注入による防蟻・防蟻処理	<6.5.5>				41. 遮音シール材		<6.10.3>					・ 全面接着工法	・ グリッパー工法	・ 施工箇所()	・ 施工箇所()		・ 使用しない	・ 使用しない	<8.11.5>				
	薬剤の加圧注入による防蟻・防蟻処理	<6.5.5>				42. 遮音シール材		<6.10.3>					・ 全面接着工法	・ グリッパー工法	・ 施工箇所()	・ 施工箇所()		・ 使用しない	・ 使用しない	<8.11.5>				
16. ガラス (中空)	薬剤の加圧注入による防蟻・防蟻処理	<6.5.5>				43. 遮音シール材		<6.10.3>					・ 全面接着工法	・ グリッパー工法	・ 施工箇所()	・ 施工箇所()		・ 使用しない	・ 使用しない	<8.11.5>				
	薬剤の加圧注入による防蟻・防蟻処理	<6.5.5>				44. 遮音シール材		<6.10.3>					・ 全面接着工法	・ グリッパー工法	・ 施工箇所()	・ 施工箇所()		・ 使用しない	・ 使用しない	<8.11.5>				
17. ガラス (中空)	薬剤の加圧注入による防蟻・防蟻処理	<6.5.5>				45. 遮音シール材		<6.10.3>					・ 全面接着工法	・ グリッパー工法	・ 施工箇所()	・ 施工箇所()		・ 使用しない	・ 使用しない	<8.11.5>				
	薬剤の加圧注入による防蟻・防蟻処理	<6.5.5>				46. 遮音シール材		<6.10.3>					・ 全面接着工法	・ グリッパー工法	・ 施工箇所()	・ 施工箇所()		・ 使用しない	・ 使用しない	<8.11.5>				
18. ガラス (中空)	薬剤の加圧注入による防蟻・防蟻処理	<6.5.5>				47. 遮音シール材		<6.10.3>					・ 全面接着工法	・ グリッパー工法	・ 施工箇所()	・ 施工箇所()		・ 使用しない	・ 使用しない	<8.11.5>				
	薬剤の加圧注入による防蟻・防蟻処理	<6.5.5>				48. 遮音シール材		<6.10.3>					・ 全面接着工法	・ グリッパー工法	・ 施工箇所()	・ 施工箇所()		・ 使用しない	・ 使用しない	<8.11.5>				
19. ガラス (中空)	薬剤の加圧注入による防蟻・防蟻処理	<6.5.5>				49. 遮音シール材		<6.10.3>				・ 全面接着工法	・ グリッパー工法	・ 施工箇所()	・ 施工箇所()	・ 使用しない	・ 使用しない	<8.11.5>						
	薬剤の加圧注入による防蟻・防蟻処理	<6.5.5>				50. 遮音シール材	<6.10.3>				・ 全面接着工法	・ グリッパー工法	・ 施工箇所()	・ 施工箇所()	・ 使用しない	・ 使用しない	<8.11.5>							

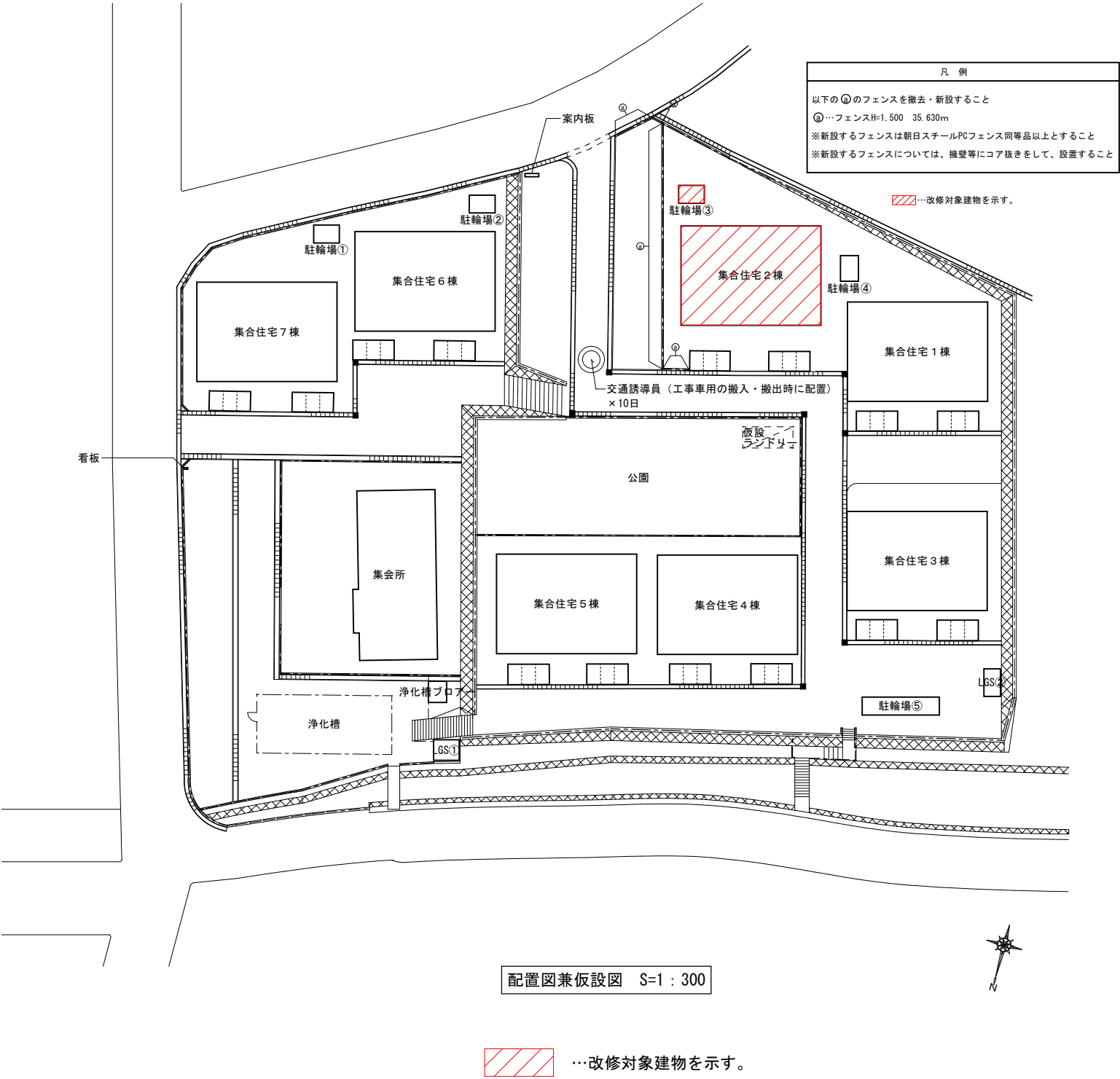
補修詳細図（１）

<div>ひび割れ部改修 Uカットシール材充てん工法（可とう性エポキシ樹脂） (4.3.7)</div> <div><p>10～15mm程度</p><p>可とう性エポキシ樹脂</p><p>プライマー塗</p><p>10mm程度</p><p>171イボ（5～6号）散布</p><p>※ 躯体内部までクラックがあると予測される場合（躯体部の場合は躯体の表面から15mmを超えてクラックがあると予測される場合）</p><div>モルタル塗仕上げ</div><p>雨水の侵入がある0.2mm以上0.5mm未満のひび割れ 0.5mm以上のひび割れ</p><p>※ 石積含有仕上塗材である場合 ひび割れ部の処置は「同等措置（大気汚染防止法施行規則表第7第一の項下欄柱書に掲げる作業基準同等以上の効果を有する措置）」によるものとする。</p></div> <td><div>ひび割れ部改修 Uカットシール材充てん工法（可とう性エポキシ樹脂） (4.2.6)(4)</div><div><p>10～15mm程度</p><p>可とう性エポキシ樹脂</p><p>プライマー塗</p><p>10mm程度</p><p>171イボ（5～6号）散布</p><p>※ 躯体内部までクラックがあると予測される場合（躯体部の場合は躯体の表面から15mmを超えてクラックがあると予測される場合）</p><div>コンクリート打放し仕上げ</div><p>雨水の侵入がある0.2mm以上0.5mm未満のひび割れ 0.5mm以上のひび割れ</p><p>※ 石積含有仕上塗材である場合 ひび割れ部の処置は「同等措置（大気汚染防止法施行規則表第7第一の項下欄柱書に掲げる作業基準同等以上の効果を有する措置）」によるものとする。</p></div><td><div>ひび割れ部改修 Uカットシール材充てん工法（シーリング材） (4.3.7)</div><div><p>10～15mm程度</p><p>シーリング材（PU-2）</p><p>ポリマーセメントモルタル</p><p>プライマー塗</p><p>10mm程度</p><p>3～5mm程度</p><div>モルタル塗仕上げ</div><p>雨水の侵入がある0.2mm超0.5mm未満のひび割れ 0.5mm以上のひび割れ</p><p>※ 石積含有仕上塗材である場合 ひび割れ部の処置は「同等措置（大気汚染防止法施行規則表第7第一の項下欄柱書に掲げる作業基準同等以上の効果を有する措置）」によるものとする。</p></div><td><div>ひび割れ部改修 Uカットシール材充てん工法（シーリング材） (4.2.6)(7)</div><div><p>10～15mm程度</p><p>シーリング材（PU-2）</p><p>ポリマーセメントモルタル</p><p>プライマー塗</p><p>10mm程度</p><p>3～5mm程度</p><div>コンクリート打放し仕上げ</div><p>雨水の侵入がある0.2mm超0.5mm未満のひび割れ 0.5mm以上のひび割れ</p><p>※ 石積含有仕上塗材である場合 ひび割れ部の処置は「同等措置（大気汚染防止法施行規則表第7第一の項下欄柱書に掲げる作業基準同等以上の効果を有する措置）」によるものとする。</p></div><td></td></td></td></td>	<div>ひび割れ部改修 Uカットシール材充てん工法（可とう性エポキシ樹脂） (4.2.6)(4)</div> <div><p>10～15mm程度</p><p>可とう性エポキシ樹脂</p><p>プライマー塗</p><p>10mm程度</p><p>171イボ（5～6号）散布</p><p>※ 躯体内部までクラックがあると予測される場合（躯体部の場合は躯体の表面から15mmを超えてクラックがあると予測される場合）</p><div>コンクリート打放し仕上げ</div><p>雨水の侵入がある0.2mm以上0.5mm未満のひび割れ 0.5mm以上のひび割れ</p><p>※ 石積含有仕上塗材である場合 ひび割れ部の処置は「同等措置（大気汚染防止法施行規則表第7第一の項下欄柱書に掲げる作業基準同等以上の効果を有する措置）」によるものとする。</p></div> <td><div>ひび割れ部改修 Uカットシール材充てん工法（シーリング材） (4.3.7)</div><div><p>10～15mm程度</p><p>シーリング材（PU-2）</p><p>ポリマーセメントモルタル</p><p>プライマー塗</p><p>10mm程度</p><p>3～5mm程度</p><div>モルタル塗仕上げ</div><p>雨水の侵入がある0.2mm超0.5mm未満のひび割れ 0.5mm以上のひび割れ</p><p>※ 石積含有仕上塗材である場合 ひび割れ部の処置は「同等措置（大気汚染防止法施行規則表第7第一の項下欄柱書に掲げる作業基準同等以上の効果を有する措置）」によるものとする。</p></div><td><div>ひび割れ部改修 Uカットシール材充てん工法（シーリング材） (4.2.6)(7)</div><div><p>10～15mm程度</p><p>シーリング材（PU-2）</p><p>ポリマーセメントモルタル</p><p>プライマー塗</p><p>10mm程度</p><p>3～5mm程度</p><div>コンクリート打放し仕上げ</div><p>雨水の侵入がある0.2mm超0.5mm未満のひび割れ 0.5mm以上のひび割れ</p><p>※ 石積含有仕上塗材である場合 ひび割れ部の処置は「同等措置（大気汚染防止法施行規則表第7第一の項下欄柱書に掲げる作業基準同等以上の効果を有する措置）」によるものとする。</p></div><td></td></td></td>	<div>ひび割れ部改修 Uカットシール材充てん工法（シーリング材） (4.3.7)</div> <div><p>10～15mm程度</p><p>シーリング材（PU-2）</p><p>ポリマーセメントモルタル</p><p>プライマー塗</p><p>10mm程度</p><p>3～5mm程度</p><div>モルタル塗仕上げ</div><p>雨水の侵入がある0.2mm超0.5mm未満のひび割れ 0.5mm以上のひび割れ</p><p>※ 石積含有仕上塗材である場合 ひび割れ部の処置は「同等措置（大気汚染防止法施行規則表第7第一の項下欄柱書に掲げる作業基準同等以上の効果を有する措置）」によるものとする。</p></div> <td><div>ひび割れ部改修 Uカットシール材充てん工法（シーリング材） (4.2.6)(7)</div><div><p>10～15mm程度</p><p>シーリング材（PU-2）</p><p>ポリマーセメントモルタル</p><p>プライマー塗</p><p>10mm程度</p><p>3～5mm程度</p><div>コンクリート打放し仕上げ</div><p>雨水の侵入がある0.2mm超0.5mm未満のひび割れ 0.5mm以上のひび割れ</p><p>※ 石積含有仕上塗材である場合 ひび割れ部の処置は「同等措置（大気汚染防止法施行規則表第7第一の項下欄柱書に掲げる作業基準同等以上の効果を有する措置）」によるものとする。</p></div><td></td></td>	<div>ひび割れ部改修 Uカットシール材充てん工法（シーリング材） (4.2.6)(7)</div> <div><p>10～15mm程度</p><p>シーリング材（PU-2）</p><p>ポリマーセメントモルタル</p><p>プライマー塗</p><p>10mm程度</p><p>3～5mm程度</p><div>コンクリート打放し仕上げ</div><p>雨水の侵入がある0.2mm超0.5mm未満のひび割れ 0.5mm以上のひび割れ</p><p>※ 石積含有仕上塗材である場合 ひび割れ部の処置は「同等措置（大気汚染防止法施行規則表第7第一の項下欄柱書に掲げる作業基準同等以上の効果を有する措置）」によるものとする。</p></div> <td></td>											
<div>浮き部・欠損部補修 充てん工法（モルタル補修） 塗厚：20mm程度以上</div> <div><table><tr><td>① 浮き部確認</td><td>④ プライマー</td></tr><tr><td>② 下地調整・清掃</td><td>⑤ 前面修復（ポリマーセメントモルタル）※1</td></tr><tr><td>③（鉄筋防錆処理（防錆材））</td><td>⑥ 表面修復（下地調整塗材）</td></tr></table><p>※ 躯体補修後にモルタル塗仕上げ上部の補修をおこなう場合は⑤の工程は不要とする。露筋がある場合は別途、露筋補修の工程による。</p><div><p>モルタル</p><p>欠損部 ポリマーセメントモルタル充てん工法</p><div>モルタル塗仕上げ</div></div></div> <td><div>躯体補修 充てん工法（躯体補修） (4.3.3)(4.3.4) 塗厚：20mm程度以上</div><div><table><tr><td>① 食没材処理（アルカリ性付与材）</td><td>④ プライマー</td></tr><tr><td>② 食没材処理（食没面結材）</td><td>⑤ 前面修復（ポリマーセメントモルタル）※1</td></tr><tr><td>③（鉄筋防錆処理（防錆材））</td><td>⑥ 表面修復（下地調整塗材）</td></tr></table><p>※ 躯体補修後にモルタル塗仕上げ上部の補修をおこなう場合は⑤の工程は不要とする。露筋がある場合は別途、露筋補修の工程による。</p><div><p>①食没材処理（アルカリ性付与材） ②食没材処理（食没面結材）</p><p>⑤前面修復（ポリマーセメントモルタル）※1</p><p>④プライマー</p><p>③鉄筋防錆処理（防錆材）</p><p>⑥表面修復（下地調整塗材）</p></div></div><td><div>特記事項 ※ 表中に記載の（ ）内は番号は、改修工事標準仕様書の提出項目を示す。 ※ 使用材料 食没面結材：エポキシ樹脂系、アクリル樹脂系又は171樹脂系浸透型防錆部強化材 アルカリ性付与材：171樹脂系又は重碳酸塩系の浸透型アルカリ性付与材 プライマー：光硬化剤製造所の指定する製品で、被覆体に適したもの 防錆材：ポリマーセメントペースト（混合ポリマーはSR系又はアクリル系）防錆材又はエポキシ系防錆材で接着強度を7.0N/mm2以上有するもの 保護材・下地調整塗材：ポリマーセメントペースト（混合ポリマーはSR系又はアクリル系）で接着強度を1.0N/mm2以上有するもの</div><div>※ アンカーピンニングのピン間距離については、ピン間距離に寄るを行なうこと。 ※ エポキシ樹脂注入後ピン挿入深さを外壁仕上面から1～2mm程度の深さとし、ピン側にはみ出したエポキシ樹脂を試き取り、ピン頭が目視で確認できる状態で監督員による確認を受けること。 ※ 施工に先立ち、監督員立会いのもと、現場での試験施工を行い、施工状況を確認した後に施工を進める。</div></td></td>	① 浮き部確認	④ プライマー	② 下地調整・清掃	⑤ 前面修復（ポリマーセメントモルタル）※1	③（鉄筋防錆処理（防錆材））	⑥ 表面修復（下地調整塗材）	<div>躯体補修 充てん工法（躯体補修） (4.3.3)(4.3.4) 塗厚：20mm程度以上</div> <div><table><tr><td>① 食没材処理（アルカリ性付与材）</td><td>④ プライマー</td></tr><tr><td>② 食没材処理（食没面結材）</td><td>⑤ 前面修復（ポリマーセメントモルタル）※1</td></tr><tr><td>③（鉄筋防錆処理（防錆材））</td><td>⑥ 表面修復（下地調整塗材）</td></tr></table><p>※ 躯体補修後にモルタル塗仕上げ上部の補修をおこなう場合は⑤の工程は不要とする。露筋がある場合は別途、露筋補修の工程による。</p><div><p>①食没材処理（アルカリ性付与材） ②食没材処理（食没面結材）</p><p>⑤前面修復（ポリマーセメントモルタル）※1</p><p>④プライマー</p><p>③鉄筋防錆処理（防錆材）</p><p>⑥表面修復（下地調整塗材）</p></div></div> <td><div>特記事項 ※ 表中に記載の（ ）内は番号は、改修工事標準仕様書の提出項目を示す。 ※ 使用材料 食没面結材：エポキシ樹脂系、アクリル樹脂系又は171樹脂系浸透型防錆部強化材 アルカリ性付与材：171樹脂系又は重碳酸塩系の浸透型アルカリ性付与材 プライマー：光硬化剤製造所の指定する製品で、被覆体に適したもの 防錆材：ポリマーセメントペースト（混合ポリマーはSR系又はアクリル系）防錆材又はエポキシ系防錆材で接着強度を7.0N/mm2以上有するもの 保護材・下地調整塗材：ポリマーセメントペースト（混合ポリマーはSR系又はアクリル系）で接着強度を1.0N/mm2以上有するもの</div><div>※ アンカーピンニングのピン間距離については、ピン間距離に寄るを行なうこと。 ※ エポキシ樹脂注入後ピン挿入深さを外壁仕上面から1～2mm程度の深さとし、ピン側にはみ出したエポキシ樹脂を試き取り、ピン頭が目視で確認できる状態で監督員による確認を受けること。 ※ 施工に先立ち、監督員立会いのもと、現場での試験施工を行い、施工状況を確認した後に施工を進める。</div></td>	① 食没材処理（アルカリ性付与材）	④ プライマー	② 食没材処理（食没面結材）	⑤ 前面修復（ポリマーセメントモルタル）※1	③（鉄筋防錆処理（防錆材））	⑥ 表面修復（下地調整塗材）	<div>特記事項 ※ 表中に記載の（ ）内は番号は、改修工事標準仕様書の提出項目を示す。 ※ 使用材料 食没面結材：エポキシ樹脂系、アクリル樹脂系又は171樹脂系浸透型防錆部強化材 アルカリ性付与材：171樹脂系又は重碳酸塩系の浸透型アルカリ性付与材 プライマー：光硬化剤製造所の指定する製品で、被覆体に適したもの 防錆材：ポリマーセメントペースト（混合ポリマーはSR系又はアクリル系）防錆材又はエポキシ系防錆材で接着強度を7.0N/mm2以上有するもの 保護材・下地調整塗材：ポリマーセメントペースト（混合ポリマーはSR系又はアクリル系）で接着強度を1.0N/mm2以上有するもの</div> <div>※ アンカーピンニングのピン間距離については、ピン間距離に寄るを行なうこと。 ※ エポキシ樹脂注入後ピン挿入深さを外壁仕上面から1～2mm程度の深さとし、ピン側にはみ出したエポキシ樹脂を試き取り、ピン頭が目視で確認できる状態で監督員による確認を受けること。 ※ 施工に先立ち、監督員立会いのもと、現場での試験施工を行い、施工状況を確認した後に施工を進める。</div>
① 浮き部確認	④ プライマー													
② 下地調整・清掃	⑤ 前面修復（ポリマーセメントモルタル）※1													
③（鉄筋防錆処理（防錆材））	⑥ 表面修復（下地調整塗材）													
① 食没材処理（アルカリ性付与材）	④ プライマー													
② 食没材処理（食没面結材）	⑤ 前面修復（ポリマーセメントモルタル）※1													
③（鉄筋防錆処理（防錆材））	⑥ 表面修復（下地調整塗材）													

建物概要	
工事名称	新町団地2号棟外壁等改修工事
工事場所	福岡県田川郡糸田町真岡
主要用途	公営住宅
工事種別	改修工事
建物規模	鉄筋コンクリート造 3階建て
建築面積	275.24㎡ ※既存図面等による
延床面積	782.35㎡ ※既存図面等による
工事概要	
1. 屋根防水改修工事	
2. 外壁改修工事	
3. 塗装改修工事	
4. 外構改修工事	
※集合住宅の居住者が、居住しながらの工事になるため、 工事中は安全を確保し、なるべく日常生活の支障にならないように配慮すること 又、仮設計画等は監督員と協議し対応すること	



附近見取図



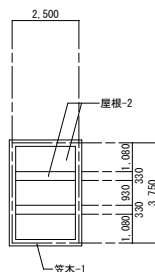
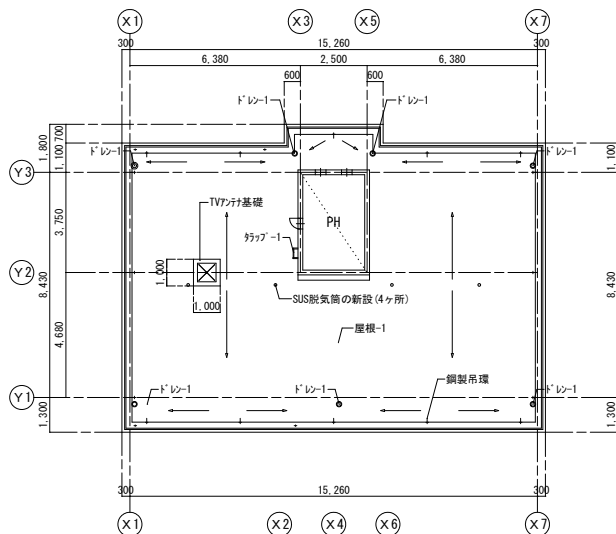
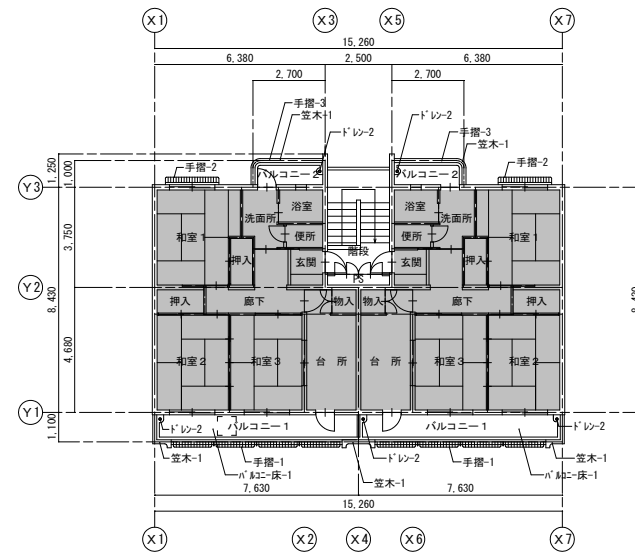
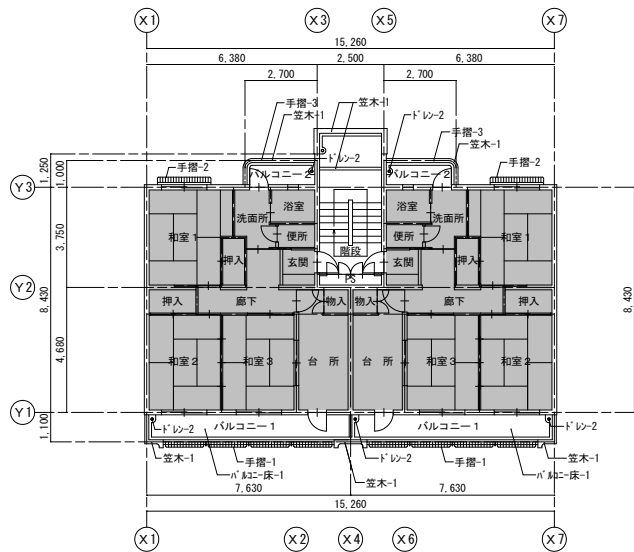
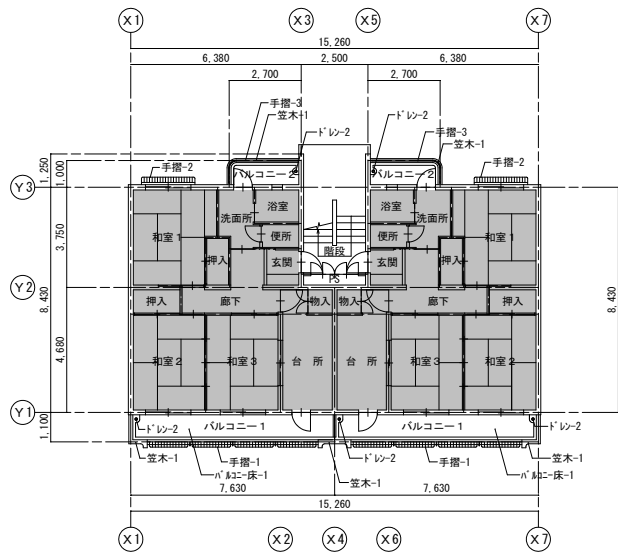
…改修対象建物を示す。

	 株式会社 ごとう計画・設計	〒807-0851 福岡県北九州市八幡西区永犬丸5-9-6 ぎやらつく永犬丸ビル2F TEL・FAX(093)-287-4657 E-mail: t-goto@g-sekkei.net	製作年月日	工事名称 新町団地2号棟外壁等改修工事	SCALE A1:1:300 A3:1:600	工事種別 改修
1級建築士事務所 福岡県知事登録 第1-61427号 1級建築士登録 第349069号 後藤 友哉		図面内容 付近見取図 配置図兼仮設図 工事概要		図面No. B-06		

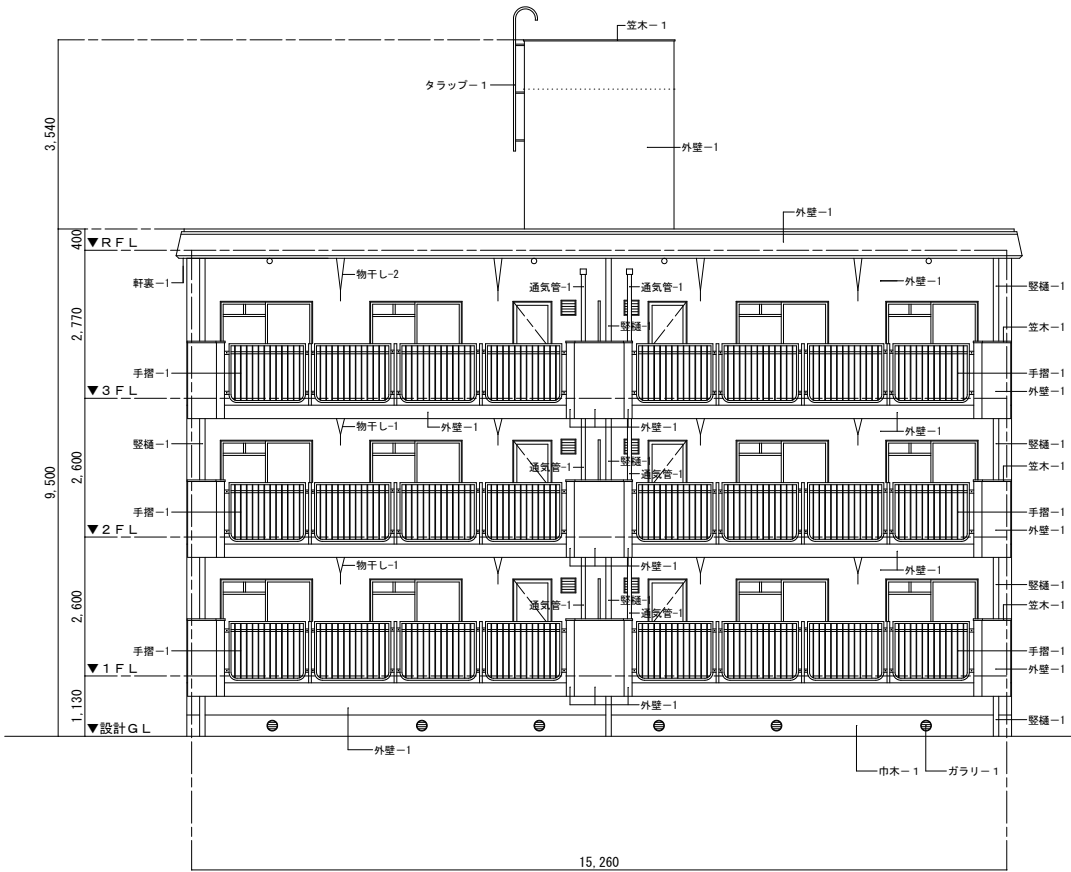
防水工法の工程表						
工法	施工部位	工程		工法	施工部位	工程
ウレタンゴム系塗膜防水 X-1（絶縁工法）	屋上陸屋根（平部）	1. 接着剤塗り＋通気緩衝シート張り 2. 脱気筒（ステンレス製） 3. ウレタンゴム系塗膜防水材塗り（1層目）	4. ウレタンゴム系塗膜防水材塗り（2層目） 5. 仕上塗料塗り ※フッ素樹脂塗料（OTコートフッ素） ※田島ルーフィングオルタックエース同等品			
ウレタンゴム系塗膜防水 X-2（密着工法）	バルコニー（平部、立上り部） 庇（平部、立上り部）	1. プライマー塗り 2. ウレタンゴム系塗膜防水材塗り補強布張り（1層目） 3. ウレタンゴム系塗膜防水材塗り（2層目）	4. ウレタンゴム系塗膜防水材塗り（3層目） 5. 仕上塗料塗り ※フッ素樹脂塗料（OTコートフッ素） ※田島ルーフィングオルタックエース同等品			
可とう形改修塗材E	外 壁	1. 主材塗り 2. 上塗材塗り（2回）※フッ素樹脂塗料とする				
外装薄塗材E	軒 裏 上 裏	1. 主材塗り 2. 上塗材塗り（2回）				

外部仕上表			
部 位	【改修前】	【改修後】	【備考】
巾木－1	モルタル金ゴテ押え	 現況のまま	
外壁－1	モルタル下地＋アクリルリシン吹付	 既存仕上を水洗い(高圧洗浄機 加圧力10～15MPa程度)・クラック処理の上、可とう形改修塗材E(厚付け)の新設 ※外壁にモルタルの浮き、亀の甲状のクラック、爆裂、欠損がある部分は、適切な補修をすること	※亀の甲状クラックの場合は、エケー化研 ミラクフィット' 同等品で下地調整をすること ※外壁にモルタルの浮きや欠損がある場合は、補修すること
外壁－2	モルタル下地＋タイル状吹付	 既存仕上を水洗い(高圧洗浄機 加圧力10～15MPa程度)・クラック処理の上、可とう形改修塗材E(厚付け)の新設 ※外壁にモルタルの浮き、亀の甲状のクラック、爆裂、欠損がある部分は、適切な補修をすること	※亀の甲状クラックの場合は、エケー化研 ミラクフィット' 同等品で下地調整をすること ※外壁にモルタルの浮きや欠損がある場合は、補修すること
屋根－1	ウレタン露出防水シルバー仕上げ（非歩行用）	 既存仕上を水洗い(高圧水洗機 加圧力10～15MPa程度)、下地調整(樹脂ベースト)の上、ウレタンゴム系塗膜防水 X-1（絶縁工法） ※立上りは、ウレタンゴム系塗膜防水 X-2（密着工法）	※バラベット(あご～軒裏まで)のモルタル金ゴテ押えは、撤去・新設すること ※詳細図参照
屋根－2	ウレタン露出防水シルバー仕上げ（非歩行用）	 既存仕上を水洗い(高圧水洗機 加圧力10～15MPa程度)、下地調整(樹脂ベースト)の上、ウレタンゴム系塗膜防水 X-2（密着工法）	
庇－1	防水モルタル金ゴテ押え	 既存防水モルタルを水洗い(高圧水洗機 加圧力10～15MPa程度)、下地調整(樹脂ベースト)の上、ウレタンゴム系塗膜防水 X-2（密着工法） ※側面と小口は、外壁-1の改修後と同仕様とすること	
窓庇－1	防水モルタル金ゴテ押え	 既存仕上を水洗い(高圧洗浄機 加圧力10～15MPa程度)・クラック処理の上、可とう形改修塗材E(厚付け)の新設 ※側面と小口は、外壁-1の改修後と同仕様とすること	
バルコニー床－1	防水モルタル金ゴテ押え	 ウレタンゴム系塗膜防水 X-2（密着工法）	
軒裏－1	打放しコンクリート＋アクリルリシン吹付	 既存仕上を水洗い(高圧洗浄機 加圧力10～15MPa程度)・クラック処理・下地調整の上、外装薄塗材Eの新設 ※軒裏にモルタルの浮き、亀の甲状のクラック、爆裂、欠損がある部分は、適切な補修をすること	
上裏－1	打放しコンクリート＋アクリルリシン吹付	 既存仕上を水洗い(高圧洗浄機 加圧力10～15MPa程度)・クラック処理・下地調整の上、外装薄塗材Eの新設 ※軒裏にモルタルの浮き、亀の甲状のクラック、爆裂、欠損がある部分は、適切な補修をすること	
笠木－1	防水モルタル金ゴテ押え	 既存仕上を水洗い(高圧洗浄機 加圧力10～15MPa程度)・クラック処理の上、可とう形改修塗材E(厚付け)の新設 ※笠木にモルタルの浮き、亀の甲状のクラック、爆裂、欠損がある部分は、適切な補修をすること	
縦樋－1	VP75φ	 既存縦樋（VP75φ）を撤去の上、縦樋（ｶﾞｰVP75φ）の新設 ※SUS製掴み金物共	
通気管－1	VP75φ	 既存縦樋（VP75φ）を撤去の上、縦樋（ｶﾞｰVP75φ）の新設 ※SUS製掴み金物共	
ドレン－1	縦型ドレン(鋳鉄製) 75φ用	 既存ドレンを撤去の上、改修用縦型ドレン(鋳鉄製) 75φ用の新設	
ドレン－2	中継ドレン(鋳鉄製) 75φ用	 既存ドレンにコールタール塗り	
ドレン－3	横引きドレン(鋳鉄製) 75φ用	 既存ドレンを撤去の上、改修用横引きドレン(鋳鉄製) 75φ用の新設	
手摺－1	鋼製手摺 H=1,150（ヨド鋼製BL品）	 ケレン清掃・錆止め処理・下地調整の上、D P (1級)塗り	
手摺－2	鋼製手摺 H=900（ヨド鋼製BL品）	 ケレン清掃・錆止め処理・下地調整の上、D P (1級)塗り	
手摺－3	鋼製手摺38φ	 ケレン清掃・錆止め処理・下地調整の上、D P (1級)塗り	
物干－1、2	鋼製物干し：E310-ZB型(1・2階)、E310-ZC型(最上階)	 ケレン清掃・錆止め処理・下地調整の上、D P (1級)塗り	
ガラリ－1	樹脂製ガラリ150φ	 樹脂製ガラリを撤去の上、SUS製ガラリ150φを新設	
タラップ－1	鋼製タラップ	 ケレン清掃・錆止め処理・下地調整の上、D P (1級)塗り	
タラップ－2	鋼製タラップ	 ケレン清掃・錆止め処理・下地調整の上、D P (1級)塗り	

		<div>株式会社 ごとう計画・設計</div> <div>1級建築士事務所 福岡県知事登録 第1-61427号 1級建築士登録 第349069号 後藤 友哉</div>	〒807-0851 福岡県北九州市八幡西区永犬丸5-9-6 ぎやらつく永犬丸ビル2F TEL・FAX(093)-287-4657 E-mail: t-goto@g-sekkei.net		製作年月日	工事名称	工事種別
					新町団地2号棟外壁等改修工事	改修	
			担当者		図面内容	図面No.	
					仕上表	B-07	
					SCALE	—	

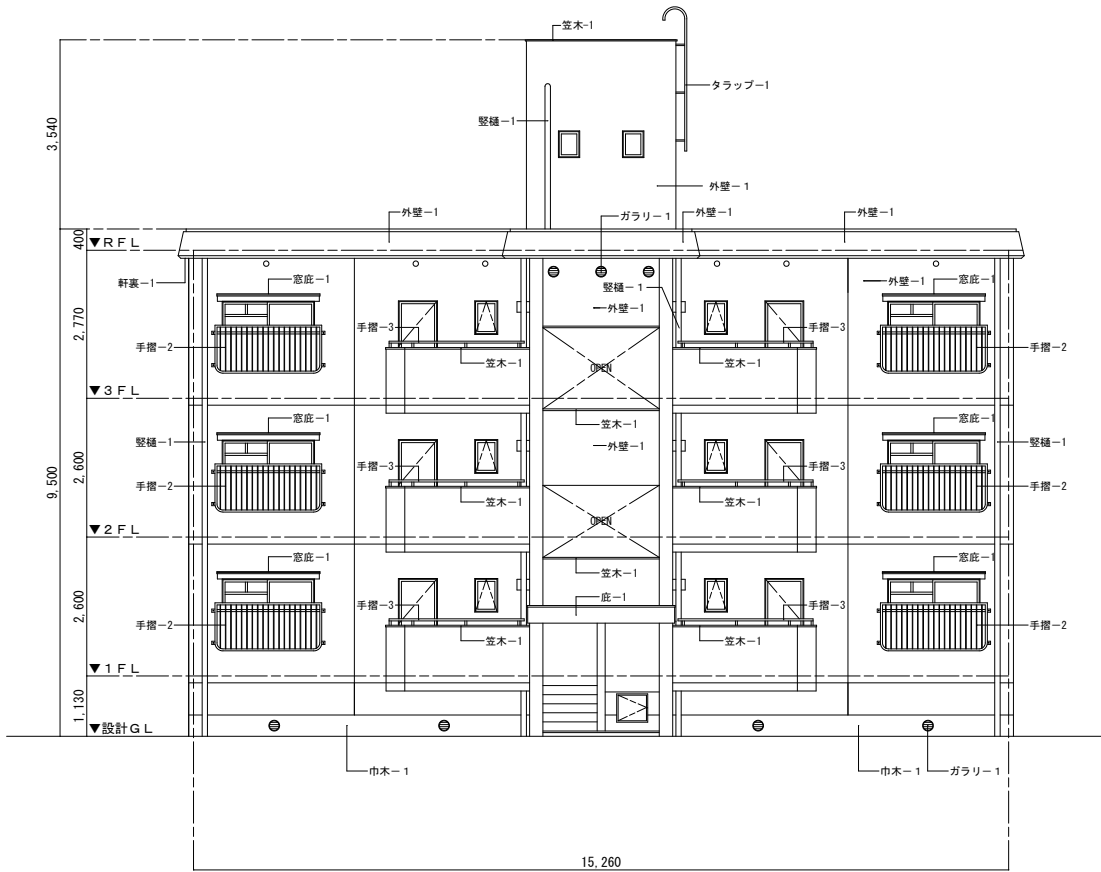


<p>1級建築士事務所 福岡県知事登録 第1-61427号</p> <p>1級建築士登録 第349069号 後藤 友哉</p>	<p>禁ごとう計画・設計</p> <p>〒807-0851 福岡県北九州市八幡西区永大丸5-9-6</p> <p>ぎやうつく永大丸ビル2F</p> <p>TEL・FAX (093)-287-4657</p> <p>E-mail: t-goto@sekkei.net</p>	<p>製作年月日</p> <p>担当者</p>	<p>工事名称</p> <p>新町団地2号棟外壁等改修工事</p> <p>図面内容</p> <p>平面図 屋根伏図</p> <p>SCALE</p> <p>A1:1:100</p> <p>A3:1:200</p>	<p>工事種別</p> <p>改修</p> <p>図面No</p> <p>B-O 8</p>
---	---	-------------------------	--	--



南側立面図 S=1/50

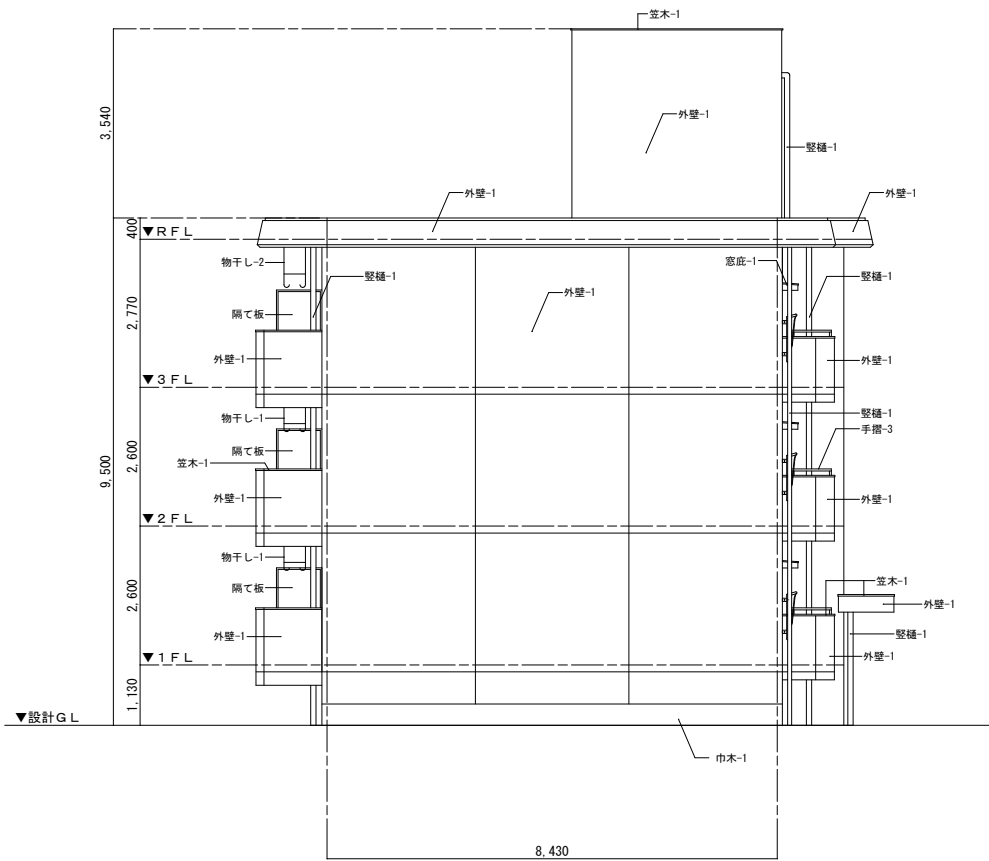
＜特記事項＞
・水切、建具廻りシーリングは撤去・新設 (MS-2 10×10) すること。



北側立面図 S=1/50

＜特記事項＞
・水切、建具廻りシーリングは撤去・新設 (MS-2 10×10) すること。

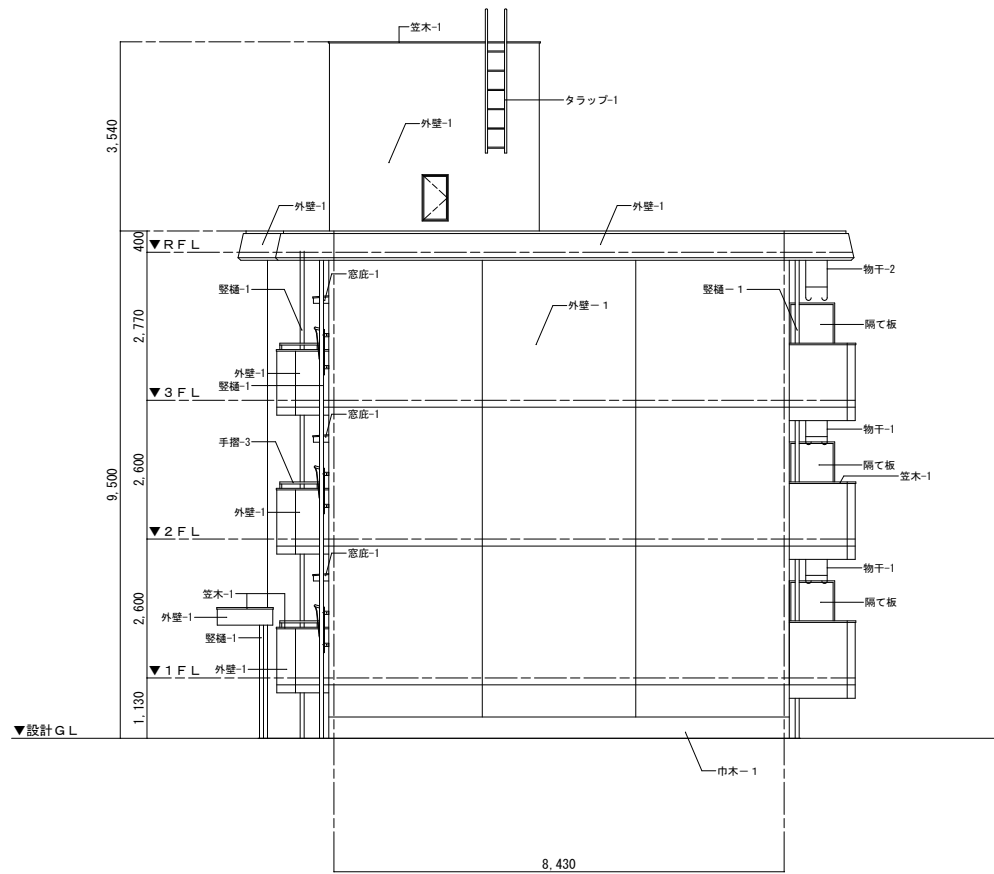
			製作年月日		工事名称		工事種別	
			担当者		図面内容		図面N°	
			TEL・FAX (093)-267-4657		南・北側立面図		B-09	
			E-mail: t-goto@g-sekkei.net		SCALE A1:1/50 A3:1/100			
			〒807-0851 福岡県北九州市八幡西区永大丸5-9-6		新町団地2号棟外壁等改修工事		改修	
			1級建築士事務所 福岡県知事登録 第1-61427号		ぎやうつく永大丸ビル2F			
			1級建築士登録 第349069号 後藤 友哉					
			t-goto@g-sekkei.net					



東側立面図 S=1/50

<特記事項>

・水切、建具廻りシーリングは撤去・新設(MS-2 10×10)すること。

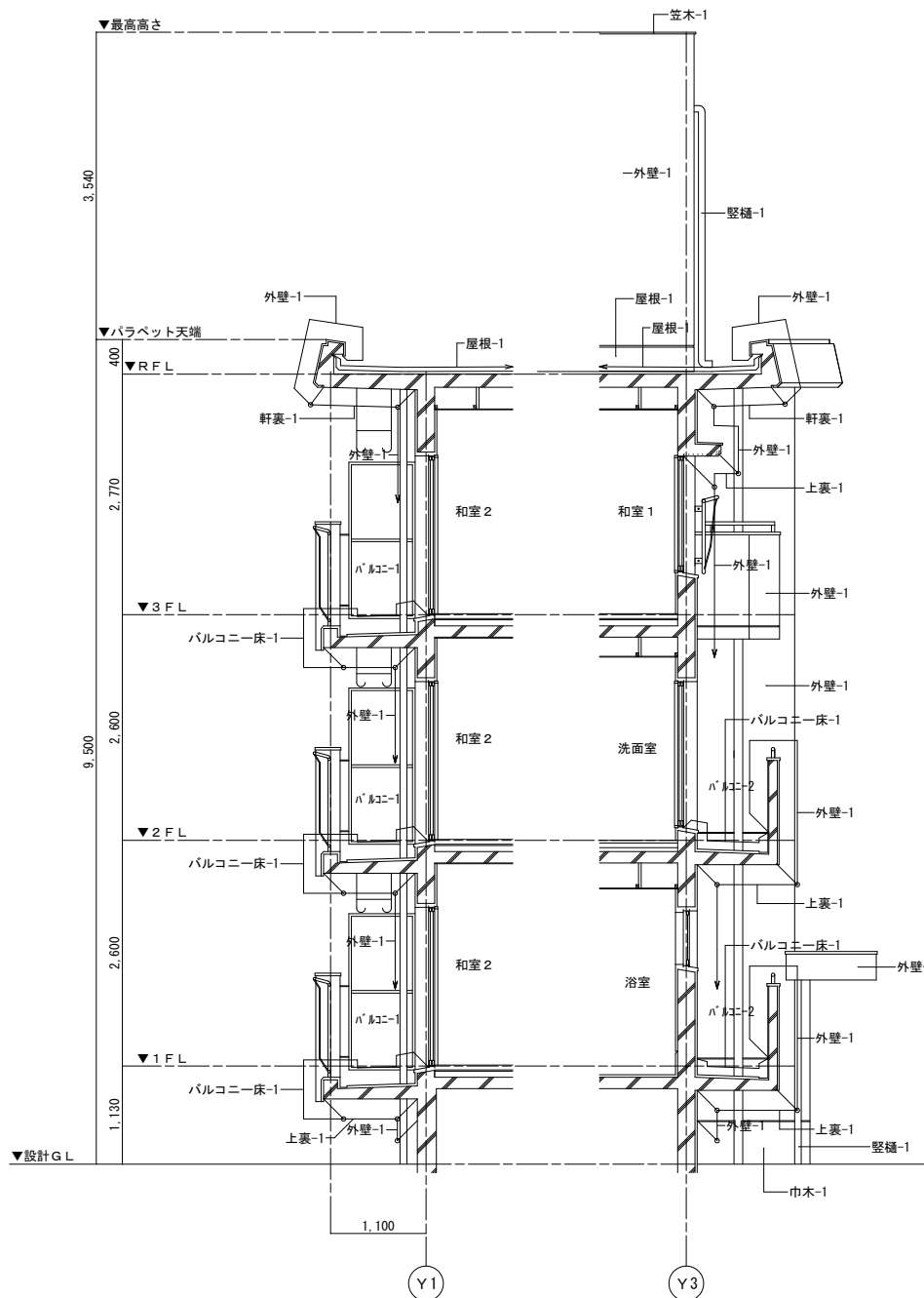


西側立面図 S=1/50

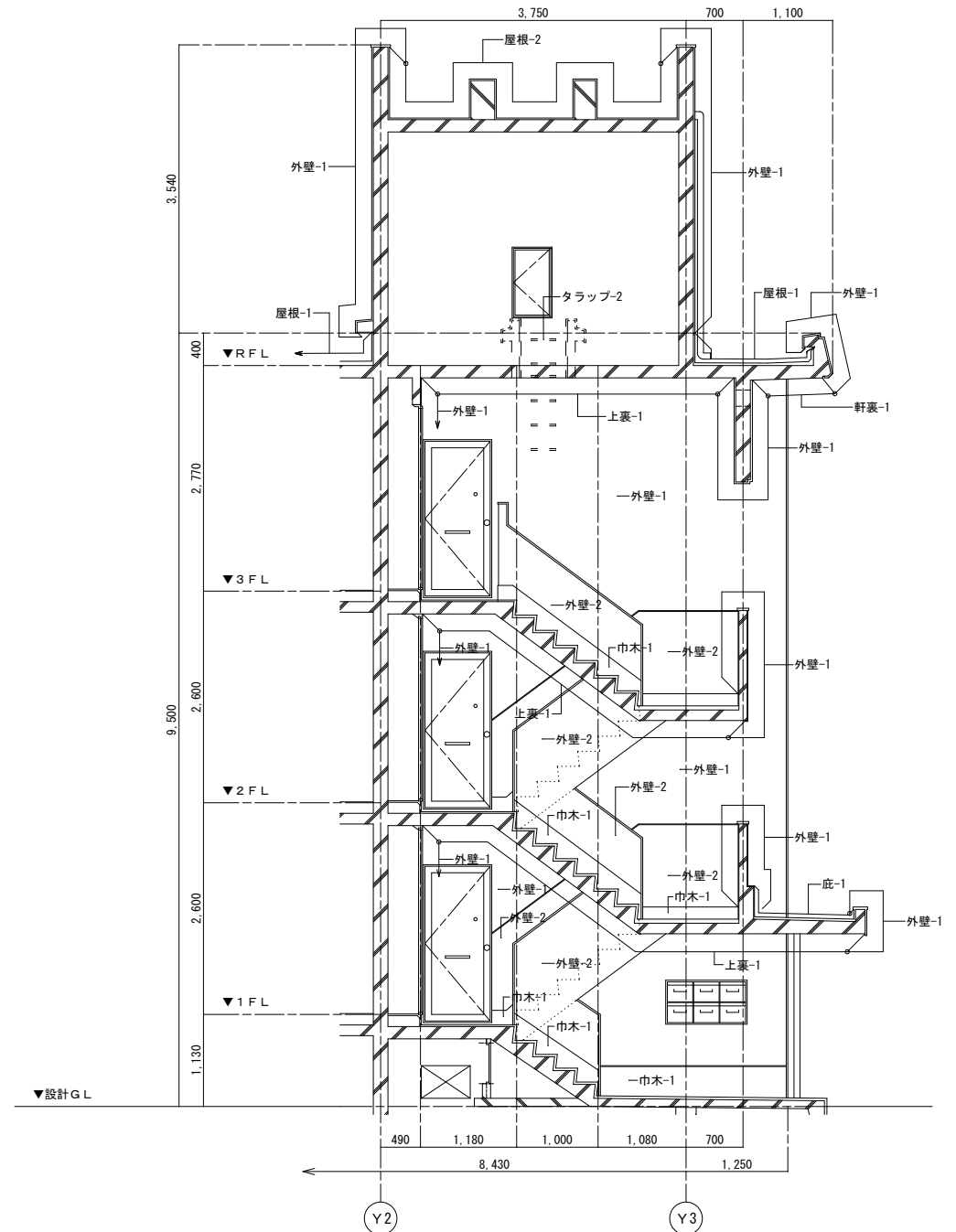
<特記事項>

・水切、建具廻りシーリングは撤去・新設(MS-2 10×10)すること。

			製作年月日		工事名称	工事種別
			担当者		図面内容	改修
			TEL・FAX (093)-287-4657		東・西立面図	図面N°
			E-mail: t-goto@g-sekkei.net		SCALE A1:1/50 A3:1/100	B-10



矩計図 S=1/30



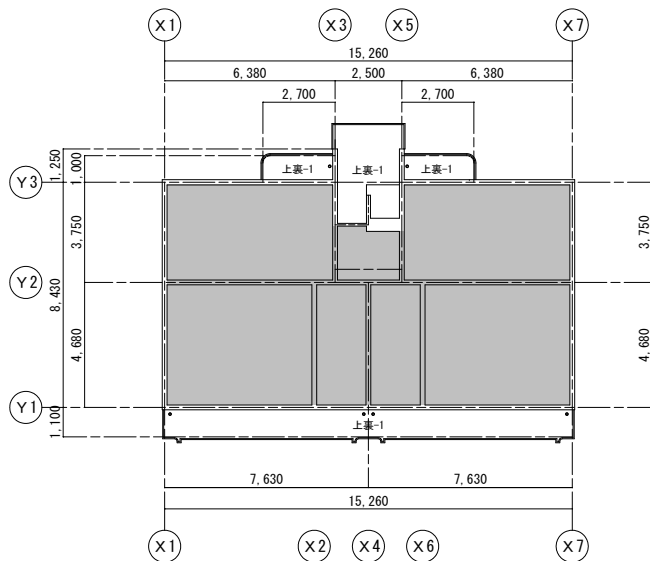
矩計図 S=1/30

株式会社 緑ごとう計画・設計

1級建築士事務所 福岡県知事登録 第1-61427号
 1級建築士登録 第349069号 後藤 友哉

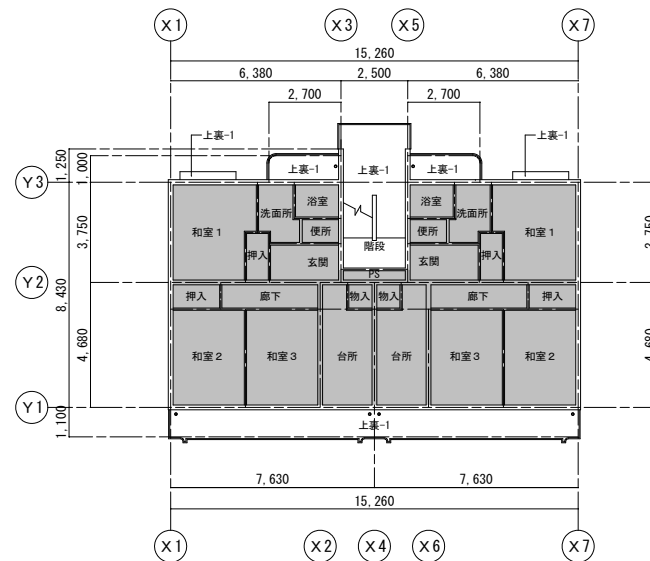
〒807-0851
 福岡県北九州市八幡西区永大丸5-9-6
 ぎやうくく永大丸ビル2F
 TEL・FAX (093)-287-4657
 E-mail: t-goto@sekkei.net

製作年月日	工事名称	工事種別
	新町団地2号棟外壁等改修工事	改修
担当者	図面内容	図面No
	矩計図	B-11
SCALE A1:1/30 A3:1/60		



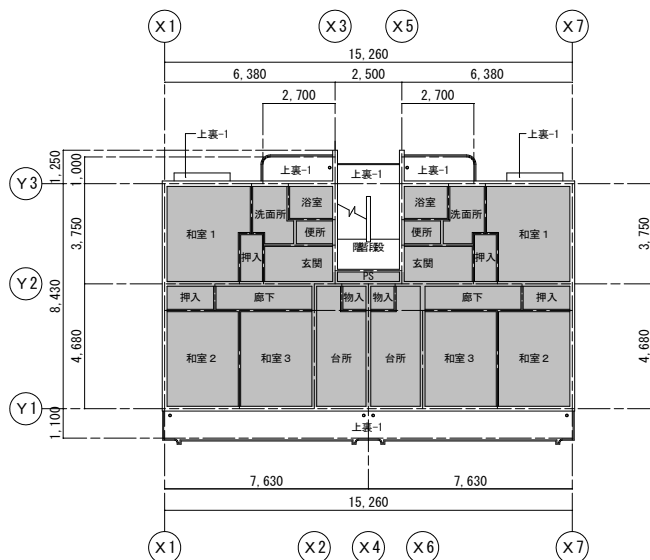
天井伏図 (設計GL+800) S=1/100

…改修対象外を示す



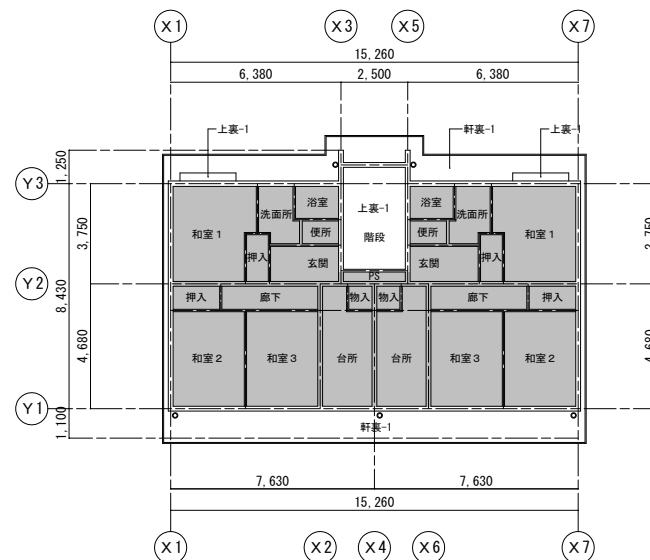
1階天井伏図 S=1/100

…改修対象外を示す



2階天井伏図 S=1/100

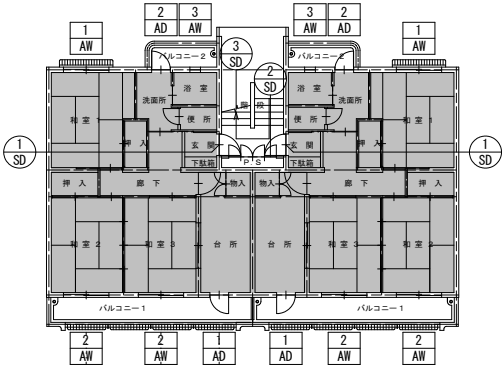
…改修対象外を示す



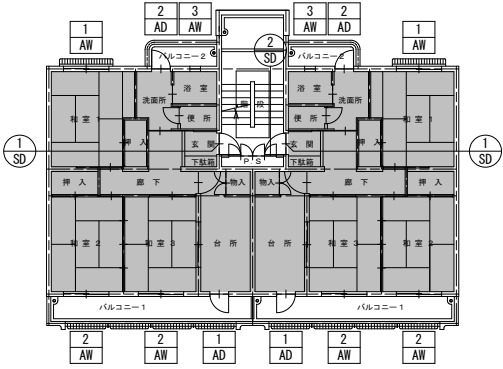
3階天井伏図 S=1/100

…改修対象外を示す

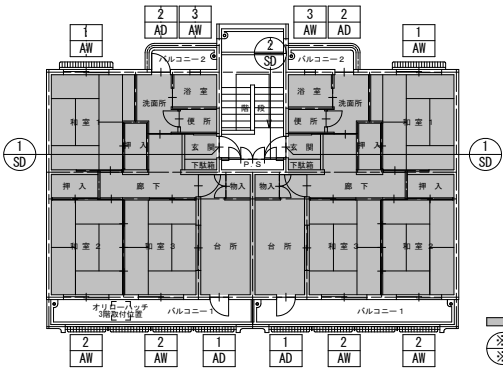
符号・室名・数量	1 AW	既存引違い窓 和室1	6	2 AW	既存引違い窓 和室2・3	12	3 AW	既存滑り出し窓 浴室	6	4 AW	既存FIX窓 屋上	2
姿 図 ▽ F L												
扉	見込	仕上 アルミ		見込	仕上 アルミ		見込	仕上 アルミ		見込	仕上 アルミ	
枠	見込 60	仕上 アルミ		見込 60	仕上 アルミ		見込 60	仕上 アルミ		見込 60	仕上 アルミ	
額縁・窓台												
ガラリ・ガラス	FW6.8			FW6.8			FW6.8			FW6.8		
付属金物	網戸、既製金物一式			網戸、既製金物一式			既製金物一式			既製金物一式		
備 考												
符号・室名・数量	1 AD	既存片開き戸 バルコニー1	6	2 AD	既存片開き戸 バルコニー2	6	3 AD	既存片開き戸 屋上	1			
姿 図 ▽ F L												
扉	見込	仕上 アルミ		見込	仕上 アルミ		見込	仕上 アルミ				
枠	見込 60	仕上 アルミ		見込 60	仕上 アルミ		見込 60	仕上 アルミ				
額縁・窓台												
ガラリ・ガラス	FW6.8			FW6.8			アルミエンボス板5					
付属金物	既製金物一式			既製金物一式			既製金物一式					
備 考												
符号・室名・数量	1 SD	既存片開き戸(再塗装) 玄関	6	2 SD	既存両軸固定パネル+面開き戸(再塗装) PS	3	3 SD	片開き戸(再塗装) 階段下点検口	1			
姿 図 ▽ F L												
扉	見込	仕上 再塗装(DP塗り1級)		見込	仕上 再塗装(DP塗り1級)		見込	仕上 再塗装(DP塗り1級)				
枠	見込 80	仕上 再塗装(DP塗り1級)		見込 50	仕上 再塗装(DP塗り1級)		見込 20	仕上 再塗装(DP塗り1級)				
額縁・窓台												
ガラリ・ガラス												
付属金物	既製附属金物一式、牛乳受け箱、郵便受け、防犯メガネ			既製附属金物一式			既製金物一式					
備 考	室名番号：DP塗り 1級(フッ素樹脂塗料) 塗装は外面のみとする			塗装は外面のみとする			塗装は外面のみとする					



1階建具キープラン S=1/100



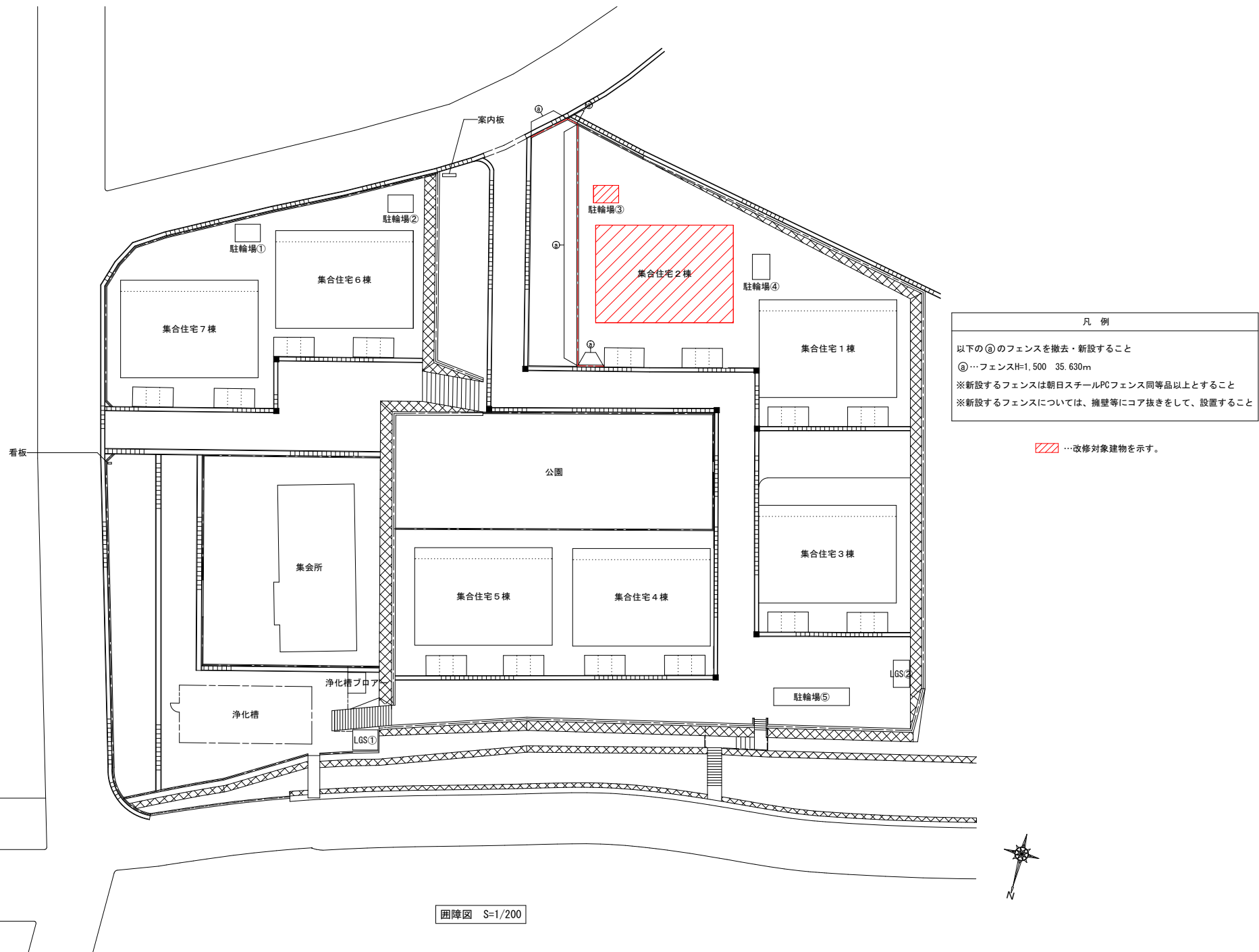
2階建具キープラン S=1/100



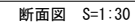
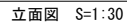
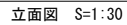
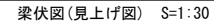
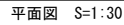
3階建具キープラン S=1/100

- …改修対象外
- ※…改修又は新設の建具を示す
- ※…既存のまま又は撤去する建具を示す

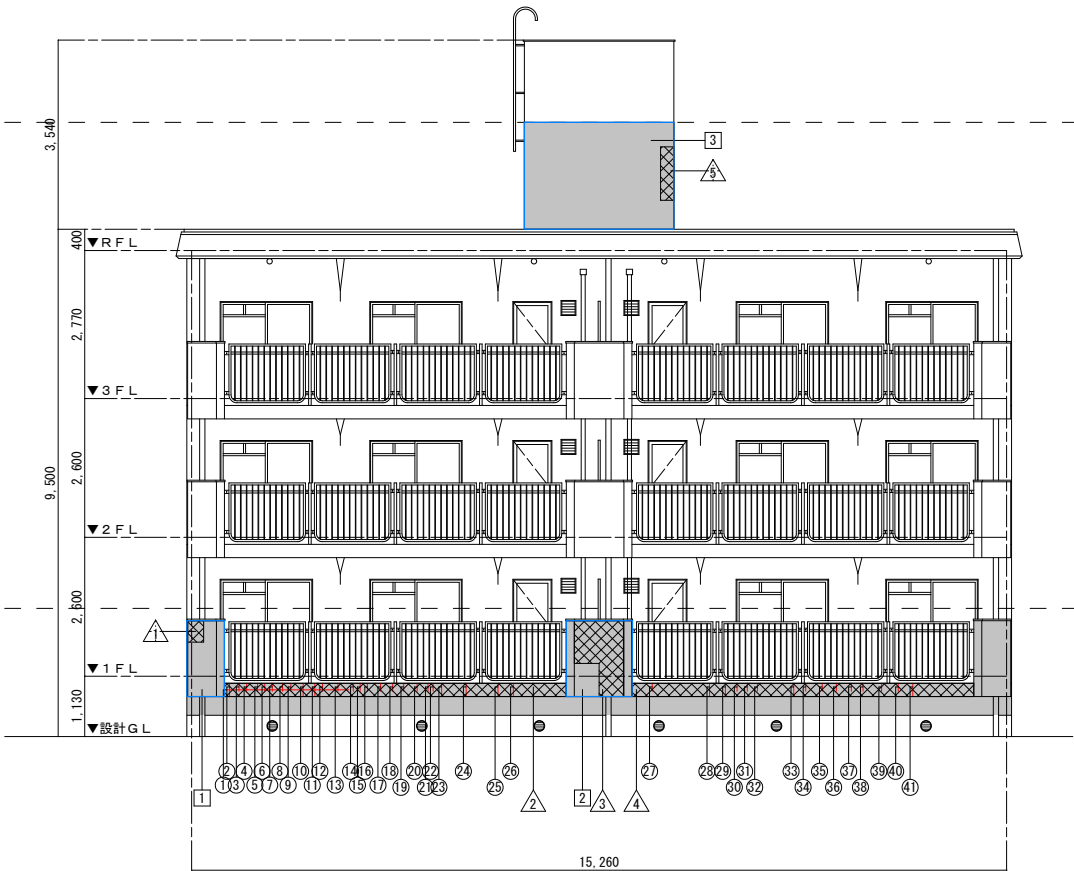
塔屋 S=1/100



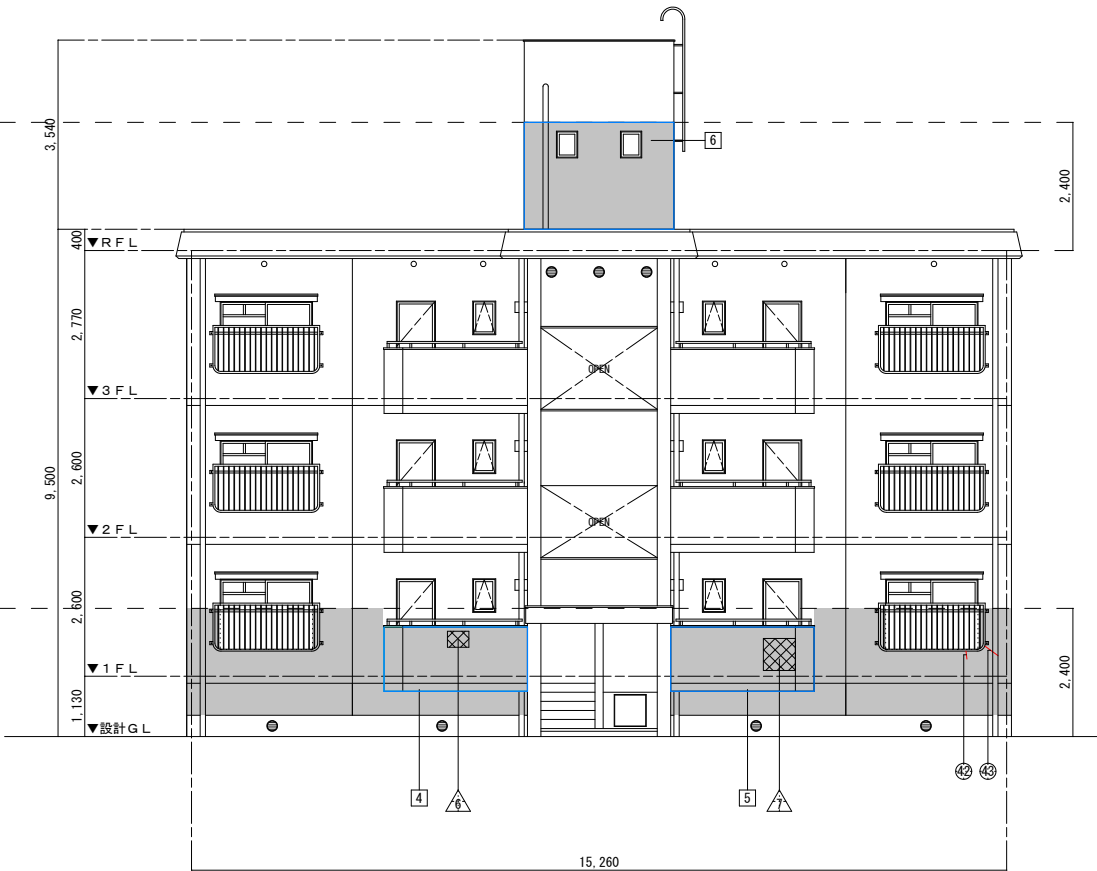
開障図 S=1/200



製作年月日	工事名称 新町団地2号棟外壁等改修工事	工事種別 改修
担当者	図面内容 その他外構 各図	図面No. B-16

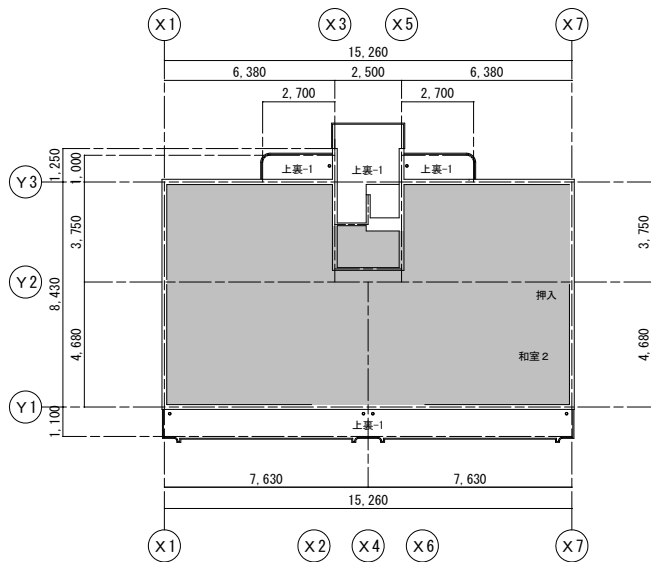


南側立面図 S=1/50



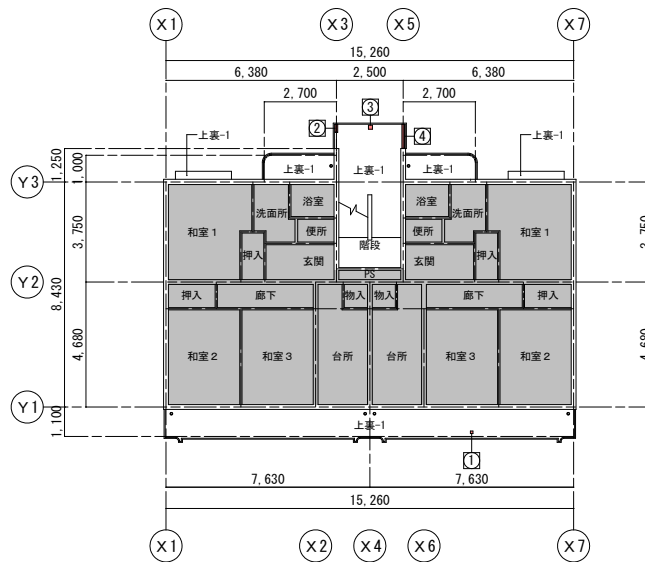
北側立面図 S=1/50

凡 例		数 量 表							
① …外壁クラックを示す	① 2.30m	⑬ 0.15m	⑲ 0.25m	⑳ 0.15m	㉑ 0.12㎡	㉒ 0.98㎡			
㉓ …外壁モルタルの浮きを示す	② 0.15m	⑭ 0.15m	㉔ 0.25m	㉕ 0.15m	㉖ 1.60㎡	㉗ 1.75㎡			
㉘ …外壁クラック(亀の甲状)を示す	③ 0.15m	⑮ 0.15m	㉙ 0.15m	㉚ 0.15m	㉛ 1.02㎡	㉜ 5.60㎡			
㉝ …爆裂を示す	④ 0.15m	⑯ 0.15m	㉞ 0.25m	㉟ 0.15m	㊱ 1.60㎡	㊲ 3.22㎡			
㊳ …欠損を示す	⑤ 0.15m	⑰ 0.15m	㊴ 0.25m	㊵ 0.25m	㊶ 0.25㎡	㊷ 3.22㎡			
㊸ 調査範囲を示す (44.13㎡)	⑥ 0.15m	⑱ 0.15m	㊹ 0.15m	㊺ 0.15m	㊻ 0.12㎡	㊼ 5.20㎡			
	⑦ 0.15m	⑲ 0.15m	㊻ 0.15m	㊼ 0.30m	㊽ 0.36㎡				
	⑧ 0.15m	㊼ 0.15m	㊽ 0.15m						
	⑨ 0.15m	㊽ 0.15m	㊾ 0.25m						
	⑩ 0.25m	㊾ 0.15m	㊿ 0.15m						
	⑪ 0.25m	㊿ 0.25m	㊿ 0.15m						
	⑫ 0.15m	㊿ 0.25m	㊿ 0.15m						



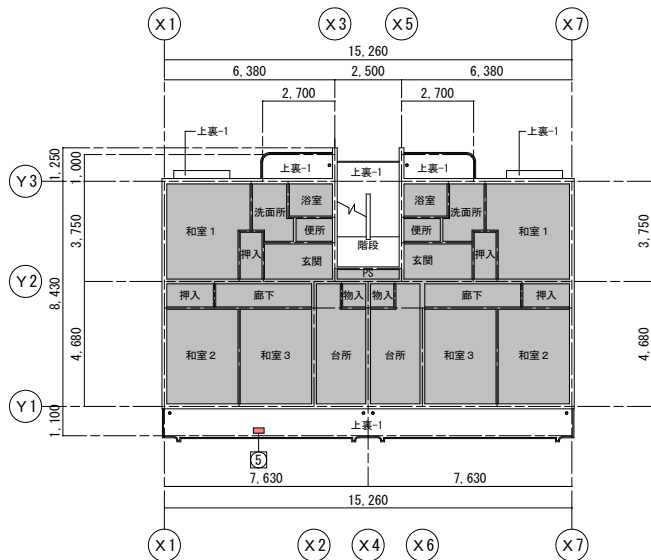
天井伏図 (設計GL+800) S=1/100

…改修対象外を示す



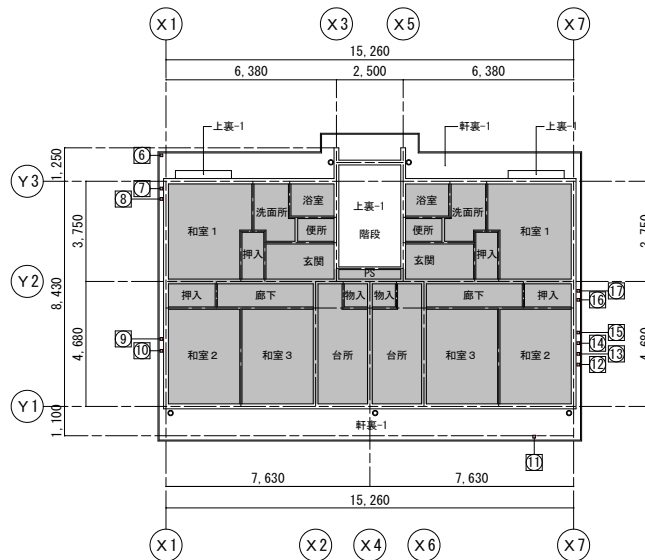
1階天井伏図 S=1/100

…改修対象外を示す



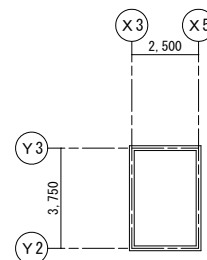
2階天井伏図 S=1/100

…改修対象外を示す



3階天井伏図 S=1/100

…改修対象外を示す



P H天井伏図 S=1/100

凡 例	数 量 表
① …外壁クラックを示す	① 100×100=0.01㎡
△ …外壁モルタルの浮きを示す	② 100×300=0.03㎡
□ …外壁クラック (亀の甲状) を示す	③ 150×150=0.02㎡
④ …爆裂を示す	④ 100×900=0.09㎡
⑤ …欠損を示す	⑤ 200×400=0.08㎡
■ 改修対象外を示す	⑥ 100×100=0.01㎡
	⑦ 100×100=0.01㎡
	⑧ 100×100=0.01㎡
	⑨ 100×100=0.01㎡
	⑩ 100×100=0.01㎡
	⑪ 100×100=0.01㎡
	⑫ 100×100=0.01㎡
	⑬ 100×100=0.01㎡
	⑭ 100×100=0.01㎡
	⑮ 100×100=0.01㎡
	⑯ 100×100=0.01㎡
	⑰ 100×100=0.01㎡

調査数量	全体集計
全体調査	44.13+55.62=99.75㎡
外壁クラックの実数量	9.75㎡
外壁モルタルの浮きの実数量	20.49㎡
外壁クラック (亀の甲状) の実数量	74.41㎡
爆裂の実数量 ※目視による全数調査	0.35㎡
欠損の実数量 ※目視による全数調査	—
外壁クラックの数量 (想定)	9.75㎡/99.75㎡×785㎡ (外壁面積) ×1.3 (補正) = 99.75㎡
外壁モルタルの浮きの数量 (想定)	20.49㎡/99.75㎡×785㎡ (外壁面積) ×1.3 (補正) =209.62㎡
外壁クラック (亀の甲状) の数量 (想定)	74.41㎡/99.75㎡×785㎡ (外壁面積) ×1.3 (補正) =761.26㎡



試験成績書

糸田町役場 建築課 様

試料受付: 2023年7月6日
試験期間: 2023年7月6日 ~ 2023年7月7日
採取区分: 持ち込み
試料採取者: 三宅 智大

№ A01660-A1-003
発行日 2023年7月7日

事業名: アルフレッド株式会社
住所: 〒432-8003 静岡県浜松市中区南郷山3-1-7
試験依頼先: 三井 伸博
試験責任者: 三井 伸博
発行機関: (公社)日本労働環境測定協会
合格認定: 石綿分析事業 2209-0007

件 名： 新町団地外壁等改修工事実施設計業務			
ご依頼を受けました検査の結果を下記の通り報告致します。			
試料名称		2号棟 ① 吹付タイル+下地材	
採取場所		外壁	
採取年月日		2023年7月6日	
試験方法		定性分析 JIS A 1481-1:2016	
試験結果			
定性分析			検出の有無
層	割合	外観色	
1	10 %	乳白色	
2	70 %	白色	
3	20 %	ライトグレー色	
4	-	-	
5	-	-	
偏光顕微鏡写真			
アスベストの種類		写真1	写真2
不検出			
(備考) -			

- 外観色相が異なるいくつかの素材が混入している場合は、最も多い割合を占める素材について分析しています。
- 外観色、層別等は目視にて判断しております。

試験成績書

糸田町役場 建築課 様

試料受付: 2023年7月6日
試験期間: 2023年7月6日 ~ 2023年7月7日
採取区分: 持ち込み
試料採取者: 三宅 智大

№ A01660-A1-004
発行日 2023年7月7日

事業名: アルフレッド株式会社
住所: 〒432-8003 静岡県浜松市中区南郷山3-1-7
試験依頼先: 三井 伸博
試験責任者: 三井 伸博
発行機関: (公社)日本労働環境測定協会
合格認定: 石綿分析事業 2209-0007

件 名： 新町団地外壁等改修工事実施設計業務			
ご依頼を受けました検査の結果を下記の通り報告致します。			
試料名称	2号棟 ② リシン+下地材		
採取場所	外壁		
採取年月日	2023年7月5日		
試験方法	定性分析 JIS A 1481-1:2016		
試験結果			
定性分析			検出の有無
層	割合	外観色	
1	50%	乳白色	
2	50%	ライトグレー色	
3	-	-	
4	-	-	
5	-	-	
偏光顕微鏡写真			
アスベストの種類		写真1	写真2
不検出			
(備考) -			

- 外観色相が異なるいくつかの素材が混入している場合は、最も多い割合を占める素材について分析しています。
- 外観色、層別等は目視にて判断しております。